

**KAWASAKI CITY MUSEUM
ANNUAL REPORT**

2013.4-2014.3

平成25年度

川崎市市民ミュージアム年報

平成 25 年度 川崎市市民ミュージアム年報

目 次

| | |
|------------------------------|----|
| はじめに..... | 3 |
| 概要..... | 4 |
| 平成 25 年度市民ミュージアム組織表..... | 5 |
| 展示・上映 | |
| 1 企画展 | 6 |
| 2 アートギャラリー展示 | 15 |
| 3 博物館展示（考古・歴史・民俗） | 17 |
| 4 マンスリー展示 | 18 |
| 5 特集展示 | 18 |
| 6 館外展示 | 18 |
| 7 ミュージアムライブラリー（映像・図書） | 19 |
| 8 映画上映 | 19 |
| 9 ビデオ・DVD 上映 | 23 |
| 10 ミニホール ビデオ上映 | 26 |
| 11 他団体の展示等 | 28 |
| 収集・整理・保存 | |
| 1 収集 | 29 |
| 2 整理・保存・修復 | 30 |
| 3 収蔵品の貸出・他館への協力 | 31 |
| 調査研究 | |
| 1 調査研究 | 34 |
| 2 出版 | 35 |
| 職員の派遣 | 36 |
| 教育・普及 | |
| 1 教育普及 | 37 |
| 2 実習生の受け入れ | 42 |
| 3 イベント | 43 |
| 4 広報活動 | 44 |
| 5 友の会 | 45 |
| 資料 | |
| 川崎市市民ミュージアム条例 | 46 |
| 川崎市市民ミュージアム条例施行規則 | 49 |
| 企画展一覧 | 53 |
| ギャラリー展示一覧 | 56 |
| 特別資料室展示一覧 | 59 |
| 企画上映一覧（映画）..... | 60 |
| 平成 25 年度市民ミュージアム利用者統計表 | 65 |
| 平成 25 年度歳出予算 | 66 |
| 川崎市市民ミュージアム協議会 | 67 |
| 川崎市市民ミュージアム資料等収集委員会 | 67 |
| 川崎市市民ミュージアム資料等評価委員 | 68 |
| かわさき市美術展運営委員会 | 68 |
| 施設概要 | 69 |
| 職員 | 70 |

はじめに

川崎市市民ミュージアムは、博物館と美術館の複合施設として昭和 63 年（1988 年）11 月に開館して以来、博物館・美術館の 2 つの側面から収集されたコレクションと独自性のある企画を館の特色として、様々な事業を展開してきました。そうした中で、多くの方々に支えられ、平成 25 年には開館 25 周年を迎えることができました。

平成 25 年度は事業においても、開館 25 周年記念事業として数々の事業を展開しました。展覧会では、現代美術の若手作家を紹介する「新世代アーティスト展」、当館の特色でもある漫画・映画部門の強みを活かした「マンガ・アニメ祭り」、川崎の都市形成を紹介する「カワサキ・シティ展」の 3 つの記念企画展を開催しました。また教育普及事業についても、五感で鑑賞する展覧会「PLANET TACTILE 展」を開催し、教育機関と連携した「ABC - アート・ブック・クラブ」を実施しました。

また、川崎ゆかりの文化財を後世に伝える「受け継がれた文化財展」などの展覧会を開催したほか、新たな取組として、版画アトリエを一般開放し利用者が指導員から制作サポートを受けることができる事業を開始しました。さらに、文化・芸術を通じた交流の場の形成、文化人や芸術家の活動機会の創出、文化的な暮らしの醸成を目的に「ミュージアムサロン BRA-BA（ブラーバ）」を発足し、連携事業として開館 25 周年記念フェスティバル「食とアートと音楽と」を開催しました。

広報においては、各事業をよりわかりやすく情報発信するため、ホームページのリニューアルを行いました。

市民ミュージアムは、自らのめざす姿である「全国に発信できるミュージアム」、「市民文化の伝承と創造の発信拠点としてのミュージアム」、「地域の活性化に貢献できる拠点としてのミュージアム」の実現に向けて、市民ミュージアムがより皆様に愛され御利用頂けるよう、川崎市における「文化・芸術を活かしたまちづくりの拠点」として、引き続き取組を推進してまいります。

今後とも皆様の御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

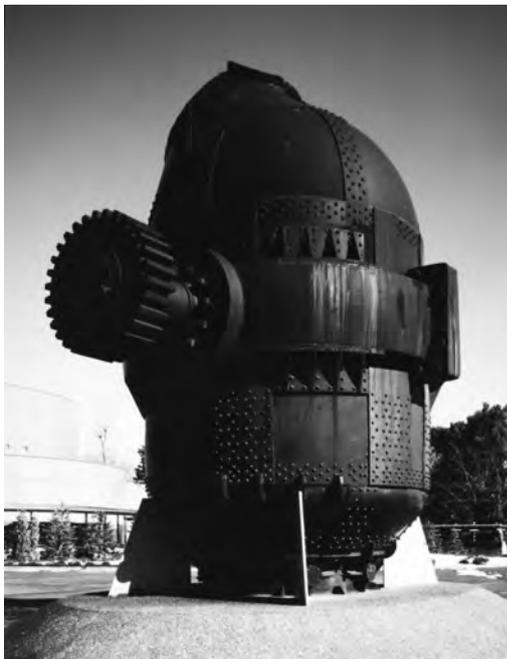
川崎市市民ミュージアム
館長 土谷 憲司

概要

川崎市市民ミュージアムは1988（昭和63）年11月、「都市と人間」を基本テーマに開館した。

都市は、さまざまな人が集まり次々と新しい文化を生み出している。市民ミュージアムは、都市の発展過程やそこで生まれ育った文化を見つめるための資料や作品を収集・展示・調査・研究している。

特に、今日私たちの暮らしに深い関わりをもち、都市文化の形成に大きな役割を果たしてきたポスター、版画、写真、漫画、映画、ビデオといった複製技術による芸術作品、川崎に関連する考古・歴史・民俗資料及び芸術家の作品を対象に基本テーマを追求するほか、市民ミュージアムの情報を活用しながら、利用者が楽しく学習できるような学習講座も行っている。



トーマス転炉（日本鋼管 現 JFE 寄贈）

英国人シドニー・G・トーマスが発明した燐を含む鉄鉱石の製鋼炉。

1937年から1957年（昭和12年から32年）まで稼働。日本の鉄鋼業界の発展に大きく貢献。京浜工業地帯発展史のなかでも象徴的な産業遺産といえる。

沿革（開館まで）

1980年（昭和55年）

川崎市博物館構想委員会を設置

（担当教育委員会）

漫画・写真・映像文化センター構想を発表

（担当企画調整局）

1981年（昭和56年）

川崎市博物館基本構想を策定

現代映像文化センター基本構想を策定

1982年（昭和57年）

川崎市博物館建設調査委員会を設置（教育委員会）し、同時に展示基本計画書を策定

現代映像文化センター基本計画委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

1983年（昭和58年）

川崎市博物館資料収集委員会（教育委員会）、現代映像文化センター収集委員会を設置（企画調整局）し、収集事業がスタート両計画を一体化するため、仮称川崎市博物館・現代映像文化センター一体化に関わる委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

1985年（昭和60年）3月

建築基本設計を完了

1985年（昭和60年）3月

展示基本設計を完了

1985年（昭和60年）4月

教育委員会に市民ミュージアム準備事務室が発足

1985年（昭和60年）11月

建築実施設計を完了

1985年（昭和61年）3月

展示実施設計を完了

1986年（昭和61年）3月

建築工事着手

1987年（昭和62年）7月

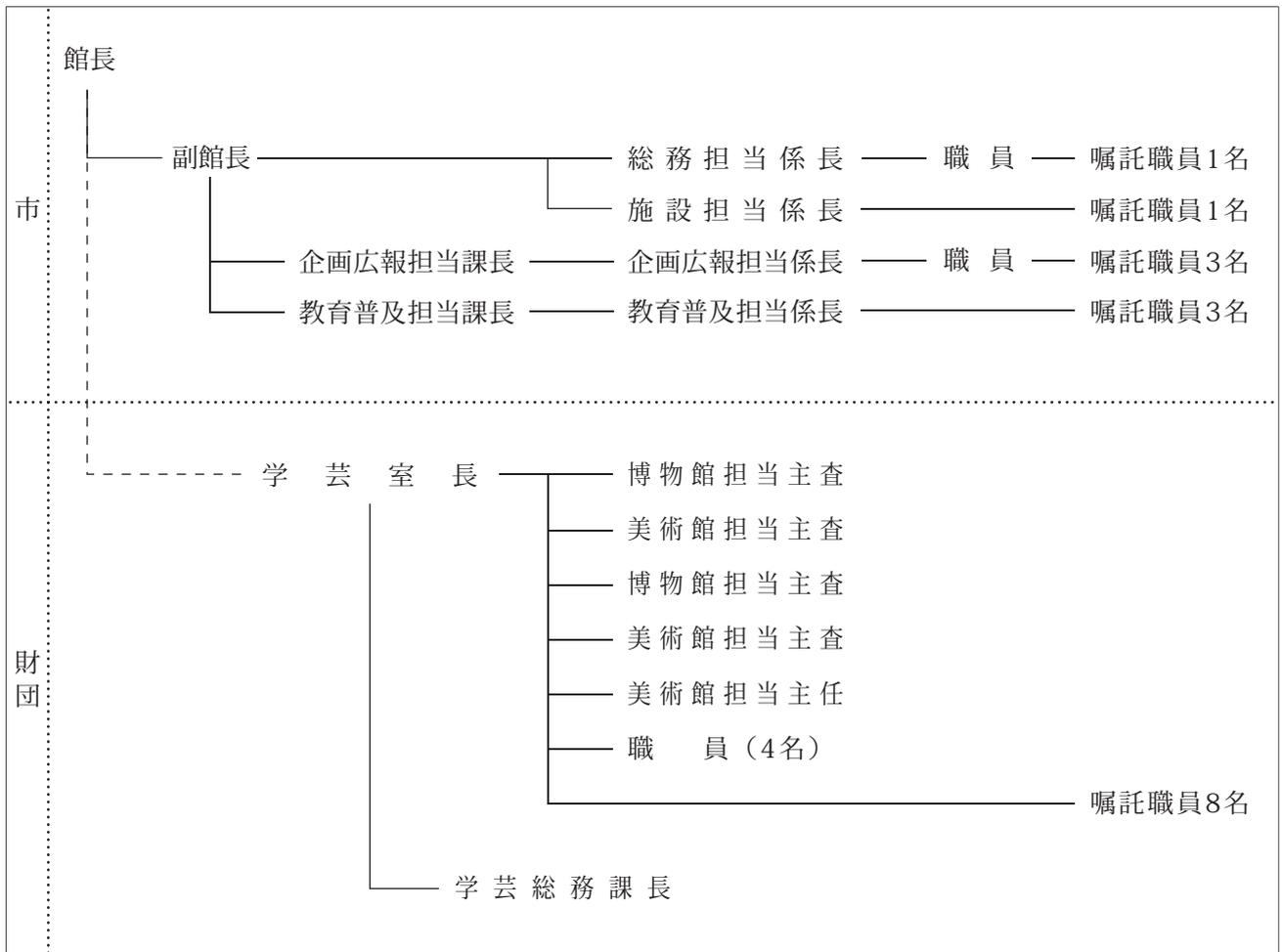
展示工事着手

川崎市市民ミュージアム条例を制定

1988年（昭和63年）11月

川崎市市民ミュージアム開館

平成 25 年度 市民ミュージアム組織表



展示・上映

1 企画展

受け継がれた文化財

「川崎大師の寺宝と信仰」「文化財は語る…」

〔会 期〕4月20日～6月2日

〔入場者〕2,146人

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム

〔共 催〕大本山川崎大師平間寺

〔協 賛〕カトーレック株式会社

〔協 力〕大師地区町内会連合会 大師地区商店街連合会
川崎大師観光協会

〔観覧料〕一般 800円
学生・65歳以上 600円
中学生以下 無料

〔開催趣旨〕

川崎大師に伝わる貴重な文化財や、開館以来継続的に行なってきた当館の活動によって収集・保存されてきた資料を展示した。「川崎大師の寺宝と信仰」と「文化財は語る」の2部構成とし、川崎の文化・芸術・歴史遺産が大切に保存され、次世代へ継承されていくことを紹介した。

1部【川崎大師の寺宝と信仰】

1部では、川崎大師所蔵の指定文化財を中心とした寺宝を紹介するとともに、その信仰と近代以降の都市化への足がかりともなった大師電気鉄道について展示した。

2部【文化財は語る…】

2部では、当館所蔵の指定文化財を含む優品、及び川崎の歴史や文化を語る時代の証言者ともいえる収蔵資料・文化財の中から、代表的な収蔵品を紹介した。

〔主な展示品〕

1部【川崎大師の寺宝と信仰】

「毘沙門天像」 一幅
「地藏菩薩像」 一幅
「梵字両界曼荼羅図」 一幅
「弘法大師像」 一幅
「秋草図屏風」 二曲一隻
宝篋印塔経巻・剣札 一括

2部【文化財は語る…】

関東下知状 一幅
東海道図屏風 六曲一双
火葬骨蔵器 約10点
黒川の獅子頭 3点

〔印刷物〕

図 録：A4判 64頁
チ ラ シ：A3判
ポスター：B2、B3判

〔関連イベント〕

1部【川崎大師の寺宝と信仰】

オープニング・レセプション

日 程：4月20日
開会式 逍遙展示空間
内覧会 企画展示室1
懇親会 レストラン「3104」
参加人数：13名

記念講演会「川崎大師の寺宝」

日 程：5月19日
会 場：映像ホール
講 師：相澤正彦（成城大学教授）
参加人数：74名

記念上映「川崎大師の赤札」

日 程：5月19日
会 場：映像ホール
料 金：無料
鑑賞人数：86名

連続講座「やさしい文化財のみかた」

日 程：5月11日 第1回「書のみかた」
5月18日 第2回「川崎大師所蔵の絵画」
5月25日 第3回「仏画のみかた」
会 場：第2研修室
講 師：第1回 望月一樹（市民ミュージアム 学芸員）
第2回 梅沢恵（神奈川県立金沢文庫 学芸員）
第3回 向坂卓也（神奈川県立金沢文庫 主任学芸員）

参加料：1,500円
参加人数：49名

川崎大師探訪「大師周辺をめぐる」

日 程：5月23日

参加料：500円

参加人数：20名

学芸員による展示解説

日 程：4月27日・4月28日・4月29日・5月3日・
5月4日・5月5日・5月6日・5月26日・6
月1日・6月2日

参加人数：159名

2部【文化財は語る...】

「博物館の収蔵庫に行ってみよう」

日 程：4月21日・4月28日・5月5日・5月12日・
5月19日・5月26日

参加人数：53名

展示解説

日 程：4月27日・4月29日・5月3日・5月4日・
5月6日・5月25日・6月1日

参加人数：59名

ベビーカートツアー

日 程：5月21日

参加人数：1組2名



新世代アーティスト展 in Kawasaki

セカイがハンテンし、テイク

Being-in-the-Wired-World

〔会 期〕7月20日～9月29日

〔入場者〕6,655人

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム

〔協 賛〕川崎タクシー株式会社 株式会社リコー

〔観覧料〕一般 800円

学生・65歳以上 600円

中学生以下 無料

〔開催趣旨〕

メディアと芸術の関係に取り組んできたこれまでの当館の活動を踏まえ、現代のメディア環境の中で劇的に変容する私たちのコミュニケーション、また私たちを取り囲む世界とのコミュニケーションのありかたについて掘り下げ、思考し続ける現代美術家8組(5人と3組)を国内外から選出し、その作品を紹介した。開館25周年の特別企画展として、企画展示室のみでなく、逍遥展示空間、博物館常設展示室、館外と規模を拡張して展示を実施し、若手作家の支援に重点を置いて現代の美術に関わり、新たな川崎ゆかりのアーティストを創出する当館の姿勢を内外にアピールした。

〔主な展示品〕

8組の参加作家の作品

北上伸江、高田安規子・政子、aricoco、中村土光、藤村豪・内野清香、富永昌敬・土田環、ラファエル・ローゼンダール、安西剛

〔印刷物〕

図 録：A4版 96頁

チ ラ シ：A4判

ポスター：B2判、B3判

レセプション：案内カード、封筒、FAXシート

〔関連イベント〕

オープニング・レセプション

日 程：7月19日

開 会 式 企画展示室1入口

特別内覧会 企画展示室1

懇 親 会 レストラン「3104」

aricoco ワークショップ「Runningaway Furoshiki Project パブリック・ディ」

日 程：6月9日

会 場：逍遥展示空間

講 師：aricoco

参加料：無料

参加人数：30名

安西剛ワークショップ「自分の機械を未来にたくそう」

日 程：Stage1 6月15日・6月16日

Stage2 6月22日・6月23日

会 場：体験学習室

講 師：安西剛

参加料：無料

参加人数：2名

トークイベント「ラファエル・ローゼンダール+インター
ネット・リアリティ研究会」

日 程：7月20日

会 場：ミュージアムギャラリー

参加料：無料

参加人数：31名

トークイベント「日比野克彦×辛酸なめ子」

日 程：7月28日

会 場：ミニホール

参加料：無料

参加人数：35名（展示室前配信 49人）

現代美術 一問一闘！！ライブ

日 程：8月4日

会 場：企画展示室1

参加料：無料

参加人数：7名

中村土光パフォーマンス「オレって、なんにもいってね
え。in kawasaki」

日 程：8月25日

会 場：アートギャラリー

協 力：スチャダラパー

参加料：無料

参加人数：38名

中村土光アートワークスクリーニングデイ

日 程：8月24日・9月22日

会 場：映像ホール

参加料：無料

参加人数：119名

作家によるギャラリートークとパフォーマンス

日 程：7月20日 北上伸江（トーク）

ラファエル・ローゼンダール（トーク）

7月21日 aricoc（トーク+パフォーマンス）

8月 4日 藤村豪&内野清香（トーク）

8月18日 中村土光（トーク）

9月 8日 富永昌敬/土田環（トーク）

9月14日 高田安規子・政子（トーク）

9月28日 安西剛（トーク）

参加料：無料

参加人数：262名

ベビーカーツアー

日 程：8月20日・9月5日

参加人数：3組6名

学芸員による展示解説

日 程：7月27日・8月11日・8月24日・9月1日・

9月15日・9月16日・9月23日

参加人数：49名

〔滞在制作プログラム「スタジオプログラム」〕

若手アーティストを支援するという本展の趣旨を踏まえ、若手作家の滞在制作プログラムをこの展覧会に組み込むこととして実施した。

具体的には、滞在制作作家を公募し、新世代アーティスト展で紹介する8名の作家のうち1名とし、3ヶ月間当館に滞在して作品を作るとともに、市民と来館者などとアートによるコミュニケーションを図る機会を創り出す市民交流プログラムを行った。

作家：安西剛

滞在期間：4月1日～7月19日

滞場所：体験学習室

活動内容：

〔市民交流プログラム〕

Through the Window（窓に隔てられて）

期 間 4月19日～7月19日

オープスタジオ「5分で作る機械レシピービデオ・オン・デマンド」

5月19日・5月26日

ワークショップ「5分で作る機械レシピ」+上映会

6月2日

ワークショップ「自分の機械を未来にたくそう」（4回）

Stage1 6月15日、16日

Stage2 6月22日、23日

〔滞在制作〕

《dance steps for stool》（回転椅子のための舞踏）

展示期間：4月26日～6月30日

展示場所：エントランス

《Somewhere in the Ballpark》

新世代展で展示した映像作品

展示期間：7月20日～9月29日

展示場所：企画展示室 1

《Useful Days》

ワークショップ「自分の機械を未来にたくそう」を元にして制作し、新世代展で展示した作品。

展示期間：7月20日～9月29日

展示場所：博物館常設展示室



マンガ・アニメ祭り

Manga & Anime Festa

Part1. マンガ+プラス展

〔会 期〕7月13日～8月25日（前期7月13日～8月4日、後期8月6日～8月25日）

〔入場者〕5,309人

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム

〔観覧料〕無 料

〔開催趣旨〕

漫画・アニメを積極的に紹介してきた市民ミュージアム独自の視点から漫画・アニメの世界を紹介した。当館の漫画コレクションの展示とともに、各地で広がる漫画文化振興への取組を紹介した。また、10代の学生をターゲットにしたワークショップと関連する展示も行った。併せて、関連上映として、夏休みの時期に、映像ホールにて、大人も子どもも楽しめるアニメ作品の上映を行った。

〔主な展示品〕

日本漫画家協会会員の漫画家70人の記念メッセージ色紙展示

ミュージアム漫画コレクションからの代表的な作品

歌川国芳「荷宝蔵壁のむだ書」、葛飾北斎「北斎漫画」、田河水泡「ヘンテコ助」、手塚治虫肉筆パネル、横山裕一「ゼラニウム」等

漫画・アニメーションに関する全国の取組紹介

ゲゲゲの鬼太郎、ネズミ男、名探偵コナンの立体像展示（まんが王国・とっとり）など

〔印刷物〕

チ ラ シ：A4判

ポスター：B3判

〔関連イベント〕

マンガ・アニメ祭り コスプレデー

日 程：8月11日

会 場：ミュージアムギャラリー

参 加 料：無料

協 力：NPO法人 コス援護会

参加人数：250名

漫読ライブイベント「東方力丸参上！」

日 程：8月11日

会 場：ミニホール

出 演：東方力丸（漫読家）

参 加 料：無料

参加人数：80名

写真を使ったコマ撮りアニメーションワークショップ

日 程：8月3日・8月10日・8月24日

会 場：第3研修室、ミュージアムギャラリー

講 師：江口拓人（マルチメディアアーティスト）

参 加 料：500円

参加人数：のべ12名

デジタル原稿の制作講座

日 程：8月17日

会 場：第3研修室

講 師：内田朋紀（有限会社ねこのしっぽ代表取締役）

参 加 料：無料

参加人数：9名

ベビーカーツアー

日 程：8月2日

参加人数：4組8名

Part2. 夏休みアニメ祭り

〔会 期〕7月13日（土）～8月25日（日）

〔入場者〕1,220人

〔観覧料〕一般600円、65歳以上・大学・高校生500円、小中学生400円

日 程：7月13日（土）庵野秀明1

「トップをねらえ!(第1話~第3話)」式日」
 7月14日(日)庵野秀明2
 「トップをねらえ!(第4話~第6話)」式日」
 7月15日(月・祝)大友克洋
 「AKIRA」「蟲師」
 7月20日(土)押井守1
 「GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊」「ア
 ヴァロン」
 7月21日(日)押井守2
 「機動警察パトレイバー 2 the Movie」
 「ASSAULT GIRLS」
 7月27日(土)石井克人
 「PARTY7」「REDLINE」
 7月28日(日)マイケル・アリアス
 「鉄コン筋クリート」「ヘブンズ・ドア」
 8月3日 藤子・F・不二雄
 「ドラえもん のび太の日本誕生」「ドラえも
 んのび太とアニマル惑星」
 8月4日 藤子・F・不二雄
 「ドラえもん のび太と竜の騎士」「ドラえも
 んのび太のドラビアンナイト」
 8月10日 手塚治虫
 「ジャングル大帝 劇場版」「火の鳥 2772
 愛のコスモゾーン」
 8月11日 松本零士
 「銀河鉄道 999」「さよなら銀河鉄道 999 ア
 ンドロメダ終着駅」
 8月17日 青山剛昌/水木しげる
 「名探偵コナン 漆黒の追跡者」「劇場版ゲゲ
 ゲの鬼太郎 日本爆裂!!」
 8月18日 青山剛昌/水木しげる
 「カッパの三平」「名探偵コナン 11人目の
 ストライカー」
 8月25日 児童文学原作作品
 「とべないホタル」「チリンの鈴」「やさしい
 ライオン」



8月31日 高畑勲/宮崎駿
 「パンダコパンダ」「パンダコパンダ 雨ふり
 サーカス」
 9月1日 石ノ森章太郎/トキワ荘
 「サイボーグ 009 超銀河伝説」「ぼくらマン
 ガ家 トキワ荘物語」

Part3. —アニメ化 40 周年— ルパン三世展 —This is the world of Lupin the 3rd—

〔会 期〕9月7日~11月10日
 〔入場者〕10,840人
 〔主 催〕川崎市市民ミュージアム、読売新聞社、トムス・
 エンタテインメント、日本テレビ
 〔特別協力〕エム・ピー・ワークス
 〔協 力〕双葉社、中央公論新社、バンダイ、メディコム・トイ
 〔企画協力〕日本テレビ音楽
 〔観覧料〕一般 800円
 学生・65歳以上 600円
 中学生以下 無料

〔開催趣旨〕
 開館25周年の記念事業の一つとして、日本のマンガ・ア
 ニメの代表的作品のうち、世代を超えて読み継がれ、現在も
 制作が進められている人気作品の一つである「ルパン三世」
 をとりあげ、アニメ化40周年を経た作品の歴史と現在を原
 作マンガとアニメーションの両面から立体的に紹介した。

〔主な展示品〕
 モンキー・パンチ氏による自筆原稿、カラーイラスト
 アニメ作成時のセル画、設定資料
 関連出版物

〔印刷物〕
 チラシ：A4判
 ポスター：B2判、B3判

〔関連イベント〕
 ベビーカーツアー
 日 程：10月17日
 参加人数：3組7名
 フィアット 500 ミーティング
 日 程：10月27日
 会 場：市民ミュージアム 中庭
 参加人数：80名
 協 力：AUTO CLUB VIVA ITALIA

関連上映

日 程：9月7日

1st シリーズ

「魔術師と呼ばれた男」「脱獄のチャンスは一度」「殺し屋はブルースを歌う」

2nd シリーズ

「追いつめられたルパン」「国境は別れの顔」「とっつぁんの惚れた女」

9月8日

2nd シリーズ

「五右エ門危機一髪」「華麗なるチームプレイ作戦」「死の翼アルバトロス」

3rd シリーズ

「死神ガープと呼ばれた男」「カクテルの名は復讐」「戒厳令の夜」

9月14日

4th シリーズ

LUPIN the Third 峰不二子という女

「大泥棒 VS 女怪盗」「.357 マグナム」「淑女とサムライ」

TV スペシャル

「ヘミングウェイ・ペーパーの謎」

9月15日 TV スペシャル

「ルパン暗殺指令」「燃えよ斬鉄剣」

9月25日 TV スペシャル

「トワイライトジェミニの秘密」「ワルサーP38」

会 場：映像ホール

鑑賞人数：522名



カワサキ・シティ 日本を牽引する街

KAWASAKI CITY : The Leading City of Japan

〔会 期〕10月12日～12月15日

〔入場者〕4,252人

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム

〔後 援〕朝日新聞川崎支局・NHK 横浜放送局・神奈川新聞社・かわさき FM (79.1MHz)・産経新聞社横浜総局・東京新聞川崎支局・日本経済新聞社川崎支局・毎日新聞川崎支局・読売新聞川崎支局 (五十音順)

〔特別協力〕富士通株式会社

| | |
|----------|------|
| 〔観覧料〕一般 | 800円 |
| 学生・65歳以上 | 600円 |
| 中学生以下 | 無料 |

〔開催趣旨〕

都市カワサキの現在をいま一度見つめ直し、産業都市としての発展の過程を振り返ることで、都市カワサキの未来の姿を考える展示を行なった。都市形成に関わる近現代資料とともに、映像や模型、ジオラマから都市カワサキのあゆみを総合的に紹介した。

〔主な展示品〕

昭和38年国鉄川崎駅前ジオラマ模型 (1/200) 1点
 川崎駅東口映像 1点
 明治大学理工学部建築学科「都市カワサキの未来像」作品 5点
 川崎市立西丸子小学校6年生 まちづくりワークショップ 作品 6点

〔印刷物〕

図 録：A4判 96頁
 チ ラ シ：A4判
 ポスター：B2判、B3判

〔関連イベント〕

オープニング・レセプション

日 程：10月11日

開会式 逍遥展示空間

内覧会 企画展示室1

参加人数：100名

Students トーク

日 程：10月20日 森哲人「Kawasaki Creative Core」

11月10日 箱崎慶吾「Green Life Scene」
/ 泊絢香「道にならう」

11月24日 祐川牧子「摘みとる野菜、切りとる思い出」

/ 山本裕美子「井戸端ふえすていばる」

会 場：企画展示室1

参加人数：26名

見学講座「海から見る京浜工業地帯」

日 程：10月31日

参加料：無料

参加人数：45名

講演会 鼎談「川崎駅周辺の都市開発 1980 - 2010」

日 程：11月17日

会 場：映像ホール

講 師：中井検裕（東京工業大学大学院教授）

君嶋武胤（NPO法人かわさき MOVEARTOO
隊理事長）

和田忠也（川崎市総合企画局公園緑地まちづ
くり調整室長）

参加人数：20名

特別臨時列車で行く「川崎の地下の大動脈を知る“武蔵野貨物線の秘密”」

日 程：12月1日

参加料：大人（中学生以上）4,200円、子ども（小学生）
3,500円、子ども（3～5歳）2,400円

参加人数：291名

催 行：日本旅行横浜支店

関連上映

「アッシたちの街」「どぶ」

日 程：11月16日

会 場：映像ホール

鑑賞人数：70名

学芸員による展示解説

日 程：10月14日・10月27日・11月3日・11月4日・
11月9日・11月23日・12月8日・12月14日・
12月15日

参加人数：64名



2013 川崎フロンターレ展 “Wing”

〔会 期〕12月14日～平成26年1月13日

〔入 場〕6,557人

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム

〔共 催〕川崎フロンターレ後援会、川崎フロンターレ

〔協 賛〕株式会社ピクトリコ

〔協 力〕株式会社 Handmade

〔観覧料〕一般 300円

学生・65歳以上 100円

中学生以下 無料

2014年度後援会会員は入場無料

〔開催趣旨〕

川崎フロンターレの2013年度の戦いの軌跡を写真・映像で紹介するとともに、フロンターレ関連資料(ユニフォームやシューズ、ポスター等)を用いてバラエティに富む展示を行った。また、展示だけでなく、市民が参加でき、楽しめる多彩なイベント(選手トークショー等)を開催した。

〔主な展示品〕

川崎フロンターレの2013年シーズンの戦いを記録した写真と映像

等々カグランド改修に伴う記念コーナー〔写真、歴代ユニフォーム、ポスター、メッセージ等〕

選手全員の等身大写真、選手スパイク

フロンターレと漫画家とのコラボレーション展示

幼稚園児が描いたふるん太(ミュージアムギャラリー)

「わたしの川崎フロンターレ」フォトコンテスト受賞作品(ミュージアムギャラリー)

〔印刷物〕

チ ラ シ：A4判

ポスター：B2判、B3判

〔関連イベント〕

選手チャリティトークショー(2014年度後援会会員限定)

日 程：12月14日

会 場：映像ホール

参加選手：伊藤宏樹選手、中村憲剛選手

参加人数：270名

段ボールでサッカーボールを作ろう！

日 程：12月15日

会 場：企画展示室2

参加人数：46組

年賀状を作ろう！

日 程：12月21日

会 場：企画展示室2

協 力：株式会社ビクトリコ

参加人数：20組

Mind-1 ニッポンプロジェクトイベント

「瓦 Re:key ホルダー」「瓦 Re: きっとフォト」を作ろう！

日 程：12月23日

会 場：逍遥展示空間

参加人数：36組

Mind-1 ニッポンプロジェクトイベント

「新春お宝グッズチャリティオークション」(2014年度後援会会員限定)

日 程：平成26年1月12日

会 場：映像ホール

参加人数：200名

成人の日イベント「ふるん太と成人式記念撮影会」(新成人対象)

日 程：平成26年1月13日

会 場：ガイダンスルーム

参加人数：87名

〔関連展示〕

ふるん太くん似顔絵展、「わたしの川崎フロンターレ」
フォトコンテスト受賞作品展示

会 場：ミュージアムギャラリー

主 催：平成25年度川崎フロンターレ連携・魅力づ
くり事業実行委員会

協 力：川崎フロンターレ

入場調査：504人(回答者)



昔の暮らし 今の暮らし 2014

〔会 期〕平成26年1月25日～3月30日

〔入 場〕7,590人

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム

〔観覧料〕無 料

〔開催趣旨〕

本展は、原始古代から現代までの豊富な収蔵品を広く市民に公開するとともに、小学校の社会科見学を受け入れて、学校と連携したミュージアムの活動を進めることを目的とした。

本展は、小学校3年生が学ぶ「昔の道具と暮らし」のカリキュラムにあわせた内容とし、展示では、川崎という地域に残されてきた暮らしに関わる道具と、その道具の変遷をわかりやすく紹介した。またそれらを使っていた頃の暮らしの様子を学ぶことができるように、生活空間の再現や実際に道具をさわって体験できるように展示に工夫を与えた。さらに特集展示では「食」をテーマとして設定し、昔の食生活と現代を比較した。

〔主な展示品〕

調理する(深鉢、注口土器、ナイフ形石器、羽釜、鍋、すり鉢、包丁等)

洗う・つくろう(足踏ミシン、洗濯機、洗濯板・タライ、火のし等)

保存する・たくわえる(蠅帳、水がめ、木製冷蔵庫等)

たべる(台付皿、石皿、箱膳、本膳揃一式等)

あかり(灯明皿、燭台、行灯、ガス灯、電灯等)

新しいくらしの道具(真空管ラジオ、白黒テレビ、携帯電話、ワープロ(東芝製1号機)等)

〔印刷物〕

チ ラ シ：A4判

ポスター：B2判、B3判

〔関連イベント〕

昔のあそび体験！

日 程：平成26年1月26日・2月2日・2月11日・
2月23日・3月9日・3月16日・3月21日・
3月23日

会 場：中庭

参加人数：370名

関連上映

「記録映画昭和の家事」「有明海の干潟漁」

「日本文化のふるさと 第7集 椿山・焼畑に生きる」
「日本の稲作—そのころと伝統—」
日 程：平成26年3月1・15・22・29日
会 場：映像ホール
鑑賞人数：97名

ベビーカーツアー
日 程：平成26年3月20日
参加人数：1組2名

学芸員による展示解説
日 程：平成26年1月26日・2月1日・2月9日・2月15日・2月23日・3月1日・3月9日・3月15日・3月23日・3月29日
参加人数：63名

〔小学校団体受入〕
参加学校：18校
参加人数：2,187名



第47回かわさき市美術展

〔会 期〕平成26年2月8日～2月22日
〔入 場〕1,437人
〔主 催〕川崎市、かわさき市美術展運営委員会
〔後 援〕川崎市教育委員会
〔協 賛〕川崎信用金庫、セレサ川崎農業協同組合（五十音順）
〔観覧料〕無 料

〔開催趣旨〕

かわさき市美術展は、昭和42年に始まり、平成25年度で47回を迎えた川崎市で最も歴史のある公募美術展である。市内における美術の裾野の拡大を図るとともに、市民ミュージアム、美術家、教育機関、各種団体の相互交流・連携のきっかけづくりとして、公募により応募され、審査

委員による審査会で選ばれた入選・入賞作品112点（応募総数271点）を紹介した。

〔主な展示品〕

第47回かわさき市美術展 入賞作品

最優秀賞：平面（日本画）《体温》川副麻里子

特 選：彫刻・立体造形《木のように立つ。》戸塚くるみ

工芸《想》福田典子

書《春》田草川雅子

写真《早春の安曇野》植木清吉

ヤング大賞：中高生《要らない》木村穂乃香

〔印刷物〕

募集要項：A4判（A3判2つ折り）

応募用紙：A4判

チ ラ シ：A4判

ポスター：B3判

入賞・入選作品集：B5判

案内葉書

〔関連イベント〕

表彰式・講評会

日 時：平成26年2月22日

会 場：逍遥展示空間

参加人数：100名



2 アートギャラリー展示

シリーズ・川崎の美術 響きあうアート

〔会 期〕4月6日～6月30日

〔会 場〕アートギャラリー1・2

〔観覧料〕無料

〔開催趣旨〕

開館25周年を迎えた本年の「シリーズ・川崎の美術」では、濱田庄司、岡本かの子など川崎市ゆかりの作家の作品をジャンルを越えて紹介し、あわせてこれまでワークショップなどで協力いただいた作家を新たな「川崎ゆかり」として展示した。

〔出品作家〕

濱田庄司、田中岑、深見隆、麻生三郎、斎藤寿一、渡辺豊重、山口長男、斎藤義重、菅井汲、江野永青、岡本かの子、岸宏士、井上征彦、久保田孝司、宇田川君江、圓鏝勝三、北川純、KOSUGE1-16、小森琢巳、近藤恵介、斎藤真紀、鈴木俊輔、タムラサトル、富井大裕、永岡大輔、松本力

〔主な展示品〕

濱田庄司《黒釉錆流描皿》1965年

麻生三郎《男》1974年

タムラサトル《ハートマシーン 1》2012年

鈴木俊輔《そらのむこう》2008年

〔関連イベント〕

彫刻と絵画をめぐるワークショップ

日 程：5月6日

講 師：富井大裕、近藤恵介

参加人数：27名

学芸員による展示解説

日 時：4月20日・5月4日・6月1日・6月29日

参加人数：17名

カワサキ・ドキュメント

〔会 期〕4月6日～6月30日

〔会 場〕アートギャラリー3

〔観覧料〕無料

〔開催趣旨〕

開館25周年に合わせ、「都市・川崎」のイメージを、アーティストならではの視点で川崎を捉えた作品をとおして見つめ直し、あわせて、高度成長期に発展していった「都市・川崎」の姿を記録した市民による都市記録と合わせて展示し、川崎のイメージの変遷を紹介した。

〔主な展示品〕

市制70周年（1994年）に実施した11人の写真家による川崎記録プロジェクト「カワサキモニュメント」の写真を中心に、都市・川崎の変わりゆく姿を紹介した。

点数 約100点

11人の写真家： 畠山直哉、伊奈英次、飯田 鉄、築地 仁、田村彰英、北島敬三、宮本隆司、柴田敏雄、松江泰治、小林のりお、山崎 博

1950年代から1970年代にかけて、市民による川崎市の記録写真、約600点をスライドショーで壁面投影

〔関連イベント〕

学芸員による展示解説

日 程：4月6日・4月29日・5月18日・6月15日

参加人数：21名

夜が明ける頃

〔会 期〕7月6日～9月29日

〔会 場〕アートギャラリー1・2

〔観覧料〕無料

〔開催趣旨〕

開館25周年記念特別展「新世代アーティスト展」に関連し、当館のコレクションの中からジャンルを横断して、現在は著名になった芸術家の「新世代」の頃の作品を紹介した。

〔主な展示品〕

荒木経惟、奈良原一高等現代写真家による写真
ピアズリー、カッサンドルなどによるクラシック・ポスター

岡本かの子、斎藤寿一など近現代日本作家による版画、書籍

〔関連イベント〕

学芸員による展示解説

日 程：7月6日・7月20日・8月3日・8月17日・
8月31日・9月7日・9月21日

参加人数：13名

1980年代の大衆文化

〔会 期〕10月5日～12月28日
〔会 場〕アートギャラリー1・2・3
〔観覧料〕無料

〔開催趣旨〕

開館25周年を記念して、1988年に開館した当館が収蔵した同時代美術のコレクションを紹介し、当館の設立理念を発信するとともに、当館が所蔵する1980年代のポスター、写真、雑誌、漫画、映画などを紹介することによって、この時代の文化をあらためて評価する展示を行った。

〔主な展示品〕

「フォーカス」1981年、創刊号
「キネマ旬報」1984年7月下旬号
ポスター《Yuki Saito on the beach》カルピス食品工業、1985年

〔関連イベント〕

関連上映 「back to 1988」
日 程：11月2日「敦煌」「ピーバップ・ハイスクール 高校と太郎狂騒曲」
11月3日「優駿 ORACION」「マリリンに逢いたい」
11月4日「ラスト・エンペラー」
11月23日「帝都物語」「いこかもどろか」
11月24日「あぶない刑事」「またまた あぶない刑事」
11月30日「男はつらいよ 寅次郎物語」「女咲かせます」

鑑賞人数：500人

学芸員による展示解説

日 時：10月5日・10月19日・11月2日・11月16日・
11月30日・12月7日・12月21日
参加人数：30名

タベルことにまつわること

〔会 期〕平成26年1月11日～3月30日
〔会 場〕アートギャラリー1・2・3
〔観覧料〕無料
〔開催趣旨〕

身近な親しみのある「食」というテーマで収蔵作品と、

現在活躍中の作家 EAT&ART TARO の作品を展示した。

〔主な展示品〕

ルートヴィヒ・ホールヴァイン《レストラン ヴィルヘルム・モーツェル》1909年
ウジェーヌ・オジュ《ロンパールのお茶》1910年
アルフォンス・ミュシャ《リュイナール・シャンパン》1896年

〔関連イベント〕

ツクルことにまつわること レシピをめぐる座談会
日 時：平成26年2月8日
参加人数：3名
参加費：300円
講 師：EAT&ART TARO（現代美術家）

食にまつわる特集上映「タベルこと、イキルこと」
日 程：平成26年3月1日「桃さんのしあわせ」「イラン式料理本」「記録映画 昭和の家事」
3月2日「南極料理人」「歩いても歩いても」
3月8日「めし」「お茶漬の味」
3月9日「ひかりごけ」「キャタピラー」
3月15日「恋の秋」「もったいない!」「記録映画 昭和の家事」
3月16日「よく知りもしないくせに」「昼間から呑む」
3月21日「英国給仕人に乾杯!」「ひなぎく」「魔女のバイオリン」
3月22日「短編アニメーション」「不知火海」「有明海の干潟漁」
3月23日「裸の島」「米」
3月29日「日本文化のふるさと第7集 椿山 焼畑に生きる」「不安な質問」「日本の稲作 そのことと伝統」
3月30日「ブタがいた教室」ある精肉店の話」
鑑賞人数：969名

学芸員による展示解説

日 程：平成26年1月18日・2月1日・2月15日・
3月1日・3月15日・3月29日
参加人数：22名

3 博物館展示（考古・歴史・民俗）

常設展示「博物館展示」

2007年（平成19年）4月から、時系列に沿って川崎市域の歴史と文化を紹介する展示場としてリニューアルオープンした博物館展示室は、「民俗」、「原始」、「古代」、「中世・近世1」、「近世2」、「近・現代」（「文化財シアター」を改修し2012年（平成24）5月にリニューアルオープンした）の6室で構成している。展示場の壁面に設置した大きな年表を参照しながら、それぞれの時代を特徴付ける展示資料を観覧できる。

また、展示資料も、現在の調査研究成果を踏まえたものに変更し、新収集品の積極的な公開にも努めている。

第1室「民俗」

川崎市が商工業の発達にともなって都市化への道を歩み始めた頃、多摩川沿いに広がる農村部では稲作を中心とした暮らしが営まれていた。民俗展示室では、そのような村の人々の日常生活、行事、信仰、生産活動を振り返り、どのような地域社会が形成されていったのか、往時の共同体意識・村意識について考察している。導入部に復元されている登戸台和地区の「セエノカミのオコモリ小屋」は、現在では見るができなくなっているもので、貴重な資料として展示している。

〔主な展示品〕

セエノカミのオコモリ小屋（多摩区登戸・台和地区）的祭りの的・弓・矢（中原区・日枝神社、多摩区・子之神社）平の初卯祭「蛇」（宮前区平・白幡八幡大神）大山講御神酒棹箱、念仏講道具、講中の掛軸、宮内の雨乞い「ジャ・雷・蛙・オタマジャクシ」（中原区宮内）獅子頭（宮前区初山・菅生神社）、屋根替模型、稲作農具（唐箕、足踏式脱穀機など）など

第2室「原始」

川崎に人類が住み始めた旧石器時代は、いわゆる氷河時代で、日本列島は大陸と南北でつながっていた。この時代、川崎にも小規模ながらいくつかの遺跡が確認されている。約13000年前頃から地球規模で温暖化が始まり、それとともに土器や弓矢が発明された。縄文時代の始まりである。約1万年間つづいた縄文時代は、狩猟・採集に基礎をおきながら、後半は植物の管理・栽培も行われていた社会だ。川崎には最も古い段階から、縄文時代終焉までの集落や貝塚などの遺跡が豊富である。農耕が本格化する弥生時代は、集落を溝で囲む環壕集落が登場し、階級社会へ

の歩み始める時代。第2室では、こうした時代の資料を展示している。

〔主な展示品〕

旧石器時代資料（宮前区鷲ヶ峰遺跡）貝塚出土資料（高津区子母口貝塚・新作貝塚）貝層剥取り標本（子母口貝塚）植物調理資料（多摩区No.61遺跡）草創期～晩期の土器・石器、弥生時代の土器・石器・ガラス製品など

第3室「古代」

原始農耕社会が円熟してくると、人びとの地域的なまとまりが強くなり、階級が生じてくる。その一つの象徴が古墳である。特定の個人のために大きな墓を作る古墳時代は、川崎周辺では4世紀になって登場するようになった。その後6世紀後半になると古墳の築造が多くなり、崖面に横穴を掘り、これを古墳とする横穴墓も7世紀まで盛んに作られるようになる。しかし、律令国家・仏教思想の進展とともに、次第に古墳築造にかわり、寺院の建立や国衙・郡家の創設とその支配を受けるようになる。川崎の大部分は武蔵国橘樹郡（評）であり、影向寺と千年周辺が、橘樹郡の中心地となった。

〔主な展示品〕

幸区白山古墳出土品（複製）埴輪（高津区久本山古墳・稲荷塚古墳）横穴墓出土品（多摩区長者穴、麻生区早野など）瓦（宮前区影向寺、麻生区岡上4遺跡、麻生区宮添）骨蔵器（多摩区鷲鷺沼）橘樹郡家ジオラマなど（複製）

第4室「中世・近世1」

古代律令国家が崩壊し、11世紀になると多くの土地が荘園・公領に編成される。川崎市域にも荘園・公領が確認されるが、ここでは中でも比較的伝来のわかる稲毛荘に関わる資料を展示している。一方、戦国時代になると、川崎市域は小田原城を拠点とする北条氏の支配地となるが、北条氏の滅亡に伴い、徳川氏の領地となり、近世をむかえることとなる。

近世の川崎市域は、江戸近郊に位置することもあり、大部分が幕府直轄領と、旗本の領地となった。しかし、平野部以外に臨海部、丘陵部、河川部など、その地理的条件により、村のくらしは異なっている。これら領主に関わる資料、人々の生業に関わる資料、平野部の耕作を支えた二ヶ領用水に関する資料を展示している。

〔主な展示品〕

多摩川流域絵図（複製）、稲毛本荘検注目録（複製）、鯉口（複製）、鎌倉將軍家寄進状（複製）、北条氏政判物（複製）、岡上村御縄打水帳、大師河原村塩浜耕地絵図（複製）、稲毛川崎二ヶ領用水絵図上流部・下流部（複製）、小杉・等々力地境争論裁許状（複製）など

第5室「近世2」

江戸時代の川崎を代表する場所として、川崎宿があげられる。東海道の宿場である川崎宿には本陣や問屋場などの機能が備えられ、多くの人々が行き交った。また、江戸より川崎宿に入る手前には多摩川を渡る「六郷の渡し」があり、渡船場が設けられていた。これら街道に関わる資料のほか、幕末の動乱に巻き込まれてゆく、地域の様子がわかる資料を展示している。

〔主な展示品〕

川崎宿ジオラマ、川崎宿問屋記録、宿方明細帳、万年屋模型、松平肥前守様御関札一件、横浜開港関係瓦版、外国人遊歩区域地図（複製）など

第6室「近代・現代」

明治政府による改革によって近代化が進められる中、官設鉄道の一停車場として川崎駅も新設される。そして東日本で最初の電気鉄道である京浜電気鉄道が開通し、昭和時代に入ると南武鉄道も開業し徐々に路線を拡大していく。これにより川崎駅から川崎大師にかけての都市化や、京浜工業地帯の発展の礎が築かれていくのである。川崎地域の近代化の始まりから、工業地帯の埋立地の拡大、戦時下の軍需産業に沸いた時期、そして高度経済成長期の川崎に関連する資料を展示している。

〔主な展示品〕

京浜電気鉄道車両模型、東京郊外電車回遊図絵、書簡図絵「工場は川崎へ」、浅野総一郎地先埋立予定地内池上家所有地実測図、川崎港案内など

4 マンスリー展示

2003年（平成15年）7月から、博物館展示室第5室の一部にマンスリー展示のコーナーを設置。マンスリー展示では、毎月テーマを設定して収蔵品を中心に資料紹介をしている。また、学芸員によるマンスリートーク（展示解説）を月1回土曜日に開催している。

| | |
|---------------|-------------------------|
| 4月6日～5月10日 | 鎮守・稲毛神社 |
| 5月11日～6月7日 | 脇住還 中原街道 |
| 6月8日～7月12日 | ペリーがやってきた！来航160年 |
| 7月13日～8月23日 | 夏休み子どもマンスリー もじ・もじ・文字 |
| 8月24日～9月27日 | 震災の記憶 元禄・安政・大正・平和 |
| 9月28日～11月1日 | 川崎宿誕生 宿開設390年 |
| 11月2日～11月29日 | 塩浜ご由来 川崎で塩を作っていた頃 |
| 11月30日～12月28日 | 御影 神仏の姿 |
| 1月4日～1月26日 | 初春マンスリー 「うま」 |
| 1月28日～2月28日 | 農間渡世 村の中の手工芸と商売 |
| 3月1日～3月30日 | 村の争い 境界争論 |

5 特集展示

2012年（平成24年）5月から、博物館常設展示室「近代・現代」の一部に特集展示コーナーを設置し、川崎地域の近現代史におけるさまざまなテーマを設定し、収蔵品を中心にトピック的な展示を行っている。

| | |
|--------------|------------|
| 5月18日～8月30日 | 明治の兵役 |
| 8月31日～12月20日 | 市民の足 川崎市バス |
| 12月21日～3月30日 | 地租改正 |

6 館外展示

市役所第三庁舎一階ロビーでは、「川崎の歴史と文化」をメインテーマとして、川崎市市民ミュージアムの収蔵品の中から地域に根差したテーマを選んでサテライト展示を行っている。

第4期 3月11日～6月21日

「まぼろしの八角円堂 寺尾台廃堂跡」

第5期 6月24日～9月13日「昔の学校給食」

第6期 9月17日～12月13日「中原町水道」

第7期 12月14日～平成26年2月14日「川崎の絵馬」

第8期 2月17日～4月4日

「川崎の中世遺跡 有馬中世墳墓」

7 ミュージアムライブラリー(映像・図書)

映像

3階のミュージアムライブラリーでは、VHSテープの邦画と洋画、レーザーディスクを新たに公開し、また、テレビドキュメンタリー、ニュースを個人の研究視聴として公開している。

個人視聴ブース10台、15インチの液晶テレビでDVDとVHSに対応している。

〔公開映像一覧〕

牛山純一のテレビドキュメンタリー作品

ノンフィクション劇場 シリーズ

すばらしい世界旅行 シリーズ

20世紀アワー シリーズ

たのしい歴史旅行 シリーズ

ナブ号の世界動物探検 シリーズ

生きている人間旅行 シリーズ

知られざる世界 シリーズ

ドキュメント人生の劇場 シリーズ

ナゾの海底探検 シリーズ

ワールドスペシャル シリーズ

牛山純一の世界 シリーズ

牛山純一と仲間たち シリーズ

スペシャル番組 シリーズ

日本ニュース映画(1940～1951)

神奈川ニュース映画 市政ダイジェスト

米国制作の戦争のドキュメンタリー

祭りの記録映像

図書

来館者の利用を主眼とした図書室で、約8万冊の書籍の閲覧が可能。また、下記の各分野に関する専門図書をコンピュータによって検索することもできるほか、一部の図書は開架式で自由に閲覧も可能である。

8 映画上映

〔会場〕映像ホール

〔主催〕川崎市市民ミュージアム

〔鑑賞人数〕12,131人

〔上映回数〕218回

●シネマテーク・コレクション 戦後の風景

4月6日 子どもたちの戦時と戦後

12:30～ 日本ニュース第260号 / みんなわが子

15:00～ 日本ニュース戦後篇第138号 / 蜂の巣の子供たち

4月7日 戦後の女性像

12:30～ 日本ニュース戦後篇第1号 / 朝の波紋

14:45～ 日本ニュース戦後篇第146号 / わかれ雲

4月13日 戦後の家族

11:30～ 日本ニュース戦後篇第118号 / キクとイサム

13:40～ シネマテーク・コレクション講座 1

戦後の日本映画界と独立プロ運動

(講師：崔盛旭)

15:00～ 日本ニュース戦後篇第10号 / どっこい生きている

4月14日 戦後の家族

12:30～ 日本ニュース戦後篇第9号 / 煙突の見える場所

15:00～ 日本ニュース戦後篇第23号 / 母なれば女なれば

4月20日 古いもの・新しいもの

12:30～ 日本ニュース戦後篇第201号 / 勲章

15:15～ 日本ニュース第256号 / 狂宴

4月21日 民主主義を求めて

12:30～ 日本ニュース戦後篇第3号 / ペン偽らず 暴力の街

15:00～ 日本ニュース戦後篇第2号 / 浮草日記

●生誕100年・森繁久彌

4月27日

12:00～ 夫婦善哉

14:45～ 新・夫婦善哉

4月28日

12:30～ 裸の町

15:00～ 男性飼育法

4月29日

12:30～ 珍品堂主人

15:15～ 天下の大泥棒 白浪五人男

5月3日

12:30～ 世にも面白い男の一生 桂晴団治

15:00～ 駅前旅館

5月4日

12:30～ 負ケラレマセン勝ツマデハ

15:00～ 喜劇 駅前飯店

5月5日

12:30～ 縞の背広の親分衆

15:00～ 喜劇 駅前大学

5月6日

12:30～ 喜劇 とんかつ一代

15:00～ 喜劇 駅前満貫

5月11日

12:30～ 台所太平記

15:00～ 喜劇 百点満点

●追悼特集 大島渚のドキュメンタリー

- 5月12日
 12:00 ~ 愛のコリーダ
 14:00 ~ 裸の時代 ポルノ映画・愛のコリーダ
 14:30 ~ トークショー(ゲスト: 崔洋一、金井勝)
 16:00 ~ KYOTO, MY MOTHER'S PLACE
- 5月18日
 12:00 ~ ノンフィクション劇場「忘れられた皇軍」/
 ノンフィクション劇場「青春の碑」/ 生きて
 いる人間旅行「ごぜ・盲目の女旅芸人」
 13:40 ~ トークショー(ゲスト: 田原総一郎)
 15:00 ~ 20世紀アワー「大東亜戦争(前・後)」
- 5月25日
 11:30 ~ すばらしい世界旅行「南アフリカの旅 黒人
 国家誕生」/ すばらしい世界旅行「ジョイ!
 バングラ」/ 生きている人間旅行「ベンガル
 の父 ラーマン」
 13:10 ~ 火曜スペシャル「巨人軍」
 14:45 ~ 特別番組「伝記 毛沢東」
 16:15 ~ 小川プロ訪問記
- 5月26日
 12:00 ~ ノンフィクション劇場「映画詩 氷の中の青
 春」/ ノンフィクション劇場「ある国鉄乗務
 員 4.17スト中止前夜」/ ノンフィクション
 劇場「反骨の砦 蜂の巣城の記録」
 13:25 ~ トークショー(ゲスト: 大島新、富永昌敬)
 15:00 ~ 知られざる世界「生きている日本海海戦(前・
 後)」/ 知られざる世界「生きている海の墓標
 トラックの海底をゆく」/ 知られざる世界
 「生きている玉砕の島 サイパンの海底をゆ
 く」

●シネマテーク・コレクション 境界を越える ATG 映画

- 6月1日
 12:30 ~ もう頬づえはつかない
 15:00 ~ 日本の悪霊
- 6月2日
 11:45 ~ 初恋・地獄篇
 13:45 ~ シネマテーク・コレクション講座 vol.2
 国境を越える ATG 映画
 (講師: 平沢剛、ローランド・ドメーニグ)
 15:00 ~ 薔薇の葬列
- 6月8日
 12:00 ~ 人間蒸発
 15:00 ~ 河 あの裏切りが重く
- 6月9日
 12:30 ~ さらば夏の光
 15:00 ~ ねむの木の詩
- 6月15日
 12:15 ~ 肉弾
 15:00 ~ 股旅
- 6月16日
 12:30 ~ 黒木太郎の愛と冒険
 15:00 ~ 変奏曲
- 6月22日
 12:30 ~ 心中天網島
 15:00 ~ 曾根崎心中
- 6月23日
 12:00 ~ 書を捨てよ町へ出よう
 14:45 ~ あらかじめ失われた恋人たちよ

- 6月29日
 12:15 ~ 哥
 15:00 ~ 津軽じょんがら節
- 6月30日
 12:30 ~ 西陣心中
 15:00 ~ 北村透谷 わが冬の歌

●親子上映会 - 「かぞく」そして「いのち」を想う -

- 7月2日
 11:00 ~ うまれる *親子向け上映
- 7月6日
 12:30 ~ 玄牝 *親子向け上映
 15:00 ~ 私は二歳 *一般向け上映
- 7月7日
 12:30 ~ うまれる *親子向け上映
 15:00 ~ 玄牝 *一般向け上映
- 7月9日
 11:00 ~ 私は二歳 *親子向け上映
- 7月11日
 11:00 ~ 玄牝 *親子向け上映

●夏休みアニメ祭り edge of the animation
 実写とアニメの境界を

- 7月13日 庵野秀明1
 12:30 ~ トップをねらえ! (第1話~第3話)
 14:30 ~ 式日
- 7月14日 庵野秀明2
 12:30 ~ トップをねらえ! (第4話~第6話)
 14:30 ~ 式日
- 7月15日 大友克洋
 12:00 ~ AKIRA
 14:30 ~ 蟲師
- 7月20日 押井守1
 12:30 ~ GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊
 15:00 ~ アヴァロン
- 7月21日 押井守2
 12:30 ~ 機動警察パトレイバー 2 the Movie
 15:00 ~ ASSAULT GIRLS
- 7月27日 石井克人
 12:30 ~ PARTY7
 15:00 ~ REDLINE
- 7月28日 マイケル・アリアス
 12:30 ~ 鉄コン筋クリート
 15:00 ~ ヘブンス・ドア

●夏休みアニメ祭り

- 8月3日 藤子・F・不二雄
 12:30 ~ ドラえもん のび太の日本誕生
 15:00 ~ ドラえもん のび太とアニマル惑星
- 8月4日 藤子・F・不二雄
 12:30 ~ ドラえもん のび太と竜の騎士
 15:00 ~ ドラえもん のび太のドラビアンナイト
- 8月10日 手塚治虫
 12:30 ~ ジャングル大帝 劇場版
 14:45 ~ 火の鳥 2772 愛のコスモゾーン
- 8月11日 松本零士

11:45 ~ 銀河鉄道 999
 14:30 ~ さよなら銀河鉄道 999 アンドロメダ終着駅
 8月17日 青山剛昌 / 水木しげる
 12:30 ~ 名探偵コナン 漆黒の追跡者
 15:00 ~ 劇場版ゲゲゲの鬼太郎 日本爆裂!!
 8月18日 青山剛昌 / 水木しげる
 12:30 ~ カッパの三平
 15:00 ~ 名探偵コナン 11人目のストライカー
 8月25日 児童文学原作作品
 12:30 ~ とべないホテル
 15:00 ~ チリンの鈴 / やさしいライオン
 8月31日 高畑勲 / 宮崎駿
 12:30 ~ パンダコパンダ / パンダコパンダ 雨ふりサーカス
 15:00 ~ パンダコパンダ / パンダコパンダ 雨ふりサーカス
 9月1日 石ノ森章太郎 / トキワ荘
 12:30 ~ サイボーグ 009 超銀河伝説
 15:15 ~ ぼくらマンガ家 トキワ荘物語

●「アニメ化40周年—ルパン三世展」関連上映

9月7日
 12:30 ~ 1st シリーズ 魔術師と呼ばれた男 / 脱獄のチャンスは一度 / 殺し屋はブルースを歌う
 15:00 ~ 2nd シリーズ 追いつめられたルパン / 国境は別れの顔 / とつとつあんの惚れた女
 9月8日
 12:30 ~ 2nd シリーズ 五右衛門危機一髪 / 華麗なるチームプレイ作戦 / 死の翼アルバトロス
 15:00 ~ 3rd シリーズ 死神ガープと呼ばれた男 / カクテルの名は復讐 / 戒厳令の夜
 9月14日
 12:30 ~ 4th シリーズ LUPIN the Third 峰不二子という女
 大泥棒 VS 女怪盗 / .357 マグナム / 淑女とサムライ
 15:00 ~ TV スペシャル ヘミングウェイ・ペーパーの謎
 9月15日
 12:30 ~ TV スペシャル ルパン暗殺指令
 15:00 ~ TV スペシャル 燃えよ斬鉄剣
 9月16日
 12:30 ~ TV スペシャル トワイライトジェミニの秘密
 15:00 ~ TV スペシャル ワルサー P38

●シネマテーク・コレクション

アルゴの仕事〜90年代、独立プロの行方〜

9月21日
 12:30 ~ あいつ
 15:00 ~ ザ・中学教師
 9月23日
 12:30 ~ 遊びの時間は終わらない
 15:00 ~ さよなら、こんにちわ
 9月28日
 12:00 ~ ヌードの夜
 14:00 ~ シネマテーク・コレクション講座 vol.3
 1980年代以降の日本映画 映画作りの自由のために
 (講師:石井隆、岡田裕)

15:15 ~ 櫻の園
 9月29日
 12:30 ~ 800 Two Lap Runners
 15:00 ~ トカレフ

●洋画特集—憧憬の欧州—

10月5日
 11:30 ~ フレンチ・カンカン [復元長尺版]
 14:00 ~ 昼顔
 10月6日
 11:30 ~ 勝手にしやがれ
 14:00 ~ 気狂いピエロ
 10月12日
 11:30 ~ 霧の中の風景
 14:15 ~ ミツバチのささやき
 10月13日
 11:30 ~ 吸血鬼
 14:00 ~ スリ
 10月19日
 11:30 ~ 山猫 [完全復元版]
 10月20日
 11:30 ~ 旅芸人の記録
 10月26日
 11:30 ~ 嘘つきヤコブ
 13:15 ~ トークショー
 (ゲスト:ラルフ・シェンク博士、筒井武文)
 14:45 ~ アギーレ / 神の怒り
 10月27日
 11:30 ~ 荒野の用心棒
 14:00 ~ レニングラード・カウボーイズ・ゴー・アメリカ

●1980年代の大衆文化展 関連上映 back to 1988

11月2日
 11:30 ~ 敦煌
 14:00 ~ ビーバップ・ハイスクール 高校与太郎狂騒曲
 11月3日
 11:30 ~ 優駿 ORACION
 14:00 ~ マリリンに逢いたい
 11月4日
 11:30 ~ ラスト・エンペラー
 11月23日
 11:30 ~ 帝都物語
 14:00 ~ いこかもどろか
 11月24日
 11:30 ~ あぶない刑事
 13:20 ~ トークショー (ゲスト: 柏原寛司、大川俊道)
 14:45 ~ またまた あぶない刑事
 11月30日
 11:30 ~ 男はつらいよ 寅次郎物語
 14:00 ~ 女咲かせます

●開館25周年記念フェスティバル
 「～食とアートと音楽と～」関連上映

11月10日
 11:30 ~ タンポポ
 14:00 ~ タンポポ

●「カワサキ・シティ 日本を牽引する街」展 関連上映

11月16日
11:30 ~ アッシーたちの街
14:00 ~ どぶ

●脚色術—原作と脚本の関係

12月1日
11:30 ~ 通夜の客より わが愛
14:00 ~ 偽大学生
15:45 ~ トークショー(ゲスト:白坂依志夫、小野沢稔彦)

12月7日
11:30 ~ Mr. ジレンマン 色情狂い
14:00 ~ 0課の女 赤い手錠

12月8日
11:30 ~ 暁の脱走
14:00 ~ 春婦伝

12月14日
11:00 ~ 「女の小箱」より 夫が見た
13:00 ~ 妻は告白する
14:35 ~ トークショー (ゲスト:荒井晴彦、青山真治)

12月15日
11:30 ~ 私が棄てた女
14:00 ~ 愛する

12月21日
11:30 ~ 関の彌太ッペ
14:00 ~ 沓掛時次郎 遊侠一匹

12月22日
11:30 ~ 戦争を知らない子供たち
14:00 ~ 青春の蹉跎

12月23日
11:30 ~ 砂の上の植物群
14:00 ~ おんなの細道 濡れた海峡

12月28日
11:30 ~ 江分利満氏の優雅な生活
14:00 ~ はつ恋

1月4日
11:30 ~ 日本の悪霊
14:00 ~ 叛乱

1月5日
11:30 ~ 人間に賭けるな
14:00 ~ 事件

●追悼 小説家・山崎豊子

1月11日
11:30 ~ 女の勲章
14:00 ~ 女系家族

1月13日
11:30 ~ 沈まぬ太陽

1月18日
11:30 ~ 横堀川
14:00 ~ 白い巨塔

1月19日
11:30 ~ 不毛地帯

1月25日
11:30 ~ 華麗なる一族

1月26日

11:30 ~ 暖簾
14:15 ~ 花のれん

●蘇ったフィルムたち~東京国立近代美術館フィルムセンター復元作品特集

〔主催〕川崎市市民ミュージアム、東京国立近代美術館
フィルムセンター、一般社団法人コミュニティ
シネマセンター

〔協力〕株式会社フォーライフ ミュージックエンタテ
インメント、松本夏樹、株式会社徳間書店

2月1日
11:30 ~ 忠次旅日記 弁士・ピアノつき上映
14:00 ~ 新・平家物語

2月2日
11:30 ~ サイレント・アンソロジー 弁士・ピアノつき上映
14:00 ~ 短編集1 (13作品)

2月8日
11:30 ~ 瀧の白糸
14:00 ~ 地獄門

2月16日
11:30 ~ 緑はるかに
14:00 ~ 幸福

2月22日
11:30 ~ 短編集2 (9作品)
14:00 ~ 羅生門
15:40 ~ トークショー(ゲスト:とちぎあきら、三浦和己)

●毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念
過去受賞作品アンコール上映「歴代受賞作品特集」

2月9日
11:30 ~ 終の信託
14:30 ~ 桐島、部活やめるってよ

2月11日
11:30 ~ 釣りバカ日誌 2
14:00 ~ 利休

2月15日
11:30 ~ 襦袢の旗
14:00 ~ 飼育

●「タベルことにまつわること」展、
「昔の暮らし今の暮らし2014」展関連上映
タベルこと、イキルこと

3月1日
11:30 ~ 桃(タオ)さんの幸せ
14:00 ~ イラン式料理本
15:45 ~ 昭和の家事 無料上映

3月2日
11:30 ~ 南極料理人
14:00 ~ 歩いてても歩いてても

3月8日
11:30 ~ めし
14:00 ~ お茶漬の味

3月9日
11:30 ~ ひかりごけ

- 14:00 ~ キャタピラー
15:40 ~ トークショー（ゲスト：四方田犬彦）
- 3月15日
11:30 ~ 恋の秋
14:00 ~ もったいない！
15:45 ~ 昭和の家事 無料上映
- 3月16日
11:15 ~ よく知りもしないくせに
13:30 ~ トークショー（ゲスト：コウケンテツ）
15:00 ~ 昼間から呑む
- 3月21日
11:30 ~ 英国王給仕人に乾杯！
14:00 ~ ひなぎく / 魔女のバイオリン
- 3月22日
11:30 ~ 《親子向け上映会》短編アニメーション
13:15 ~ 不知火海
16:15 ~ 有明海の干潟漁 無料上映
- 3月23日
11:30 ~ 裸の島
14:00 ~ 米
- 3月29日
11:30 ~ 日本文化のふるさと 第7集
樫山 焼畑に生きる 無料上映
14:00 ~ 不安な質問
16:00 ~ 日本の稲作～そのころと伝統～ 無料上映
- 3月30日
11:30 ~ ブタがいた教室
14:00 ~ ある精肉店のはなし
特別料金での上映
（一般 1,200 円、大学・高校生・シニア 1,000 円、
小中学生・友の会会員 800 円）
16:00 ~ トークショー（ゲスト：瀧川あや・石坂健治）

9 ビデオ・DVD 上映

〔会 場〕映像ホール
〔主 催〕川崎市市民ミュージアム
〔入場者〕1,097 人
〔上映回数〕60 回
〔日 程〕毎週水曜日 14:00 ~ / 毎月第 2 火曜日 14:00 ~

● 4 月 テレビ放送開始から草創期

- 4月3日
1953年（昭和28）NHK 放送開始・皇太子殿下の御外遊・
第5次吉田内閣の成立など
- 4月10日
1954年（昭和29）第五福竜丸被災・国会乱闘事件・二
重橋事件など
- 4月17日
1955年（昭和30）総選挙・炭鉱の惨事・自由民主党発
足など
- 4月24日
1956年（昭和31）太陽族ブーム・水爆実験抗議など
1957年（昭和32）南極観測隊上陸成功・日ソ国交回復

● 5 月 テレビ受像機の普及

- 5月1日
1958年（昭和33）横山大観死去・日米共同声明発表・
ソ連スプートニク打上げ成功など
- 5月8日
1959年（昭和34）皇太子ご成婚・カミナリ族・全学連
国会構内乱入など
- 5月15日
1960年（昭和35）三井三池労働争議・所得倍增計画・
浅沼刺殺事件など
- 5月22日
1961年（昭和36）室戸台風・核実験反対運動・失業問
題など
- 5月29日
1962年（昭和37）女子バレー世界一・日韓国交正常化
など
1963年（昭和38）吉展ちゃん事件・三井・三池鉱爆発・
ケネディ 大統領暗殺など

● 6 月 カラーテレビの登場

- 6月5日
1964年（昭和39）東京オリンピック・新潟地震・過密
都市東京など
- 6月12日

1965年(昭和40)日韓国交正常化・経済不況など

6月19日

1966年(昭和41)羽田沖全日空港機墜落・政界の黒い霧事件・交通戦争など

6月26日

1967年(昭和42)公害問題・自動車1,000万台突破・ベトナム戦争反対など

1968年(昭和43)川端康成ノーベル賞受賞・府中3億年事件・原子力空母入港など

● 7月 衛星中継の時代へ

7月3日

1969年(昭和44)アポロ11号月面着陸・学園紛争・東名高速全線開通など

7月10日

1970年(昭和45)万国博覧会・日航機ハイジャック・三島由紀夫割腹自殺など

7月17日

1971年(昭和46)新潟水俣病裁判、原告勝訴・成田空港用地の代執行など

7月24日

1972年(昭和47)沖縄復帰・浅間山荘事件・日中国交回復など

7月31日

1973年(昭和48)オイルショック・浅間山噴火など
1974年(昭和49)多摩川堤防決壊・モナリザ展開催など

● 8月 カメラの小型化・軽量化

8月7日

1975年(昭和50)沖縄海洋博・天皇、皇后陛下アメリカ訪問など

8月14日

1976年(昭和51)ロッキード事件・進学塾ブーム・5つ子誕生など

8月21日

1977年(昭和52)横浜住宅街に米軍機墜落・子どもの自殺増加など

8月28日

1978年(昭和53)宮城沖地震・サラ金の悲劇など
1979年(昭和54)東京サミット・インベーダゲーム流行など

● 9月 大型報道番組の時代

9月4日

1980年(昭和55)金属バット両親殺害事件・日米経済摩擦・冷夏など

9月11日

1981年(昭和56)福井謙一ノーベル化学賞・国鉄赤字線廃止・夕張炭鉱ガス爆発など

9月18日

1982年(昭和57)中曽根政権誕生・日航機羽田沖墜落など

9月25日

1983年(昭和58)大韓航空機撃墜事件・日本海中部地震など

● 10月 ニュースキャスター登場

10月2日

1984年(昭和59)グリコ森永脅迫事件・東京15年ぶり大雪・NHK衛星放送開始など

10月9日

1985年(昭和60)日航ジャンボ御巢鷹山墜落・豊田商事事件など

10月16日

1986年(昭和61)三原山大噴火・スペースシャトルチャレンジャー惨事など

10月23日

1987年(昭和62)朝日新聞社襲撃事件・JRスタート・エイズなど

10月30日

1988年(昭和63)リクルート事件・牛肉オレンジ問題・潜水艦なだしお事故など

● 11月 昭和をテーマごとに再検証

11月6日

「焼け跡と闇市」

11月13日

「引き揚げ」

11月20日

「男女同権」

11月27日

「労働争議」

● 12月 昭和をテーマごとに再検証

12月4日

「マッカーサーのGHQ」「民主化の台頭」

12月11日

「東京裁判」「講話と独立」

12月18日

「55年体制」「60年安保」

12月25日

「東京サミット」「政界スキャンダル」

● 1月 戦後経済成長の影

1月8日

「特需景気」「もはや戦後ではない」

1月15日

「金の卵」「エネルギー革命」

1月22日

「所得倍増計画」「公害」

1月29日

「ドルショックと石油ショック」

● 2月 戦後経済成長の影

2月5日

「昭和元祿」

2月19日

「日米経済摩擦」

2月26日

「分割民営」

● 3月 戦後経済成長の影

3月5日

「バブル経済」

3月12日

「外国人労働者」

3月19日

「昭和から平成へ」

3月26日

「混迷の時代 人々は生きる」

「博多祇園山笠」(福岡)「佐原大祭」(千葉)「烏山の山あげ(やまあげ)行事」(栃木)

8月13日

精霊の送迎

「長崎精霊流し」(長崎)「永平寺の灯籠流し」(福井)「曾我の傘焼まつり」(神奈川)「猪俣の百八燈」(埼玉)

9月10日

歌舞伎の祭り

「肥土山農村歌舞伎」(香川)「黒森歌舞伎」(山形)「長浜曳山祭」(滋賀)

10月8日

火の祭り

「お燈まつり」(和歌山)「吉田の火祭」(山梨)「周防祖生の柱松行事」(山口)「大善寺玉垂宮の鬼夜」(福岡)

11月12日

太鼓の祭り

「綴子大太鼓祭り」(秋田)「さんさ踊り」(岩手)「郡上宝暦義民太鼓」(岐阜)「名舟大祭」(石川)

12月10日

来訪神の祭り

「男鹿のナマハゲ」(秋田)「あまめはぎ」(石川)「甕島のトシドン」(鹿児島)

3月11日

食べる祭り

「ごっそう飯」(石川)「ごぼう講」(福井)「ぼたもち祭り」(新潟)「若神子のほうとう祭り」(山梨)

● 「祭りの映像記憶」上映と解説

〔日程〕毎月第2火曜日 14:00～

4月9日

牛馬が出てくる祭り

「初午祭」(鹿児島)「チャグチャグ馬コ」(岩手県)「塩原の大山供養田植」(広島県)

5月14日

能楽の祭り

「菊池の松囃子」(熊本)「能郷の能・狂言」(岐阜)「佐陀神能」(島根)

6月11日

船が出てくる祭り

「管弦祭」(広島)「長崎ペーロン」(長崎)「河内祭の御船行事」(和歌山)

7月9日

祇園の祭り

10 ミニホール ビデオ上映

ミニホールでは、「川崎市 市政ニュース映画」「お子さま向けアニメーション」「日本映画傑作選」を定期的には上映し、市民のホームシアターとして所蔵するビデオやDVDを活用した。

〔利用者数〕965人

〔上映回数〕71回

●日本映画傑作選 上映

日 程：毎月第4火曜日 10:00～、11:30～（2回上映）

4月23日

「ほろよい人生」昭和8年

5月28日

「あきれた連中」昭和11年

6月25日

「パレットナイフ殺人事件」昭和21年

7月23日

「王将」昭和23年

8月27日

「浅草の肌」昭和25年

10月22日

「プーサン」昭和28年

11月26日

「あに いもうと」昭和28年

1月28日

「女が階段を上がる時」昭和35年

2月25日

「がめつい奴」昭和35年

3月25日

「濃東奇譚」昭和35年

●お子さま向けアニメーション 上映

日 程：毎週金曜日 10:30～

4月5日

日本昔話「いっすん法師」「つるの恩返し」

4月12日

日本昔話「金太郎」「おむすびころりん」

4月19日

日本昔話「花さかじいさん」「かぐや姫」

4月26日

日本昔話「かちかち山」「やまんばと牛かた」

5月10日

日本昔話「もも太郎」「かさじぞう」

5月17日

日本昔話「こぶとりじいさん」「ものぐさ太郎」

5月24日

日本昔話「うらしま太郎」「ねずみの嫁入り」

5月31日

アンデルセン物語「みにくいあひるの子」「ぼくと遊ぼうよ」「さようならママ」

6月7日

アンデルセン物語「マッチ売りの少女・なかよしはいつまでも」

6月14日

アンデルセン物語「裸の王様・ふたりの秘密」

6月21日

アンデルセン物語「鉛の兵隊・ねむりの精オーレ」

6月28日

アンデルセン物語「人魚姫」

7月5日

アンデルセン物語「沼の王の娘」

7月12日

アンデルセン物語「旅の道づれ」

7月19日

アンデルセン物語「氷姫」

7月26日

中国の昔話「蓮の花の姫」「インドの昔話 白いゾウ」

8月2日

まんが世界昔ばなし「マッチ売りの少女」「イワンのかか」

8月9日

まんが世界昔ばなし「ヘンデルとグレーテル」「おおかみと少年」

8月16日

まんが世界昔ばなし「はだかの王様」「ねずみの嫁入り」

8月23日

まんが世界昔ばなし「プレーメンの音楽隊」「たなばたさま」

8月30日

まんが世界昔ばなし「しらゆき姫」「まほうの子うま」

9月6日

まんが世界昔ばなし「おやゆび姫」「アルプス名犬バリー」

9月13日

まんが世界昔ばなし7「おおかみと七ひきの子ヤギ」「わがまな巨人」

9月20日
まんが世界昔ばなし「ジャックとまめの木」「しりたがりやのとら」

9月23日
まんが世界昔ばなし「幸福の王子」「おじぞう様の赤い目」

10月4日
まんが世界昔ばなし「いばら姫」「金色のがちょう」

10月11日
まんが世界昔ばなし「三びきの子ぶた」「星のコスモス」

10月19日
まんが世界昔ばなし「ハンメルの子ぶた」「おしゃれなクジャク」

10月26日
まんが世界昔ばなし「シンデレラ」「なかまはずれのこうもり」

11月1日
まんが世界昔ばなし「フランダースの犬」「岩じいさん」

11月8日
まんが世界昔ばなし「アラジンとまほうのランプ」「さるのきも」

11月15日
まんが世界昔ばなし「ありときりぎりす」「鐘をならしたきじ」

11月22日
まんが世界昔ばなし「みにくいあひるの子」「まほうのソーゼージ」

11月29日
まんが世界昔ばなし「にんぎょ姫」「長ぐつをはいたねこ」

12月6日
まんが世界昔ばなし「赤ずきんちゃん」「なし売り仙人」

12月13日
まんが世界昔ばなし「王様の耳はロバの耳」「オルペウスのたて琴」

12月20日
まんが偉人物語「ライト兄弟」「ペーブルース」

12月27日
まんが偉人物語「エジソン」「メンデル」

平成26年1月10日
まんが偉人物語「ヘレンケラー」「シートン」

1月17日
まんが偉人物語「坂本竜馬」「リンカーン」

1月24日
まんが偉人物語「ガリレオ・ガリレイ」「コペルニクス」

1月31日

まんが偉人物語「コロンブス」「一休」

2月7日
まんが偉人物語「ニュートン」「ダーウィン」

2月14日
まんが偉人物語「紫式部」「マルコ・ポーロ」

2月28日
まんが偉人物語「アンデルセン」「ベル」

3月7日
まんが偉人物語「レオナルド・ダビンチ」「ゲーデンベルグ」

3月14日
まんが偉人物語「野口英世」「レントゲン」

3月21日
まんが偉人物語「キュリー夫人」「ゴッホ」

3月28日
まんが偉人物語「夏目漱石」「ファーブル」

●美術館シリーズ 上映

日 程：毎月第3土曜日 14：00～

4月20日
ルーブル美術館「神なる王・ファラオの時代 ～古代エジプト～」

5月18日
ルーブル美術館「メソポタミア・流砂の興亡 ～古代オリエント～」

6月15日
ルーブル美術館「ビーナスの微笑 ～古代ギリシャ～」

7月20日
ルーブル美術館「皇帝たちの光芒 ～古代ローマ～」

8月17日
ルーブル美術館「大聖堂の時代 ～中世ヨーロッパ～」

9月21日
ルーブル美術館「花開くルネッサンス ～レオナルド・ダ・ビンチへの道～」

10月19日
ルーブル美術館「北方ルネッサンスのきらめき ～フランドルとドイツ～」

11月16日
ルーブル美術館「巨匠たちの饗宴 盛期ルネッサンス」

12月21日
ルーブル美術館「光と影の王国 スペイン黄金時代」

1月18日
ルーブル美術館「パロックの峰 ルーベンスとレンブラント」

2月15日

ルーブル美術館「太陽王の世紀 ルイ14世とベルサイユ」

3月15日

ルーブル美術館「ロココの華 ルイ15世の時代」

11 他団体の展示等

MOA 美術館川崎市児童作品展

〔会 期〕11月22日～11月24日

〔会 場〕企画展示室2、ミュージアムギャラリー

〔入場者〕2,322人

〔主 催〕MOA 美術館川崎市児童作品展実行委員会

収集・整理・保存

1 収集

(1) 考古担当

〔収集方針〕

川崎市域で発掘・発見された考古資料を中心に、周辺地域の関係資料の収集活動を行っている。

〔購入資料〕

上丸子古墳出土人物埴輪 3体

(2) 歴史担当

〔収集方針〕

川崎市域史に関わる歴史資料、および川崎を描いた絵画資料（絵図類・錦絵など）、また近現代の都市生活資料を中心に収集活動を行っている。

〔寄贈資料〕

森 馨氏寄贈資料 3点（氷冷蔵庫など）
岡田幸雄氏寄贈資料 1点（白黒テレビ）
石井登美子氏寄贈資料 30点（石井泰助氏写真など）
菊地誠氏寄贈資料 1,248点（新聞チラシ）
中溝誠一氏寄贈資料 6点
（東京オリンピック記念硬貨・大阪万国博覧会記念硬貨）
細山郷土資料館寄贈資料 一括
（土地整理組合関係ほか古文書）

〔購入資料〕

小川一朗家旧蔵資料 96点
川崎復興都市計画図 1点

(3) 民俗担当

〔収集方針〕

川崎市域に伝えられてきた民俗資料を中心に収集を行っている。

〔寄贈資料〕

森 勝忠氏寄贈資料 1点（渡し船の銭函）
井田光政氏寄贈資料 5件 74点
（座繰器、糸枠、キリダメ、手ぬぐい70本）
大久保透氏寄贈資料 1基（石造庚申塔）
菊池司氏寄贈資料 137冊
（雑誌『暮らしの手帖』第2世紀100冊 第3世紀37冊）
森 馨氏寄贈資料 26件 299点
（御札274点、貧乏徳利、祝着など）
細山郷土資料館寄贈資料 54件 65点
（細王舎資料など細山の生活用具、生産用具）

〔購入資料〕

「蕪村妖怪絵巻」(複製) 1点

(4) 美術・文芸担当

〔収集方針〕

川崎市にかかわる作家の作品、資料の収集を行っている。

〔寄贈作品〕

鈴木俊輔 「みなまた」油彩、キャンパス 2006年
「空」油彩、キャンパス 2007年
結城巧 「花粉」紙本着彩
「海市」紙本着彩 2002年
奥田紘 「ペンギン」油彩、キャンパス
「定規のある同罪」油彩、キャンパス
「非連続性の女神」油彩、キャンパス
「母情双体図」油彩、キャンパス
深見隆 「人間の風景」油彩、キャンパス
「風化C」油彩、キャンパス
「假面A」油彩、キャンパス
「假面B」油彩、キャンパス
「石化B」油彩、キャンパス
「石紋」油彩、キャンパス
「石紋」油彩、キャンパス
スケッチブック 1冊
久保田孝司 「工場のある風景」油彩、キャンパス
「タンクのある風景」油彩、キャンパス
（無題）油彩、キャンパス
「白い壁」油彩、キャンパス
（無題）油彩、キャンパス
「静物」油彩、キャンパス
「魚」油彩、キャンパス
スケッチ 21点
井上俊郎 「アスターナの涙」油彩、キャンパス
「イスタンブール残照」油彩、キャンパス

(5) グラフィック担当

〔収集方針〕

ポスターと現代版画、および関連資料の収集を行っている。ポスターでは特に、印刷技術の発達により多色刷り・大判のポスター製作が可能になった19世紀から20世紀前半までのフランスを中心とするヨーロッパのポスターと、現代日本の優れたグラフィックデザイナーのポスター収集に力を入れている。版画ではポップ・アートを中心に収集している。25年度の収集は行っていない。

(6) 写真担当

〔収集方針〕

国内外の重要なドキュメンタリー作品の収集ならびに写真史の上で貴重な作品資料の収集を行っている。

〔寄贈作品〕

日本写真家協会 写真関連書籍 183冊
東京総合写真専門学校校友会 写真作品 60点

(7) 漫画担当

〔収集方針〕

日本漫画史を通観できる作品・資料、日本と相互影響関係にある外国漫画資料を収集している。25年度については収集は行っていない。

(8) 映画担当

〔収集方針〕

独立プロダクションの作品の収集を基本としている。

〔寄贈資料〕

アルゴ・ピクチャーズ作品 5点
「ノーライフキング」(英語字幕付) 1989年
監督：市川準 106分 35mm
「火星のカノン」2002年
監督：風間志織 121分 35mm
「犬と歩けば ～チロリとタムラ」2003年
監督：篠崎誠 104分 35mm
「福耳」2003年 監督：瀧川治水 110分 35mm
「福耳」(英語字幕付) 2003年
監督：瀧川治水 110分 35mm

(9) ビデオ担当

〔収集方針〕

20世紀の記録・表現として時代・社会及び文化を反映する貴重な映像を収集することを基本方針としている。25年度の収集は行っていない。

2 整理・保存・修復

(1) 考古担当

〔整理〕

市内出土の板碑、骨蔵器について状態確認を実施した。

〔保存・修復〕

津田山出土の鉄刀 4点
縄文土器 1点
越路遺跡出土の磁器 1点

(2) 歴史担当

〔整理〕

平成24年度に引き続き、収蔵古文書の再整理を行うと共に、データベースの入力作業を進めた。特に溝口村・上田家文書について再整理、データ化が終了した。小林家資料の受け入れに伴い、資料のクリーニング、分類を行なった。

〔保存・修復〕

資料燻蒸 2回
成川家文書 5点
増田家文書「江戸大絵図」 1点

(3) 民俗担当

〔整理〕

平成25年度収集資料の受け入れに伴い、資料のクリーニング、注記、撮影、資料カード作成を実施した。また、灯火用具(大島コレクション)ならびに民俗資料のデータベース入力作業を行った。

〔保存・修復〕

資料燻蒸 3回
摺仏掛軸の軸装新調 4点
里修験関係資料のうち「狐憑き関連資料」の修復 6点

(4) 美術・文芸担当

〔整理〕

アートギャラリー展「響きあうアート」 「タベルことにまつわること」展のための関連作品、資料の整理を行った。また、寄贈された作品の整理をおこなった。

〔保存・修復〕

資料燻蒸 2回
安田敦彦 「小鏡子」修復
石渡風古 日本画 2点 修復
「白馬のおもちゃ」「燈籠」
田中岑 油彩画 8点 修復
「エレジー」 「常世の長鳴」 「光炎」 「扉」 「樹木」 「森の径」 「印象」 「記憶」

(5) グラフィック担当

〔整理〕

作品カード作成及びデータ化
カタログポスター展出品ポスター 800件
外国ポスター 40件
ルウ・ドーフスマン関連資料 200件
関連雑誌・貴重本 300件

〔保存・修復〕

資料燻蒸 1回

(6) 写真担当

〔整理〕

昭和30年代、40年代撮影の川崎市内を撮影した。

〔保存・修復〕

川崎市写真コンクールの写真のデジタル化 3200枚

(7) 漫画担当

〔整理〕

岡本一平、穴戸左行関係資料(約430点)および富田英三関係資料(約2000点)のカード作成(カード化、データ入力、画像処理、画像貼り込み等を含む)を行った。

〔保存・修復〕

資料燻蒸 2回

(8) 映画担当

〔整理・保存〕

寄贈16mmフィルム約530作品の状態チェックと整理作業を行った。

(9) ビデオ担当

〔整理〕

実相寺昭雄 第3期寄贈資料(33箱)、村木良彦 寄贈資料の分類整理(158箱)ハイビジョンテープ(58本)、神奈川県立図書館寄贈16mmフィルムの仕分け整理(2,634本)、未整理室の新聞、雑誌、週刊誌廃棄の整理(61箱)、額フレーム(16箱分)、牛山純一・日本映像記録センター出版書籍(65箱)、佐藤忠男寄贈資料の分類整理(36箱)、和田矩衛寄贈資料の仕分け(105箱)、「地方の時代」映像祭VHSビデオテープ(24箱)

3 収蔵品の貸出・他館への協力

(1) 考古担当

〔資料貸出 4件 1,120点〕

黒川 10遺跡、下原遺跡、岡上遺跡、宮添遺跡出土品ほか1,029点(川崎市立柿生中学校)

南原遺跡出土資料 49点(川崎市立南原小学校)

東高根遺跡出土土器 一括(東高根森林公園)

神庭遺跡出土土器 19点(神奈川県立中原養護学校)

市内出土縄文土器 3点(川崎市立岡本太郎美術館)

〔特別利用 5件 50点〕

熟覧・撮影

市内出土の骨蔵器 10点(個人)

初山遺跡出土縄文土器 5点(個人)

初山遺跡出土石皿 1点(個人)

長尾台北遺跡出土土器 一括(個人)

原版使用

万福寺遺跡群縄文時代草創期出土石器 1点

(株式会社アフロ)

(2) 歴史担当

〔資料貸出 4件 18点〕

北條義時下知状 1点

(神奈川県立歴史博物館「こもんじょざんまい」展)

「神奈川県人懇親会姓名録」他 7点

(自由民権資料館「神奈川県会と武相の民権家」展)

「罹災証明書」他 9点

(川崎市平和館「川崎大空襲記録」展)

日米テレビ 1点(株式会社チネチッタ)

〔特別利用 26件 135点〕

熟覧

旧登戸村井出家文書 7点(個人)

明治天皇御東幸六郷川船橋架設絵図 1点(個人)

恒岡越後守判物他 2点(埼玉県立公文書館)

安藤家文書 5点(中原観光協会)

撮影

「民間省要」1点(川崎市公文書館)

「金沢区泥亀新田入江図」他 2点(個人)

主上東幸之節玉川船橋図 1点(個人)

東京湾埋立株式会社事業案内他 2点

(YOUテレビ株式会社)

大津富夫家文書 39点(八王子市市史編さん室)

「砂糖製作記」他 6点(個人)

市民広報 2点(川崎市交通局)

原版使用

近世奇跡考 1点(株式会社平凡社)

「祐之地震之記」1点(神奈川県立公文書館)

妙法寺板碑 1点(川崎市立野川小学校)

「川崎誌考」他 25点

(川崎市総合企画局公園緑地まちづくり調整室)

明和2年川崎宿船場町絵図 1点

(株式会社小学館スクウェア)

北條義時下知状ほか 1点(神奈川県立歴史博物館)

「富士道中日記帳」他 3点(個人)

「川崎市街全図」他 15点

(川崎市総合企画局臨海部国際戦略室)

「川崎宿絵図」1点(エー・アール・ティ株式会社)

奈良茶飯の復元 1点(東京都江戸東京博物館)

「民間省要」1点

(あきる野市役所観光まちづくり活動課)
「京浜電鉄遊覧地案内図」1点(株式会社フルハウス)
後北条氏虎の印判状(永禄7年)他 2点
(川崎市教育委員会文化財課)
「市制要覧」掲載写真 4点
(川崎市総合企画局臨海部国際戦略室)
鈴木商店味の素(写真)他 9点(テレビ朝日)

(3) 民俗担当

[資料貸出 3件 4点]

「絵本百物語」「髪切りの奇談」2点(横須賀美術館)
砂盛模型 1点(横浜市歴史博物館)
ちゃぶ台 1点(川崎市平和館)

[特別利用 16件 133点]

熟 覧

砂盛模型 1点(横浜市歴史博物館)
化物絵巻他 5点(横須賀美術館)
『河童図説』他 3点(千葉県立中央博物館)

原版使用

「絵本百物語」「髪切りの奇談」2点(横須賀美術館)
水虎之図 1点(五島観光歴史資料館)
水虎之図 1点(ビーンズワークス)
「狂歌百鬼夜興」1点(角川学芸出版)
白黒テレビ他 5点(川崎市立梶ヶ谷小学校)
足踏脱穀機 1点(川崎市教育委員会文化財課)
水虎之図 1点(朝日学生新聞社)
漁撈用具・海苔生産用具 105点
(国際常民文化研究機構)
河童像 1点(光村図書出版)
砂盛模型 1点(横浜市歴史博物館)
化物絵巻、水虎之図 3点(カワイオフィス)
水虎之図 1点(平凡社)

模 写

企画展図録『道祖神の源流』より
「オホンダレサン」の図 1点(個人)

(4) 美術・文芸担当

[資料貸出 1件 1点]

濱田庄司「白釉黒流掛大鉢」
(人間国宝展 東京国立博物館)

[特別利用 17件 31点]

原版使用

濱田庄司「丸紋彫絵瓶」(人文学出版)
安田鞞彦「草薙の剣」(株式会社十象舎)
佐藤惣之助 肖像写真(光村図書出版)
安田鞞彦「草薙の剣」(株式会社ネクサス)

濱田庄司「白釉黒流掛大鉢」(東京国立博物館)
「磐梯山噴火の図」(明治神宮)
渡辺豊重「虚形」(東京美術倶楽部)
吟光「新富町都座七月興行大海嘯」
(株式会社サイゾー)
安田鞞彦「草薙の剣」(株式会社秀学社)
渡辺豊重「虚形」「作品」「三点と三本の曲がり、そして一本」(岩手県立美術館)
佐藤惣之助 肖像写真
(KADOKAWA 中経出版ブランドカンパニー)
皇室御団欒御真影 (株式会社ベストセラーズ)

撮 影

久保一雄「太陽のない街」スケッチ 4点
(紀伊國屋書店)
岡本かの子 書籍 3点(日本近代文学館)

熟 覧

岡本かの子 書籍 3点(個人)
「土族の商法」(株式会社 ロムアート)
安田鞞彦 下絵 6点(奈良県立美術館)

(5) グラフィック担当

[資料貸出 1件 2点]

「おいしいアート 食と美の出会い」展 2点
(横須賀美術館)

[特別利用 5件 10点]

原版使用

ジョルジュ・ムニエ
ノルマンディーとブルターニュへの小旅行
ジュール・シェレ オペレッタ「女王インディゴ」
アルフォンス・ミュシャ
サラ・ベルナル主演「ラ・トスカ」 2件
テオフィル＝アレクサンドル・スタンラン
黒猫一座巡回公演
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック
ムーラン・ルーージュのラ・ゲーリュ
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック
ジャヌ・アヴリル

熟 覧

アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック 彼女たち
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック
『フィガロ・イリュストレ』誌
アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック『ミルリトン』誌

(6) 写真担当

原版使用

川崎市港湾局港湾振興部 40点

多摩区図書館 15点
まちづくり局市街地整備振興課 28点
リゲル社 3点
MKSK プロ不動産 4点
タマジン 1点
川崎市環境局総務部 2点
平凡社 3点
川崎市シティーセールス広報室 20点
共榮堂 5点
角川書店 歴史読本 3点
川崎市市民子ども局市民生活部 1点

熟 覧

まちづくり局市街地整備振興課 252点
写真研究者(個人) 10点

(7) 漫画担当

[資料貸出 1件 9点]

鳥山石燕等「画図百鬼夜行」など作品 9点
(横須賀美術館「日本の『妖怪』を追え!」展)

[特別利用 24件 45点]

原版使用

鳥山石燕『画図百鬼夜行』ほか 9点
(横須賀市美術館)
歌川芳虎「いたずら書人のはなうた」兎絵 1点
(株)ピクス)
ビゴー風刺画「魚釣り遊び」1点
(代々木ゼミナール)
鳥山石燕『画図百鬼夜行』ほか 3点
(株)角川学芸出版)
「化物忠臣蔵」3点(株)学研パブリッシング)
鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「人面樹」1点
(株)少年写真新聞社)
ビゴー風刺画『トバエ』より「漁父の利」1点
(株)山川出版社)
『上等ポンチ』より「池上競馬場」1点
(公益財団法人馬事文化財団)
『驥尾団子』より「開拓使官有物払下げ事件の風刺画」
1点(株)ユニフォトプレスインターナショナル)
鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「猫又」1点
(株)アーテファクトリー)
鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「河童図」1点
(株)モンスターゾーン)
『東京パック』より「巷説行革風景」1点
(株)キャリア ハイ)
鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「あみきり」ほか 3点
(株)東北新社)

『東京パック』より「巷説行革風景」1点
(金沢市教育委員会)
鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「ぬっぺらぼう」1点
(株)阪急コミュニケーションズ)
鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「山姥」1点
(株)朝日新聞出版)
鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「ぬらりひょん」ほか
3点(株)マニユボックス)
滑稽萬国形勢新地図 1点(株)山川出版社)
ビゴー風刺画「日本の生活になじまない西洋人」
1点(アレン・ホックリー)
鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「鳴家」他 2点
(有)カワイオフィス)
『東京パック』より「巷説行革風景」1点
(株)帝国書院)
ビゴー風刺画「The War in the East」ほか 4点
(株)エネット)
ビゴー風刺画『トバエ』より「漁父の利」ほか 2点
(株)アフロ)

(8) 映画担当

[館外貸出 2件 3点]

35mmフィルム「無常」「河 あゝの裏切りが重く」
(ラピュタ阿佐ヶ谷)
16mmフィルム「思春の泉」(テレビ朝日)

[特別利用 10件 88点]

熟 覧

小川プロダクション関連資料 75点 1件
(立命館大学)
35mm映画フィルム「平和祈念都市ひろしま」「ひろ
しま 産業の再建」2点 3件
(広島市、広島市立大学)

撮 影

35mm映画フィルム「平和祈念都市ひろしま」「ひろ
しま 産業の再建」2点 2件
(広島ホームテレビ、広島テレビ放送)

原版使用

「平和祈念都市ひろしま」「ひろしま 産業の再建」
関連資料 6点 1件(中国新聞社)
35mm映画フィルム「平和祈念都市ひろしま」「ひろ
しま 産業の再建」2点 2件
(東京新聞、広島テレビ放送)
16mmフィルム「思春の泉」1点 1件(テレビ朝日)

(9) 映像(ビデオ)担当

なし

調査研究

1 調査研究

(1) 考古担当

多摩川流域遺跡群研究会との共同研究で、蟹ヶ谷古墳群の発掘調査を5年間でやる事業の第2カ年目の発掘調査を実施した。平成25年度の発掘調査は、第1・2号墳の2基の規模確認を行った。またこれに伴い、調査成果を市民に還元することを目的とした現地説明会を実施した。

(2) 歴史担当

企画展「受け継がれた文化財 川崎大師の寺宝と信仰・文化財は語る…」展に際し、川崎大師所蔵資料の調査を行ない、展示構成および内容に反映させた。開館25周年記念企画展「カワサキ・シティ 日本を牽引する街」展では昭和期における国鉄川崎駅周辺について調査を行った。

また、上田家文書の再整理・データ化、および小林家資料のうち新聞資料のリスト化・整理を行なった。

(3) 民俗担当

鶴見大学との共同研究「川崎市市民ミュージアムにおける収蔵品の文化財科学的調査研究」にもとづき、所蔵資料の千歯扱き（合計59挺）について調査研究成果をまとめ、市民ミュージアム紀要にて報告した。

また、神奈川大学国際常民文化研究機構との共同研究「民具の標準名称に関する研究」における成果を報告した。

(4) 美術・文芸担当

アートギャラリーにおいて、第1期「響きあうアート」展、第2期「夜が明ける頃」展に関わる調査をし、平成26年度「田中岑」展をはじめ、今後開催予定に関する作家作品調査を行った。また、ゆかりの作家である佐藤惣之助について、研究成果を紀要にまとめた。

かわさき市美術展関連作品、岡本かの子、佐藤惣之助に関連する雑誌について、リスト化、整理を行った。

(5) グラフィック担当

カタログポスター展資料800件の作品カード化に伴い、作品名、作家名、年代の特定のため、調査を行った。アートギャラリー「夜が明ける頃」展に際し、アール・ヌーヴォー、アール・デコの作家と作品についての調査を行った。

(6) 写真担当

アートギャラリー第一期「カワサキ・ドキュメント」展の開催に伴い、昭和30年代から40年代にかけての川崎市内の写真の調査を行った。また、アートギャラリー第二期「1980年代の大衆文化」展の展示のため、1980年代の写真雑誌の調査を行った。そして、平成26年度アートギャラリー第一期「顔」展のため、展示作品の調査を行った。

(7) 漫画担当

27年度以降、当館での開催を検討する漫画展に関わる調査を行った。

(8) 映画担当

毎月の企画上映において、上映作品に関する調査を行った。特にアートギャラリー展示「1980年代の大衆文化展」「タベルことにまつわること展」の関連上映では、展覧会にあたっての調査と合わせ、関連作品の調査を行い、特集上映に反映させた。また特集上映「脚色術 原作と脚本の関係」では、上映作品ごとに元となった原作と脚本についての調査研究を行い、サマリーを作成して上映の際に観客に配布した。

(9) 映像（ビデオ）担当

テレビニュースの上映に伴い、年度ごとの世相について調査し、友の会の企画による学習会で「日本の歴代の宰相」に関する映像として、ニュース映画等から調査した。20世紀の記録映像で、米国側が撮影した太平洋戦争の映像を確認し、内容の解説文を作成した。

2 出版

(1) 『川崎市市民ミュージアム紀要第 26 集』

川崎市市民ミュージアム紀要は、考古・歴史・民俗・美術文芸・グラフィック・写真・漫画・映画・ビデオ及び施設運営・管理などに関する論文・資料紹介から構成し、ミュージアム職員の日頃の調査研究の成果を発表したものである。

〔内 容〕

佐藤惣之助の詩と作詞 佐藤美子

2013（平成 25）年度川崎市市民ミュージアム・スタジオプログラムによる滞在制作の成果（報告）

深川雅文

センバコキの赤外線写真撮影による文字情報の抽出について

高橋典子

高津区蟹ヶ谷古墳群測量調査報告 新井 悟

土生田純之

浜田晋介

高久健二

山本孝文

博物館・美術館におけるブランディングについて

石澤志津

〔仕 様〕

B5 判 71 頁

〔発 行〕

平成 26 年 3 月 31 日発行 735 部

(2) 『川崎市市民ミュージアム収蔵品目録 民俗資料 第 5 集』

当館が所蔵する民俗資料のうち、2005 年度から 2013 年度にかけて収集した資料の目録を刊行した。

〔仕 様〕

A 4 版 122 頁

〔発 行〕

平成 25 年 3 月 30 日発行 400 部

職員の派遣

(1) 博物館

- 4月1日～(通年) 国際常民文化研究機構共同研究への派遣(民俗担当)
- 5月8日 「川崎市域の民話」社会科教育研究会(民俗担当)
- 5月18日 「白山古墳と三角縁神獣鏡」幸市民館日吉分館・日吉郷土史会(考古担当)
- 7月11日 「安藤家と安藤家文書」中原区文化協会(歴史担当)
- 7月13日 「調布飛行場の発掘調査 - 調査成果から考える戦争遺跡とその周辺」日本考古学会(考古担当)
- 7月30日 「麦藁細工を作ろう」川崎区役所・麦人の会(民俗担当)
- 8月6日 「麦藁細工を作ろう」川崎区役所・麦人の会(民俗担当)
- 8月24日 「麦藁細工を作ろう」川崎区役所市民自主企画講座(民俗担当)
- 9月14日 「なかはらを探求しよう 文献資料について」中原市民館市民自主学級(歴史担当)
- 9月20日 「岡上村は何郡だったのか？」郷土岡上の歴史・文化継承事業委員会(歴史担当)
- 10月18日 「岡上の歴史散策」郷土岡上の歴史・文化継承事業委員会(歴史担当)
- 11月15日 「岡上村の歩んだ道 近世から近代への歴史」郷土岡上の歴史・文化継承事業委員会(歴史担当)
- 12月6日 「石造物の基礎知識」文化財ボランティア養成事業(民俗担当)
- 12月6日 「幕末期における岡上村の負担 官軍御用」郷土岡上の歴史・文化継承事業委員会(歴史担当)
- 12月13日 東海道かわさき宿交流館第1回運営委員会(歴史担当)
- 平成26年1月18日 「秋草文壺とその周辺」幸市民館日吉分館・日吉郷土史会(歴史担当)
- 1月30日 「江戸庶民のくらしを知ろう」宮前の歴史を学ぶ会(民俗担当)
- 2月15日 「宮前区の古代」有馬・野川生涯学習支援施設(考古担当)
- 2月22日 「宮前区の近世」有馬・野川生涯学習支援施設(歴史担当)
- 2月22日 「出土遺物が語る東柿生小学校敷地の古代～中世の姿」柿生郷土資料館(考古担当)

3月1日 「宮前区の近代」有馬・野川生涯学習支援施設(歴史担当)

3月26日 東海道かわさき宿交流館第2回運営委員会(歴史担当)

(2) 美術館

- 4月1日～平成26年3月31日(全6回) 川崎市アートセンター アルテリオ 上映企画委員会(映画担当)
- 4月14日～平成26年3月15日(第3木曜日)全12回 友の会企画「映像で学ぶ昭和史」講師(映像担当)
- 9月1日～平成26年3月31日(全4回) 聖マリアンナ医科大学「大学等シーズ・ニーズ創出強化支援事業 イノベーション対話促進プログラム」参加(映画担当)
- 平成26年3月11日 東京国立近代美術館収集購入委員会(写真担当)
- 3月13日 多摩市民館市民ギャラリー展示指導
- 3月24日 日本映画大学「映画・映像アートマネジメント人材養成講座」外部諮問委員会(映画担当)

教育・普及

1 教育普及

学校や地域との連携を図るとともに、市民ミュージアムを身近に感じ活用してもらえよう事業を展開する。また、子育て支援事業としてのママカフェの実施やボランティア活動の組織化、及びその拡充を図る中でボランティアスタッフと共に事業を推進している。

(1) スクールプログラム

市民ミュージアムの特性を活かし、市内の小・中・高等学校の児童生徒を対象とし、学校での学習単元や社会体験に沿ったプログラムを学校等の教育機関と市民ミュージアム（教育普及担当と学芸室）が協働して実施するプログラムである。

◎社会科教育推進事業

川崎市の公立小学校4年生を対象に、江戸時代に作られた二ヶ領用水の歴史と役割、当時の生活について学ぶプログラムである。各学校への参加希望調査と年間の日程を調整し、学校と市民ミュージアム間の送迎を行った。

日 程：7月2日～平成26年2月7日（73日間）

場 所：ガイダンスルーム、遺囑展示空間、博物館展示室

講 師：教育普及担当

参加校：96校 / 113校（85%）

地区別参加

| | |
|-----|---------------|
| 川崎区 | 17 / 20校（85%） |
| 幸 区 | 11 / 13校（85%） |
| 中原区 | 16 / 18校（89%） |
| 高津区 | 14 / 15校（93%） |
| 宮前区 | 15 / 17校（88%） |
| 多摩区 | 13 / 14校（93%） |
| 麻生区 | 10 / 16校（63%） |

参加人数：10,432名（児童9,888名 引率教員544名）

バス借上げ：210台

◎博物館・美術館・総合学習プログラム

学芸員の解説をつけたバックヤード見学、民俗・考古・歴史の常設展示・企画展示の見学、アートギャラリー展、企画展の鑑賞、体験プログラム

日 程：通年

場 所：企画展示室1・2、体験学習室、バックヤード、研修室、常設展、アートギャラリー

対 象：小学生～大学生

講 師：担当学芸員

参加人数：594名 22校

◎出張プログラム

学芸員が学校・学校周辺遺跡等に出向いて、学校の要望に沿ったプログラムを行う。

「縄文時代に関する授業」

日 程：4月25日

対 象：東高津小学校 162名

「加瀬台遺跡の授業」

日 程：4月26日

対 象：日吉小学校 135名

「貝塚、古墳など地域史の授業」

日 程：5月23日

対 象：子母口小学校 202名

「地域史の授業」

日 程：5月30日

対 象：西楯ヶ谷小学校 91名

「縄文土器に関するプログラム」

日 程：10月19日

対 象：川中島中学校 19名

◎職業体験

博物館についてのガイダンス、館内見学、学芸員の仕事、ショップ・受付監視などを体験する。

日 程：通年

対 象：主に市内の中学2年生

講 師：教育普及担当、担当学芸員

参加人数：117名 25校

◎学校連携展覧会

第62回 川崎市中学校理科作品展

主 催：川崎市立中学校教育研究会理科部会、川崎市市民ミュージアム

会 期：9月14日～9月25日

場 所：ミュージアムギャラリー

参加人数：1,108名

第56回 創造する子ども展

主 催：川崎市教育委員会、川崎市造形教育連合会、川崎市市民ミュージアム

会 期：11月26日～12月3日

場 所：企画展示室 2

参加人数：3,373 名

第 47 回 川崎市立中学校造形展

主 催：川崎市教育委員会、川崎市立中学校教育研究会美術部会、川崎市市民ミュージアム

会 期：平成 26 年 1 月 11 日～ 1 月 17 日

場 所：企画展示室 1

参加人数：1,040 名

第 33 回 川崎市立中学校技術・家庭科作品展

主 催：川崎市教育委員会、川崎市中学校教育研究会技術・家庭科部会、川崎市市民ミュージアム

会 期：平成 26 年 1 月 25 日～ 2 月 3 日

場 所：ミュージアムギャラリー

参加人数：517 名

◎大学連携

大学など専門的な高等教育機関と連携し、学生が活躍する場を提供する。

横浜国立大学の教育人間科学部美術教育ゼミナールが開発したアートツールを使用した造形ワークショップを開催した。

日 程：11 月 30 日、12 月 1 日

場 所：逍遥展示空間

対 象：幼児から小・中学生

講 師：横浜国立大学教育人間科学部美術教育ゼミナール

参加人数：360 名

(2) 子育て支援

◎ママカフェ

幼いころから博物館・美術館に足を運び、文化に親しみを持てるような場を提供する。子育て中の親同士が気軽に集まり、情報を提供・収集する場として活用された。

日 程：第 1・第 3 木曜日

場 所：市民ミュージアムレストラン「3104」

対 象：乳幼児～未就学児の親子 5 席 20 組（年度途中から 25 組）

参加人数：親子 291 組 557 名

見守りのボランティアスタッフ：9 名

◎ベビーカーツアー

乳幼児がいる保護者の来館を促し、幼児が文化芸術に触れる機会を作ることを目的としている。

要約した展示解説と親子で自由見学できるワークシート

を用意し実施した。

日 程：通年、企画展ごと計 6 回実施

場 所：企画展示室 1・2

対 象：乳幼児～未就学児の親子（定員は展示状況によって変更あり）

参加人数：親子 12 組 25 名

見守りのボランティアスタッフ：9 名

(3) ミュージアムプログラム

ミュージアムの收藏品や展示、研究内容を反映した様々なプログラムを実施し、広く市民に還元する普及活動を行った。

◎「シリーズ・川崎の美術」展関連ワークショップ「彫刻と絵画をめぐるワークショップ」

身近なモノから形をつくり、色を塗ることの体験を通して、彩色と彫刻という総合芸術について、実際に制作をしながら考えるワークショップを開催した。

日 程：5 月 6 日

場 所：逍遥展示空間

講 師：富井大裕（彫刻家）・近藤恵介（画家）

参加料：500 円

参加人数：27 名

◎遺跡めぐり「まぼろしの山城・小沢城を歩く」

川崎市の中世の山城であり、小沢小太郎の居城であったと伝えられている小沢城と菅の獅子舞で知られる薬師堂を見学した。

日 程：7 月 27 日

場 所：小沢城・薬師堂周辺

講 師：担当学芸員

参加料：500 円

参加人数：19 名

◎夏休み体験教室「古代のアクセサリーを作ろう」

古代の装身具である勾玉と貝環を制作する体験教室を開催した。

日 程：8 月 10 日

場 所：体験学習室

講 師：小葉一夫（東高根森林公園副所長）

参加料：500 円

参加人数：23 名

◎開館 25 周年記念特別展「マンガ・アニメ祭り」展関連ワークショップ「写真を使ったコマ撮りアニメーションワークショップ」

写真撮影をしてコマ撮りアニメーションを制作、アニ

メーションに音をつける、などの作業を通して、アニメーションの成り立ちを体験するワークショップを実施した。

日 程：8月3日・10日・24日
場 所：第3研修室、ミュージアムギャラリー
講 師：江口拓人（マルチメディアアーティスト）
参加料：500円
参加人数：のべ12名

◎おやこ歴史散策「二ヶ領用水を歩こう」

親子で小杉御殿町や小杉陣屋町周辺の二ヶ領用水を散策した。

日 程：8月24日
場 所：小杉御殿町、小杉陣屋町周辺
対 象：子どもから大人まで（小学校3年生以下は保護者同伴）
講 師：担当学芸員
参加料：200円
参加人数：5名

◎福祉プログラム

高齢者福祉プログラム「対話による鑑賞会～アートでおはなし～」

アートギャラリーの展覧会において、高齢者とその介護者を対象とした、美術作品の対話型鑑賞プログラムを実施した。

日 程：9月25日・平成26年2月26日（全2回）
場 所：アートギャラリー
対 象：グループホーム 愛の家 中原下小田中（9月25日）
グループホーム 愛の家 宮前宮崎（2月26日）
講 師：認定特定非営利活動法人 芸術資源開発機構
参加人数：7名（9月25日）、9名（2月26日）

障害者福祉プログラム「見える人・見えない人 一緒に楽しむ鑑賞会」

アートギャラリーの展覧会において、視覚に障がいがある人となない人でグループを作り、対話をしながら美術作品を鑑賞するプログラムを実施した。

日 程：9月1日・22日（全3回）
場 所：アートギャラリー
講 師：特定非営利活動法人 エイブル・アート・ジャパン
参加人数：のべ22名

◎地域のお祭りを見る「菅の獅子舞」

薬師堂の境内で奉納される「菅の獅子舞」を見学する講

座を開催した。見学の事前講義として、「菅の獅子舞」を含む川崎市の獅子舞について講義を行った。

日 程：9月8日・15日（15日の見学は雨天中止）
場 所：市民ミュージアム第3研修室、薬師堂
講 師：担当学芸員
参加料：300円
参加人数：8名

◎写真連続講座「写真を魅せることについて」

写真作品を撮影するところから、展示まで総合的に学ぶ全8回の連続講座として実施した。講座終了後には、成果発表展をミュージアムギャラリー1にて開催した（会期：3月2日～30日）。

日 程：9月14日・28日・10月26日・11月9日・12月7日・平成26年1月18日・2月15日・3月1日 計8回
場 所：体験学習室
講 師：倉谷拓朴（写真作家）
参加料：6,400円
参加人数：8名

◎学芸員研究ノート

市民ミュージアムの学芸員がそれぞれの専門分野における調査研究の成果を、市民に伝える連続講座を開催した。

日程・内容・講師：
10月12日 『『映像で見る現代史』 動く映像が後世に伝える歴史』（濱崎好治学芸員）
10月19日 「江戸絵画の楽しみ方 若冲を中心に」（喜安嶺学芸員）
11月9日 「横尾忠則の作品と東映任侠映画」（阿部久瑠美学芸員）
11月30日 「浮世絵の楽しみ方 国芳を中心に」（佐藤美子学芸員）
12月7日 「写真の著作権について」（林司学芸員）
12月21日 「ロートレックの生涯と作品」（平井直子学芸員）
平成26年1月25日 「古代の役所と寺院」（望月一樹学芸員）
2月22日 「市域に伝わる民話 狐・河童・不思議な話を中心に」（高橋典子学芸員）
3月22日 「消えた多摩川低地の古墳 もうひとつの古墳文化」（新井悟学芸員）
場 所：中原区役所503会議室（11月30日、2月22日、3月22日は501会議室）

参加料：無料
参加人数：130名

◎歴史散策「川崎近代史探訪 川崎運河を歩く」

京浜電気鉄道株式会社が開削し、現在は埋め立てられてしまった川崎運河の痕跡を探る歴史散策を実施した。

日 程：12月7日・8日

場 所：市民ミュージアム第3研修室、川崎市川崎区内

講 師：担当学芸員

参加料：500円

参加人数：8名

◎和綴じ体験教室「古文書のかたち」

四つ目綴じと糊入れ帖2種の、計3冊の和綴じ本を制作する体験教室を開催した。

日 程：12月21日・22日

場 所：体験学習室

講 師：浅野哲示（製本屋・製本工房「牽牛荘」）

参加料：2,000円

参加人数：10名

◎「タベルことにまつわること」展に関連したワークショップ「ツクルことにまつわることーレシピをめぐる座談会ー」

講師が所蔵する昭和時代の料理本を読み説きながら、地域の食文化の発展や、食と美術の関連性について考察するワークショップを開催した。

日 程：平成26年2月8日

場 所：アートギャラリー3

講 師：EAT&ART TARO（現代美術家）

参加料：300円

参加人数：3名

◎古文書講座

はじめて古文書を読む人のための5回連続入門講座。古文書を読んで、江戸時代の村の暮らしについて学んだ。

日 程：

第1回

平成26年3月1日「古文書とは？ くずし字とは？」

第2回

平成26年3月8日「古文書を読んでみよう 壺」

第3回

平成26年3月15日「古文書を読んでみよう 式」

第4回

平成26年3月22日「古文書を読んでみよう 参」

第5回

平成26年3月29日「古文書を読んでみよう 肆」

場 所：第2研修室

講 師：担当学芸員 第1回のみ、小林紀子氏（横浜市歴史博物館学芸員）

参加料：1,500円（5回分）

参加人数：20名

◎博物館講座

「昔の暮らし今の暮らし2014」の特集展示のテーマである「食」に関連付け、歴史・考古・民俗の三つの分野の研究者が「食文化」についての講座を行った。

場 所：第3研修室

参加料：500円（3回分）

定 員：40名（先着順）

第1回「遺跡から探る江戸の食生活」

日 程：平成26年3月8日

講 師：追川吉生（東京大学埋蔵文化財調査室助手）

参加人数：27名

第2回「縄文の食」

日 程：平成26年3月15日

講 師：高橋健（横浜市歴史博物館学芸員）

参加人数：21名

第3回「雑穀と日本の食文化 日本の食の原点『雑穀・いも・まめ、ときどき魚』」

日 程：平成26年3月29日

講 師：増田昭子（川崎市文化財審議会委員）

参加人数：20名

◎開館25周年記念教育普及事業「柴川敏之 | 2000年後の今に触れる☆プロジェクト | PLANET TACTILE」

「2000年後に発掘された現代社会」をテーマに制作活動を続けている、現代美術作家の柴川敏之氏を迎え、「展示作品の制作ワークショップ」、「展覧会」、「展覧会における鑑賞プログラム」という3つの要素で構成されるプログラムを実施した。

展覧会は、多くの方に楽しんでもらえるよう、作品の一部は触れるようにし、中にはボタンを押して音が出る作品もあり、視覚だけでなく、触覚や聴覚など、様々な感覚で楽しむことができるものとした。会期中には、対話をしながら展覧会を鑑賞するプログラムを開催することで、言葉と五感で鑑賞する展覧会を目指した。

【展示作品の制作ワークショップ】

川崎市立田島養護学校 制作ワークショップ

日 程：6月3日

場 所：川崎市立田島養護学校体育館

参加者：高等部34名

川崎市立養護学校・川崎市立豊学校 制作ワーク

ショップ

日 程：6月17日

場 所：逍遥展示空間

参加者：養護学校 中学部 23名、聾学校 幼稚部
～高等部 29名

【展覧会】

会 期：7月9日～9月29日

会 場：アートギャラリー3

観 覧 料：無料

観覧者数：755名

【関連イベント】

アーティストトーク「2000年後の世界へようこそ！」

日 程：8月4日

参加人数：30名

ボランティアによる展示ガイド

日 程：8月4日・8月18日・9月1日・9月15日・
9月29日

参加人数：67名

こども展示ガイド

日 程：8月6日・8月7日・8月8日

参加人数：101名

【展覧会における鑑賞プログラム】

福祉プログラム（P39）に同じ

◎開館25周年記念教育普及事業「ABCーアート・ブック・クラブ 中学生とミュージアムがつくる一冊の本」

近隣の中学校の文化部の生徒を対象とした共同制作ワークショップを通年で実施した。「柴川敏之 | 2000年後の今に触れる プロジェクト | PLANET TACTILE」を中心に鑑賞し、専門家の指導を仰ぎながら、本の内容制作、デザイン、印刷、製本までを総合的に学ぶ活動を行った。完成した本は、参加者、関係者、市内の中学校・高校、美術館の教育普及関係者へ配布した。（制作部数：700部）

日 程：8月4日～平成26年3月18日（計10日間）

場 所：市民ミュージアム、西中原中学校

講 師：柴川敏之、笹川アツコ、加藤健、担当学芸員

参加者：西中原中学校 デザイン工芸部

参加人数：50名

◎アトリエ一般開放

市民ミュージアムの特徴的な収蔵部門である版画の普

及を目指し、シルクスクリーンとリトグラフで制作活動をしている人を対象に、アトリエを一般開放し、市民活動の場を提供する事業を平成25年度より開始した。一般開放日にはアトリエ指導員が常駐し、利用者のサポートやプレス機・感光機等のメンテナンスを行った。また、指導員は初心者対象講座の講師も務めた。指導員には、制作活動支援を目的に若手版画家を起用し、アトリエを自主制作の場として提供した。年度末には、ミュージアムギャラリーで指導員の成果発表となる展覧会を開催した。

【一般開放】

日 程：5月～3月の毎週日曜日及び8月23日・2月
11日 計46日 / 92回

午前の部 10:00～13:00、午後の部
13:30～16:30

場 所：アトリエ

指 導 員：長谷川文子（シルクスクリーン）・岡田晴菜
（リトグラフ）

利 用 料：1コマ 1,300円

利用人数：のべ226名

【初心者対象講座】

「シルクスクリーン初心者のための2日間連続講座」

日 程：10月26日・27日

場 所：アトリエ

講 師：長谷川文子

参加料：3,000円

参加人数：10名

「リトグラフ初心者のための2日間連続講座」

日 程：11月23日・24日

場 所：アトリエ

講 師：岡田晴菜

参加料：3,000円

参加人数：10名

【成果発表展】

第1回 版画アトリエ一般開放 アトリエ指導員2人展
「重ねることと作ること 版画で表現する作家たち」

会 期：平成26年3月2日～3月30日

会 場：ミュージアムギャラリー2

観 覧 料：無料

観覧者数：167人

(4) さまざまな団体と新たな連携

◎おやじ de ミュージアム

川崎市内の市民団体「川崎おやじ連」と市民ミュージアムの連携事業を実施した。各団体が、昔ながらの遊びや工作を体験できるブースを出店し、子どもから大人まで誰でも参加できるイベントを実施した。

日 程：7月13日

場 所：逍遥展示空間

講師・参加者：おやじ考、いたか、しらはた 21、ま・いい会、おいでよ会から 28 名

参加人数：113 名

◎お正月 de ミュージアム

川崎市内の市民団体「川崎おやじ連」と市民ミュージアムの連携事業を実施した。凧や羽子板作り、カルタとりなどの、お正月の遊びや工作を体験できるイベントを実施した。

日 程：平成 26 年 1 月 13 日

場 所：逍遥展示空間

講師・参加者：おやじ考、いたか、しらはた 21、ま・いい会、おいでよ会から 28 名

参加人数：263 名

(5) ボランティア活動

ミュージアムとの協働により、ミュージアムの事業をサポートするとともに、ボランティアが主体となる自主活動を企画し実施する。

◎スクールプログラムサポート

社会科教育推進事業をはじめとした、スクールプログラムで来館する児童の見学時のサポート。

活動参加人数：126 名（登録者数 23 名）

◎イベントサポート

ミュージアム主催のイベント、ワークショップや講座等のサポート。

活動参加人数：29 名（登録者数 42 名）

◎チャイルドサポート

ママカフェ、ベビーカーツアーのサポート。

活動参加人数：44 名（登録者数 9 名）

◎展示ガイド（博物館部門）

博物館展示室の常設の収蔵品についてのガイド。

活動参加人数：86 名（登録者数 15 名）

◎展示ガイド（美術館部門）

常設オブジェとアートギャラリーについてのガイド。

活動参加人数：61 名（登録者数 14 名）

◎ワークショップ

ミュージアムの収蔵品や展示に関連したワークショップを実施。

活動参加人数：56 名（登録者数 26 名）

◎企画・運営

ボランティア主体となった企画の提案や運営。

活動参加人数：64 名（登録者数 13 名）

◎ボランティア募集

前年度 3 月から新規ボランティアの募集を行い、24 名が新規に登録した。

ボランティアスタッフ登録人数 72 名（平成 26 年 3 月 31 日現在）

◎研修

新規ボランティア研修

「グループ別研修」「フォローアップ研修」を体系化し、実施した。

ボランティアデー

展示ガイドやワークショップ等の、ボランティア活動を 1 日で体験できるイベントを実施した。

また、ランチタイムミニコンサートとして、川崎ハーモニカ協会「あすなるカルテット」のコンサートを開催した。

日 程：10 月 6 日

場 所：逍遥展示空間他

参加人数：70 名

◎ボランティア対象内覧会

ミュージアム主催企画展の内覧会を、友の会と合同で実施した。

2 実習生の受け入れ

(1) 博物館担当

◎館内実習 7 月 23 日～ 8 月 3 日

首都大学東京大学院 1 名

お茶の水女子大学 1 名

立正大学 1 名

| | |
|--------|----|
| 日本大学 | 1名 |
| 関東学院大学 | 1名 |
| 駒澤大学 | 1名 |
| 国土館大学 | 1名 |
| 学習院大学 | 1名 |

(2) 美術館担当

◎館内実習 9月10日～9月21日

| | |
|-----------|----|
| 明治学院大学 | 1名 |
| 明治大学大学院 | 1名 |
| 横浜国立大学大学院 | 1名 |
| 一橋大学大学院 | 1名 |

3 イベント

市民ミュージアムの来館者が気軽に参加したり、楽しんだりできるイベントを館中央にある逍遥展示空間などで開催している。2003年(平成15年)からスタートした若者をターゲットにしたイベント「カワサキ・ティーンズ・プロジェクト」を開催したほか、企画展と連動したイベントの実施等、市民ミュージアムの活動をより広い層に紹介するイベントを行っている。

◎プロムナードコンサート

来館者が展示を鑑賞する合間に気軽に楽しんでもらうコンサート。出演者は公募している。

日 程：5月12日 13:30～14:00 / 15:00～15:30
 会 場：逍遥展示空間
 出 演：Dou Plaisir 木村早紀(ピアノ) 加藤晴美(フルート)
 参加人数：159名

日 程：7月14日 13:30～14:00 / 15:00～15:30
 会 場：逍遥展示空間
 出 演：神山智衣(サクソ) 嶋田早苗(サクソ)
 奈良美里(サクソ) 西澤遥乃(サクソ)
 参加人数：143名

日 程：10月13日 13:30～14:00 / 15:00～15:30
 会 場：逍遥展示空間
 出 演：神田斉(ピアノ)
 参加人数：204名

クリスマスコンサート

日 程：12月8日 13:00～14:00

会 場：逍遥展示空間
 出 演：Air Beluga - ピエロのロカ(マンドリン)
 山下智夫(ギター) 日吉真澄(ピアノ)・
 参加人数：154名

日 程：平成26年1月12日 13:30～14:00 /
 15:00～15:30

会 場：逍遥展示空間
 出 演：朽木直子(ピアノ)
 参加人数：164名

日 程：平成26年3月9日 13:30～14:00 / 15:00
 ～15:30

会 場：逍遥展示空間
 出 演：Trio Librement (ピアノ・フルート・ヴァイオリン)
 参加人数：190名

◎「マンガのチカラ! ワークショップ」

10代がアートで自分を表現し、人と関わり、つながっていく楽しみを体験するイベントとして「マンガのチカラ!」と題し、ワークショップと座談会を行った。

日 程：5月3日 13:00～15:00
 5月4日 14:00～16:00

協 力：デリーター株式会社
 対 象：中学生以上のマンガを描いてみたい学生
 会 場：第3研修室
 料 金：300円
 参加人数：12名(5月3日)、13名(5月4日)

◎市民ミュージアム開館25周年記念フェスティバル「食とアートと音楽と」

開館25周年記念イベントとして、「食とアートと音楽」をテーマに、トークショーやピアノコンサート、ランチ・カフェ、食に関するアート作品展示など、“食”を消費活動ではなく、創作活動である“アート”と結びつけたイベントを行った。

日 程：11月9日～11月10日
 会 場：逍遥展示空間・映像ホール ほか
 料 金：無料

島田雅彦 トークショー
 日 程：11月9日
 会 場：映像ホール
 料 金：無料
 参加人数：49名

映画「タンポポ」上映
日 程：11月10日
会 場：映像ホール
料 金：無料
参加人数：51名

ライブドローイング

日 程：11月10日
会 場：エントランスホール
出 演：嶋村有里子、田部井月四
料 金：無料

ダンスパフォーマンス

日 程：11月10日
会 場：中庭
出 演：渡邊るみ（ストーリーテラー）

アートパフォーマンス

日 程：11月9日・11月10日
会 場：中庭
出 演：下田あゆみ、中銀河

小原孝ピアノコンサート fest. 長谷川初範

日 程：11月10日
会 場：逍遥展示空間
料 金：無料
参加人数：350名

屋外アート展示

日 程：11月9日～11月10日
会 場：中庭
出品作家：江頭尚子、小山篤、菊池加代子、佐々木
愛美、関直美、本多真理子、山本大介
パフォーマンス：下田あゆみ、中銀河

食品サンプル展示

日 程：11月6日～11月10日
会 場：エントランスホール
料 金：無料

食品サンプル制作ワークショップ

日 程：11月9日～11月10日
会 場：第3研修室
講 師：田中司好（有限会社つかさサンプル）
料 金：800円
参加人数：84名

一花義広プロデュース写真展示

日 程：11月6日～11月10日
会 場：エントランスホール
作 家：村越としや、サイキカツミ、大門美奈

4 広報活動

市民ミュージアムの活動を市民の方々に理解していただくため、また、市民ミュージアムで開催される催し物をより多くの人に認知していただき来館していただくための活動を行っている。

(1) 定期刊行物の作成と配布

下記の刊行物を市内の市民館、図書館、文化施設、情報プラザ、学校関係等および市外の類似施設、マスコミ関係等に配布した。

- 『ミュージアムニュース 87号・88号・89号・90号』
〔仕様〕
A4判 8ページ
〔発行〕
年4回 10,000部発行
- 『ミュージアムカレンダー・年間スケジュール』
〔仕様〕
524×297mm 5ツ折
〔発行〕
年6回 15,000部発行
- 『シネマテークニュース』
〔仕様〕
B5判 6ページ 3ツ折
〔発行〕
年10回 各16,000部発行

(2) マスコミへの情報提供

新聞・雑誌・テレビなどのマスコミで紹介されることによる広報効果は非常に大きく、各種媒体との継続的で良好な関係を維持することは重要である。市民ミュージアムでのさまざまな企画事業を紹介するため300～350社に対して継続的にプレスリリースを行っている。

(3) 企画展等の広報

各種企画事業のうち、企画展や企画上映など規模の大きな事業に関しては、3ヶ月程前から広報計画を立て、各担当

者と協力して広報活動を行っている。

ポスター、チラシの配布先も事業の内容に合わせて、その都度調整している。それぞれの事業に関しては、各種媒体に掲載された記事を整理し、報告書を作成し、以後の事業の展開および効果的な広報活動の実施に役立てている。

(4) ホームページの作成

ホームページをリニューアルし、サイト構成・ページデザインを見直すとともに、スマートフォンやモバイル端末にも対応させ利用者に情報発信を行った。

その他に、川崎市と連携した広報活動や、館内外の広報掲示板の管理を行う等、地域に根ざした広報を心がけている。

(5) SNS の開始

フェイスブック・ツイッターを利用して、市民ミュージアムの展覧会情報・イベント等を迅速に情報発信し、若年層にも広報範囲を拡大した。

5 友の会

友の会は、市民ミュージアムの事業に協力し、地域の文化・芸術の振興を図る団体で、企画部、総務部、広報部、5つの学習部会で構成されている。

25年度は、友の会と市民ミュージアムの協力関係をより充実すべく、友の会会長をはじめ友の会役員と市民ミュージアムの職員による連絡会を設置し、課題や今後のあり方について検討を重ねている。

現在、正会員 85 名、賛助会員 1 名（平成 26 年 3 月 31 日現在）

(1) 会議

◎総会

日 程：5 月 18 日（土）
場 所：ガイダンスルーム
議 案：平成 24 年度活動報告と収支決算報告並びに
会計監査報告、平成 25 年度活動計画など

◎役員会

例 会：毎月第 4 土曜日
場 所：活動普及室
出 席 者：会長・副会長・会計・会計監査・総務部・企画部・広報部・学習部会の続日本記講読・古文書講読・写真・映像・版画の代表者

(2) 活動報告

◎企画部

友の会主催の企画展解説、ビデオ鑑賞会の企画・開催をはじめ、他館見学や歩いて学ぶ会の見学先との調整などを担っている。

◎広報部

会報「友の会」を年 2 回、および月刊「友の会だより」の発行している。

◎総務部

友の会会員の募集、発送を含む P R 業務、会員の更新案内、会員証の発行などの庶務事項一般を担当している。

(3) 学習部会

◎歴史部会「続日本紀」を読む会

平成 25 年 3 月の例会を以て、休会。

◎歴史部会「古文書」を読む会

例 会 日：毎月第 4 水曜日

会 場：研修室

会 員：9 名

内 容：江戸時代の多様な郷土に関する古文書購読
他館や史跡探索（見学会）

◎写真部会

例 会 日：毎月第 3 日曜日

会 場：活動普及室

会 員：6 名

内 容：会員が撮影した作品の鑑賞、情報交換、写真
展見学、撮影会の開催

◎映像部会

例 会 日：毎月第 3 木曜日

会 場：ミニホール

会 員：10 名

内 容：「映像で学ぶ昭和史」を主題とした、ビデオ
観賞会の企画・開催と意見交換

◎版画部会

例 会 日：毎月第 1・3 土曜日、第 2・4 金曜日

会 場：アトリエ

会 員：10 名

内 容：シルクスクリーン版画と銅版画の製作、外部
の教育機関、福祉施設での版画指導

資料

川崎市市民ミュージアム条例

昭和 62 年 12 月 22 日
条例第 45 号

(目的及び設置)

第 1 条 考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する資料及び作品について収集、展示、調査研究等を行うこと等により、市民の観覧、学習、研究等に資するとともに市民相互の交流を推進し、もって市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、川崎市市民ミュージアム(以下「市民ミュージアム」という。)を設置する。

(位置)

第 2 条 市民ミュージアムの位置は、川崎市中原区等々力 1 番 2 号とする。

(事業)

- 第 3 条 市民ミュージアムは、おおむね次の事業を行う。
- (1) 考古、歴史、民俗、絵画、工芸、漫画、写真、ポスター、映像等に係る実物、複製、模型等の資料及び作品(以下「資料等」という。)の収集、保管、展示等を行うこと。
 - (2) 資料等に関する講座、講演会、映写会、研究会等を開催すること。
 - (3) 資料等に関する説明及び助言を行うこと。
 - (4) 市民の文化活動の助長、奨励及び指導を行うこと。
 - (5) 資料等に関する専門的及び技術的な調査研究並びに解説書、目録、年報、調査研究報告書等の作成及び頒布を行うこと。
 - (6) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、刊行物及び情報の交換、資料等の相互貸借等を行うこと。
 - (7) 施設及び設備(以下「施設等」という。)を利用に供すること。

(職員)

第 4 条 市民ミュージアムに館長その他必要な職員を置く。

(利用時間及び休館日)

第 5 条 市民ミュージアムの利用時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、市長は、必要と認めるときは、利用時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

| | |
|------|---|
| 利用時間 | 午前 9 時 30 分から午後 5 時まで |
| 休館日 | (1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日(以下「休日」という。)を除く。) (2) 休日の翌日(土曜日、日曜日及び休日を除く。) (3) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日(前 2 号に掲げる日を除く。) |

(観覧料)

第 6 条 市民ミュージアムが行う企画展(以下「企画展」という。)の展示会場へ入場しようとする者は、別表第 1

に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別利用)

- 第 7 条 資料等について熟覧、模写、模造、拓本、撮影及び原板使用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。
- 2 前項の許可を受けた者は、別表第 2 に定める区分に応じ同表に定める特別利用料を納付しなければならない。
 - 3 前項の特別利用料は、許可と同時に納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
 - 4 市長は、第 1 項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他市長が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。

(施設等の利用許可)

第 8 条 別表第 3 に掲げる市民ミュージアムの施設等を利用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

(施設等の使用料)

- 第 9 条 前条の許可を受けた者(以下「施設等利用者」という。)は、別表第 3 に定める使用料を納付しなければならない。
- 2 前項の使用料は、前納とする。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(施設等の利用許可の制限)

第 10 条 市長は、管理上支障があるとき、その他施設等の利用を不相当であると認めるときは、第 8 条の許可をしない。

(施設等の利用許可の取消し等)

- 第 11 条 市長は、施設等利用者が次の各号のいずれかに該当すると認める場合は、第 8 条の許可を取り消し、又は施設等の利用を制限し、若しくは停止することができる。
- (1) 利用の目的に反したとき。
 - (2) 秩序を乱し、他人の迷惑となる行為をしたとき。
 - (3) 偽りその他不正な行為により許可を受けたとき。
 - (4) 災害その他の事故により利用できなくなったとき。
 - (5) 工事その他市の事業の執行上やむを得ない理由により利用できなくなったとき。
 - (6) 前各号に定めるもののほか、この条例又はこれに基づく規則に違反したとき。

(施設等の変更禁止)

第 12 条 施設等利用者は、施設等を利用する場合において、これを模様替えし、又はこれに特別の設備を付設してはならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(施設等の利用権の譲渡等の禁止)

第 13 条 施設等利用者は、施設等を利用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

(原状回復)

第 14 条 施設等利用者は、施設等の利用を終了し、又は第 8 条の許可を取り消され、若しくは施設等の利用を制限さ

れ、若しくは停止されたときは、直ちにその施設等を原状に回復し、又は返還しなければならない。

(取消し等による損害の責任)

第 15 条 市は、第 11 条第 5 号に該当する場合を除き、第 8 条の許可の取消し又は施設等の利用の制限若しくは停止によって、施設等利用者に生じた損害については、その責めを負わない。

(受講料及び入場料)

第 16 条 市長は、第 3 条第 2 号に規定する事業を行うに当たっては、受講料及び入場料を徴収することができる。

2 前項の受講料及び入場料の額は、市長がその都度定める。

(観覧料等の減免)

第 17 条 市長は、特に必要があると認めるときは、第 6 条に規定する観覧料、第 7 条第 2 項に規定する特別利用料及び第 9 条第 1 項に規定する使用料(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の還付)

第 18 条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館等の制限)

第 19 条 市長は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

(損害の賠償)

第 20 条 資料等又は施設等を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(協議会)

第 21 条 市民ミュージアムの円滑な運営を図るため、市民ミュージアムに川崎市市民ミュージアム協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、市民ミュージアムの運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるものとする。

3 協議会は、委員 10 人以内をもって組織する。

4 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、学識経験を有する者並びに市民のうちから、市長が委嘱し、又は任命する。

5 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 委員は、再任されることができる。

7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(委任)

第 22 条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。(昭和 63 年 10 月 7 日規則第 85 号で昭和 63 年 11 月 1 日から施行)

附 則(平成 6 年 10 月 7 日条例第 30 号)

この条例は、平成 6 年 10 月 17 日から施行する。

附 則(平成 12 年 12 月 21 日条例第 78 号)

この条例は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 17 年 9 月 30 日条例第 87 号)

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 18 年 6 月 28 日条例第 53 号)

この条例は、平成 18 年 10 月 1 日から施行する。ただし、第 5 条及び別表第 1 の改正規定並びに別表第 2 の次に 1 表を加える改正規定(展示室及び道遥展示空間に係る部分に限る。)は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 21 年 12 月 24 日条例第 47 号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

(川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置)

12 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

(1) 川崎市スポーツ振興審議会条例

(2) 川崎市とどろきアリーナ条例

(3) 川崎市体育館条例

(4) 川崎市スポーツセンター条例

(5) 川崎市武道館条例

(6) 川崎市市民ミュージアム条例

(7) 川崎市岡本太郎美術館条例

(8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

別表第 1(第 6 条関係)

1 普通観覧料

企画展の観覧料は、1 人につき 2,000 円の範囲内で市長が企画展ごとに定める。

2 共通利用券

| 種 別 | 金 額 |
|----------------|---------|
| 100 円券 12 枚つづり | 1,000 円 |
| 100 円券 25 枚つづり | 2,000 円 |

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体(20 人以上をいう。)の入場等については、この限りでない。

(1) 市民ミュージアムにおいて市民ミュージアムが行う企画展の展示会場への入場

(2) 川崎市岡本太郎美術館条例(平成 11 年川崎市条例第 25 号)に規定する川崎市岡本太郎美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場

(3) 川崎市青少年科学館条例(昭和 46 年川崎市条例第 24 号)に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウム的一般投影又は特別投影の観覧

(4) 川崎市立日本民家園条例(昭和 42 年川崎市条例第 19 号)に規定する川崎市立日本民家園への入園

3 特別入場券

市長は、7,000 円の範囲内で定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第 2 (第 7 条関係)

| 区 分 | 単 位 | 特別利用料 |
|------|---------|---------|
| 熟 覧 | 1 点 1 日 | 200 円 |
| 模 写 | | 1,000 円 |
| 模 造 | | 1,000 円 |
| 拓 本 | | 1,000 円 |
| 撮 影 | 1 点 | 300 円 |
| 原板使用 | 1 枚 | 2,000 円 |

別表第 3 (第 8 条、第 9 条関係)

1 施設使用料

| 種 別 | 金 額 | | | |
|--------|--------------------------------|---------------------------|---------------------------|----------|
| | 午 前 9 時 30 分 から 午後 0 時 30 分 まで | 午 後 1 時 30 分 から 午後 5 時 まで | 午 前 9 時 30 分 から 午後 5 時 まで | |
| ホー ル | 映像ホール | 7,800 円 | 9,100 円 | 16,900 円 |
| | ミニホール | 3,000 円 | 3,500 円 | 6,500 円 |
| 研 修 室 | 研修室 1 | 1,200 円 | 1,400 円 | 2,600 円 |
| | 研修室 2 | 1,200 円 | 1,400 円 | 2,600 円 |
| | 研修室 3 | 1,200 円 | 1,400 円 | 2,600 円 |
| 展 示 室 | 企画展示室 1 | | | 46,500 円 |
| | 企画展示室 2 | | | 45,000 円 |
| | アートギャラリー | | | 75,000 円 |
| | 多目的ギャラリー 1 | | | 9,000 円 |
| | 多目的ギャラリー 2 | | | 7,500 円 |
| 道遥展示空間 | 30 分につき | | | 2,300 円 |

備考

- 1 土曜日、日曜日及び休日に利用する場合の施設使用料の額は、規定使用料の 2 割増相当額とする。
- 2 ホール、展示室又は道遥展示空間の利用について入場料を徴収する場合の施設使用料の額は、次の表の入場料金の区分に従い、規定使用料（前項の規定を適用する場合は、同項の規定により算出して得た額）に増額の割合を乗じて得た額とする。

| 入場料金 | 増額の割合 |
|---------------------|-------|
| 1,000 円未満 | 15 割 |
| 1,000 円以上 3,000 円未満 | 20 割 |
| 3,000 円以上 | 30 割 |

- 3 第 5 条ただし書の規定により同条の表に定める利用時間の変更がされた場合で当該変更に係る時間（午後 5 時から午前 9 時 30 分までの時間に限る。）に利用するときの施設使用料の額は、当該利用の許可に係る時間 30 分につき、ホール又は研修室を利用する場合にあっては利用日の午後 1 時 30 分から午後 5 時までの利用時間の区分（以下「午後の区分」という。）の規定使用料（前 2 項の規定を適用する場合は、これらの規定により算出して得た額。以下この項において

同じ。）の 30 分当たりの額の 2 割増相当額（10 円未満の端数は、切り捨てる。）展示室を利用する場合にあっては利用日の午前 9 時 30 分から午後 5 時までの利用時間の区分の規定使用料の 30 分当たりの額の 2 割増相当額（10 円未満の端数は、切り捨てる。）道遥展示空間を利用する場合にあっては規定使用料の 2 割増相当額（10 円未満の端数は、切り捨てる。）とする。

- 4 午後 0 時 30 分から午後 1 時 30 分までの時間（以下「中間時間」という。）においてホール又は研修室を利用する場合（午前 9 時 30 分から午後 0 時 30 分までの利用時間の区分（以下「午前の区分」という。）又は午後の区分を利用する場合に限る。）の施設使用料の額は、当該利用の許可に係る時間 30 分につき、午前の区分の規定使用料（第 1 項又は第 2 項の規定を適用する場合は、これらの規定により算出して得た額）の 30 分当たりの額とする。ただし、午前の区分と午後の区分の当該 2 区分を引き続き利用する場合の中間時間の施設使用料は、無料とする。

- 2 設備使用料については、市長が別に定める。

川崎市市民ミュージアム条例施行規則

平成 22 年 3 月 31 日

規則第 36 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、川崎市市民ミュージアム条例(昭和 62 年川崎市条例第 45 号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(事務の委任)

第 2 条 次に掲げる事務は、川崎市市民ミュージアム館長(以下「館長」という。)に委任する。

- (1) 条例第 7 条に規定する特別利用(以下「特別利用」という。)の許可、許可の取消し等に関する事。
- (2) 条例第 8 条の規定による施設等(条例第 3 条第 7 号に規定する施設等をいう。以下同じ。)の利用の許可(以下「利用許可」という。)に関する事。
- (3) 条例第 10 条の規定による施設等の利用許可の制限に関する事。
- (4) 条例第 11 条の規定による施設等の利用許可の取消し等に関する事。
- (5) 条例第 17 条に規定する観覧料等(以下「観覧料等」という。)の減額又は免除に関する事。
- (6) 条例第 18 条の規定による観覧料等の還付に関する事。
- (7) 条例第 19 条の規定による入館等の制限に関する事。

(観覧券等の交付)

第 3 条 館長は、条例第 6 条の規定による観覧料の納付と引換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。

(特別入場券)

第 4 条 市長は、条例別表第 1 の 3 の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
 - (2) 共通入館券
 - (3) 優待券
 - (4) 前売券
- 2 前項の特別入場券を発行する場合及びその額は、その都度市長が定める。

(特別利用の申請等)

第 5 条 条例第 7 条第 1 項の規定により特別利用をしようとする者は、特別利用許可申請書(第 1 号様式)をあらかじめ館長に提出しなければならない。

- 2 館長は、特別利用を許可したときは、当該申請をした者に特別利用許可書(第 2 号様式)を交付するものとする。
- 3 館長は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を付することができる。

- (1) 条例第 3 条第 1 号に規定する資料等(以下「資料等」という。)の模写、模造、拓本、撮影若しくは原板使用によって得たもの(以下「模写資料等」という。)を展示し、又は出版物等に掲載するときは、川崎市市民ミュージアム(以下「市民ミュージアム」とい

う。)の所蔵に係るものであることを適切な方法で表示すること。

- (2) 無断で模写資料等の再複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。
- (3) 資料等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。
- (4) その他館長が必要と認める事項

(特別利用の不許可)

第 6 条 館長は、次に掲げる資料等については、特別利用を許可しない。

- (1) 特別利用によって資料等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの
 - (2) 寄託された資料等で寄託者の同意を得ていないもの
 - (3) 著作権が存する資料等で著作権者等の同意を得ていないもの
 - (4) その他館長が特別利用することを不適当と認めるもの
- 2 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。

(施設等の利用許可の申請)

第 7 条 条例第 8 条の規定により施設等の利用許可を受けようとする者は、施設等利用許可申請書(第 3 号様式)を館長に提出しなければならない。

(施設等の利用許可の申請期間)

第 8 条 施設等の利用許可の申請期間は、次に定めるところによる。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

- (1) 企画展示室又はアートギャラリーを利用する場合にあっては、利用日又は利用開始日(連続して利用しようとする場合の最初の日をいう。以下同じ。)の属する年度の前年度の 4 月 1 日から利用日の 1 月前まで申請することができる。
- (2) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間を利用する場合にあっては、利用日又は利用開始日の属する月の 6 月前の月の初日から利用日の 14 日前まで申請することができる。
- (3) 研修室を利用する場合にあっては、利用日の属する月の 6 月前の月の初日から利用日の 3 日前まで申請することができる。
- (4) 前 2 号の規定にかかわらず、企画展示室又はアートギャラリーの利用と併せて映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室を利用する場合にあっては、第 1 号の規定を準用する。
- (5) 第 3 号の規定にかかわらず、映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用と併せて研修室を利用する場合にあっては、第 2 号の規定を準用する。

(施設等利用許可書の交付)

第 9 条 館長は、施設等の利用許可をしたときは、当該申請をした者に施設等利用許可書(第 4 号様式)を交付するものとする。

(施設等使用料の納付)

第 10 条 条例別表第 3 の 1 に規定する施設使用料及び同表の 2 に規定する設備使用料(以下「施設等使用料」という。)

は、館長が指定する日までに納付しなければならない。

- 2 前項の施設等使用料の納付方法は、川崎市金銭会計規則（昭和39年川崎市規則第31号）の定めるところによる。

（設備使用料）

第11条 条例別表第3の2の規定に基づき、市長が定める設備使用料は、別表のとおりとする。

（特別の設備の付設等）

第12条 条例第12条ただし書の規定により施設等を模様替えし、又は特別の設備を付設しようとする者は、特別設備等許可申請書（第5号様式）を市長に提出し、その許可を受けなければならない。

- 2 前項の申請書は、施設等利用許可申請書と同時に提出しなければならない。
- 3 施設等の利用許可を受けた者（以下「施設等利用者」という。）が、第1項の許可を受けて施設等を模様替えし、又は特別の設備を付設したときは、利用後直ちに自己の負担においてこれを原状に回復し、又は撤去しなければならない。

（施設等利用中止の届出）

第13条 施設等利用者が、その利用を中止しようとするときは、施設等利用中止届出書（第6号様式）を館長に提出しなければならない。

（利用期間等の制限）

第14条 館長は、施設等の利用の公平を図るため必要があると認めるときは、同一利用者が1月以内に施設等を利用する期間又は回数を制限することができる。

（観覧料等の減免）

第15条 条例第17条の規定により館長が観覧料等を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

（1）観覧料

- ア 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額
- イ 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合 全額
- ウ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条第1項又は第2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成6年法律第117号）第2条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定による精神障害者保健福祉手帳等（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けている者（これらの者の介護者を含む。）が

観覧を行う場合 全額

- エ その他館長が特に必要があると認める場合 その都度館長が定める額

（2）特別利用料

- ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額
- イ 私立の博物館、美術館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額
- ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合 全額
- エ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

（3）施設等使用料

- ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業のために利用する場合 5割相当額
 - イ 市が構成員となっている協議会、研究会等が主催する行事等のために利用する場合 5割相当額
 - ウ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額
- 2 前項第1号の規定による観覧料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては観覧料減免申請書（第7号様式）を、前項第2号の規定による特別利用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては特別利用料減免申請書（第8号様式）を、前項第3号の規定による施設等使用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては施設等使用料減免申請書（第9号様式）を、あらかじめ館長に提出しなければならない。ただし、前項第1号ウの場合にあっては、身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請書の提出に代えることができる。

（観覧料等の還付）

第16条 条例第18条ただし書の規定により観覧料等を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- （1）災害その他の事故により観覧又は特別利用ができない場合 観覧料又は特別利用料の全額
- （2）管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の許可を取り消した場合 観覧料又は特別利用料の全額
- （3）条例第11条第4号又は第5号の規定により、館長が利用許可を取り消した場合 施設等使用料の全額
- （4）企画展示室又はアートギャラリーの利用者が利用日の6月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- （5）企画展示室又はアートギャラリーの利用者が利用日の3月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額
- （6）企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用しない場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は道遥展示空間の利用者が利用日の1月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- （7）企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用しない場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は道遥展示空間の利用者が利用日の14日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額
- （8）企画展示室、アートギャラリー、映像ホール、ミニホール、

多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用しない場合の研修室の利用者が利用日の3日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額

(9) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用する場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室の利用者が利用日の6月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額

(10) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用する場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室の利用者が利用日の3月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額

(11) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用する場合の研修室の利用者が利用日の1月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額

(12) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用する場合の研修室の利用者が利用日の14日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額

(13) 前各号に定めるもののほか、館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

(遵守事項)

第17条 市民ミュージアムを利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 建物、附属設備又は資料等を汚損若しくは損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。
- (2) 他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (3) 展示会場において許可を受けずに、撮影、模写等を行わないこと。
- (4) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。
- (5) 施設等利用者は、定員を超えて入場させないこと。
- (6) 利用許可された以外の施設等を利用しないこと。
- (7) 所定の場所以外で火気を使用しないこと。
- (8) 危険物又は不潔物を持ち込まないこと。
- (9) 許可を受けずに物品の販売又は飲食の提供をしないこと。
- (10) 前各号に定めるもののほか、館長が指定する事項

(整理員の配置)

第18条 施設等利用者は、市民ミュージアムの利用に際し、市民ミュージアム内外の秩序維持のため必要な整理員を置かなければならない。ただし、館長が必要がないと認める場合は、この限りでない。

(管理上の入室)

第19条 施設等利用者は、管理のために立ち入る係員の入室を拒むことができない。

(損傷等の届出)

第20条 施設等利用者は、施設等を損傷し、又は滅失したときは、文書により速やかに館長に届け出なければならない。

(利用後の点検)

第21条 施設等利用者は、施設等の利用を終了したときは、係員に報告し、その点検を受けなければならない。

(協議会の会長及び副会長)

第22条 条例第21条の規定に基づく川崎市市民ミュージアム協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選とする。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第23条 協議会の会議は、会長が必要に応じて招集する。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

4 協議会は、会長が必要であると認めるときは、関係者又は専門的事項について学識経験を有する者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(委員の委嘱又は任命)

第24条 条例第21条第4項の委員は、次に掲げる者のうちから委嘱し、又は任命する。

(1) 本市の区域内に設置された学校の教育職員

(2) 本市の区域内の社会教育関係団体等から推薦された者

(3) 本市の区域内に住所を有する考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する知識及び経験を有する市民

(4) 学識経験者

2 前項第3号の市民のうちから委嘱される委員は、公募によるものとする。

(協議会の庶務)

第25条 協議会の庶務は、市民ミュージアムにおいて処理する。

(委任)

第26条 この規則の施行について必要な事項は、市民・こども局長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 川崎市市民ミュージアム協議会規則(平成18年川崎市教育委員会規則第9号)の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

別表(第11条関係)

1 映像ホール設備使用料

| 品名 | 金額 | 単位 | 備考 |
|-------------|--------|----|-----------------------------------|
| 音響・調光設備 | 7,000円 | 1回 | 1式 操作室内 ワイヤレスマイ クロホンを除く。 |
| ワイヤレスマイクロホン | 1,000円 | 1回 | 1本 |
| アップライトピアノ | 2,000円 | 1回 | 1台 |
| 16mm映写機 | 1,000円 | 1回 | 1台 固定式、映写室内 |
| 映画用スクリーン | 500円 | 1回 | 1張 |

2 逍遥展示空間設備使用料

| 品名 | 金額 | 単位 | | 備考 |
|------------------|----------|-----|-----|----------------------|
| 音響設備 | 3,000 円 | 1 回 | 1 式 | ワイヤレスマイク クロホンを除く。 |
| ワイヤレスマイク クロホン | 1,000 円 | 1 回 | 1 本 | |
| 照明設備 | 5,000 円 | 1 回 | 1 式 | ピンスポットラ イトを除く。 |
| ピンスポットラ イト | 1,000 円 | 1 回 | 1 台 | |
| ピアノ | 10,000 円 | 1 回 | 1 台 | ベーゼンドル ファー（調律別） |
| 金屏風 | 1,000 円 | 1 回 | 1 双 | |
| 山台 | 200 円 | 1 回 | 1 台 | |
| 幕類 | 1,000 円 | 1 回 | 1 張 | |

3 共通設備使用料

| 品名 | 金額 | 単位 | | 備考 |
|--------------------|-------|-----|------------|-----|
| レクチャーテー ブル | 500 円 | 1 回 | 1 台 | |
| オーバーヘッド プロジェクター | 500 円 | 1 回 | 1 台 | |
| 16mm 映写機 | 500 円 | 1 回 | 1 台 | 移動式 |
| 液晶プロジェク ター | 500 円 | 1 回 | 1 台 | |
| 持込器具 | 100 円 | 1 回 | 1キロ ワット | |

備考

- 1 本表においては、映像ホール、ミニホール又は研修室の利用にあつては午前 9 時 30 分から午後 0 時 30 分までの利用時間の区分（以下「午前の区分」という。）午後 1 時 30 分から午後 5 時までの利用時間の区分（以下「午後の区分」という。）をそれぞれ 1 回として、企画展示室、アートギャラリー、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用にあつては 4 時間までごとに 1 回として扱う。
- 2 映像ホール、ミニホール又は研修室を午後 5 時から午前 9 時 30 分までの時間に利用する場合の設備使用料の額は、4 時間までごとに 1 回として扱う。
- 3 映像ホール、ミニホール又は研修室を午後 0 時 30 分から午後 1 時 30 分までの時間（以下「中間時間」という。）において利用する場合の設備使用料の額は、30 分につき、午前の区分を単位として利用した場合の規定使用料の 30 分当たりの額（10 円未満の端数は、切り捨てる。）とする。ただし、午前の区分と午後の区分の当該 2 区分を引き続き利用する場合の中間時間の設備使用料は、無料とする。

企画展一覧 (開館～平成 24 年度)

昭和 63 年度

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. モンバルナスの大冒険 | 1988.11.1 ~ 12.1 |
| 2. 子ども風土記 | 12.17 ~ 1989.1.16 |
| 3. グラフィック・パワー展 | 1.21 ~ 2.12 |
| 4. 岡本かの子の世界展 | 2.18 ~ 3.19 |
| 5. 写真家・濱谷浩展 | 3.25 ~ 4.23 |

平成元年度

- | | |
|-----------------------------------|-----------------|
| 6. リュブリアナ国際ビエンナーレ日本展 | 4.2 ~ 6.11 |
| 7. 笑いの世界・世界の漫画展 | 7.8 ~ 8.13 |
| 8. 閻魔登場 | 8.22 ~ 9.24 |
| 9. TREND '89 現代写真の動向展 | 9.30 ~ 10.22 |
| 10. アガム展 | 10.28 ~ 12.17 |
| 11. 写真展 記憶の記念日(よみうり写真大賞 10年の歩みから) | 1990.1.4 ~ 2.12 |
| 12. 藤ノ木古墳とその時代展 | 2.27 ~ 4.5 |

平成 2 年度

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 13. 女性のまなざし - 日本とドイツの女性写真家たち - | 4.10 ~ 4.22 |
| 14. 昭和のマンガ展 | 4.28 ~ 6.10 |
| 15. 円錐勝三 彫刻展 | 6.20 ~ 7.22 |
| 16. ミュージアムコレクション展 | 8.4 ~ 9.16 |
| 17. 木簡 - 古代からのメッセージ - | 10.9 ~ 11.12 |
| 18. - 佐藤惣之助生誕百年記念 - 多彩な惣之助展 | 11.21 ~ 12.24 |
| 19. 近代芸術の諸相 PART | 1991.1.19 ~ 2.24 |
| 20. 近代芸術の諸相 PART | 3.1 ~ 4.14 |

平成 3 年度

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 21. 岡本太郎展 | 4.27 ~ 6.23 |
| 22. 縄文文化の交流展 | 7.13 ~ 8.25 |
| 23. 道祖神の源流 | 9.7 ~ 10.20 |
| 24. 色相の詩学展 - 現代絵画・平面からのメッセージ - | 11.2 ~ 12.15 |
| 25. '92 ミュージアムコレクション展 | 1992.1.4 ~ 2.23 |
| 26. アン・リベルテ - 現代フランスの写真展 - | 3.6 ~ 3.29 |

平成 4 年度

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 27. 棟方志功展 | 4.18 ~ 6.14 |
| 28. ネイチャーワールド 動物写真家・岩合光昭の世界展 | 7.4 ~ 8.16 |
| 29. 版画にみるポップアートとその周辺 | 8.22 ~ 9.27 |
| 30. 写真展 ルイス・ボルツ法則 | 10.10 ~ 11.23 |
| 31. オキナワ展 | 1993.1.10 ~ 2.14 |
| 32. 原田泰治アメリカを行く | 3.2 ~ 3.28 |

平成 5 年度

- | | |
|---------------------|-------------|
| 33. TARO 萬華鏡 | 4.24 ~ 7.4 |
| 34. 妖怪展 - 現代に蘇る百鬼夜行 | 7.24 ~ 8.29 |

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 35. ルーアン美術館展 フランス絵画 - 黄金の 19 世紀 | 10.16 ~ 11.14 |
| 36. 鳥山明の世界 | 12.4 ~ 1994.1.30 |
| 37. バウハウス - 芸術教育の革命と実験 - | 2.12 ~ 3.27 |

平成 6 年度

- | | |
|----------------------|------------------|
| 38. 東海道 - 東と西の交歓 - | 4.16 ~ 5.29 |
| 39. 岩下哲士 美の世界 | 6.25 ~ 8.5 |
| 40. 「川崎の文化財」展 | 8.27 ~ 10.10 |
| 41. 生誕 100 年記念 濱田庄司展 | 10.29 ~ 12.11 |
| 42. 「弥生の食」展 | 1995.1.21 ~ 3.12 |

平成 7 年度

- | | |
|----------------------------------|-------------------|
| 43. 安野光雄の世界展 | 4.22 ~ 6.11 |
| 44. 映画生誕 100 年記念展 - シネマの世紀 - | 7.22 ~ 9.17 |
| 45. 海と人生 - 川崎で海苔が採れた頃 - | 10.3 ~ 11.12 |
| 46. 現代写真の動向 1995 ANOTHER REALITY | 11.21 ~ 1996.1.28 |
| 47. 愛する人々への熱いメッセージ シャガールの傑作版画展 | 2.10 ~ 4.7 |

平成 8 年度

- | | |
|---------------------------------------|-------------------|
| 48. アジアの民族造形 - 衣・食・住・祈り・学び・芸能・遊び - | 4.27 ~ 6.16 |
| 49. 日本の漫画 300 年 - 日本最大の漫画コレクション一挙公開 - | 7.20 ~ 9.8 |
| 50. 弘法大師信仰展 | 10.5 ~ 11.10 |
| 51. ドイツ現代写真展 遠・近ベッヒャーの地平 | 11.24 ~ 1997.1.26 |
| 52. マリー・ローランサン展 | 3.18 ~ 4.15 |

平成 9 年度

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 53. 没後 20 年 中村正義展 | 4.26 ~ 6.1 |
| 54. 怪獣ミュージアム 開田裕治の世界〔KAIJU ~ ガンダム〕 | 7.19 ~ 8.31 |
| 55. - 現代マンガのパイオニア - 没後 50 年岡本一平展 | 9.20 ~ 11.3 |
| 56. バウハウスの写真 | 11.20 ~ 1998.2.1 |
| 57. 世紀末芸術の華 オープリー・ピアズリー展 | 2.21 ~ 4.5 |

平成 10 年度

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 58. - 写生・下絵を中心とした - 安田靉彦展 | 4.11 ~ 5.24 |
| 59. 少女まんがの世界展 - 女性作家 8 人のまなざしと表現 - | 8.15 ~ 9.27 |
| 60. ミュージアムコレクション展 メディアと大衆 | 10.3 ~ 11.15 |
| 61. ミュージアムコレクション展 博物館の眼 | 11.21 ~ 12.20 |
| 62. 大ザビエル展 - その生涯と南蛮文化の遺宝 - | 1999.1.15 ~ 3.14 |

平成 11 年度

63. ミュージアムコレクション展 芸術都市へ・かわさき 4.24 ~ 6.6
64. 木村伊兵衛写真賞の軌跡 6.20 ~ 8.1
65. ホイッスラーからウォーホルまで - 版画に見るアメリカ美術の 100 年 - 8.14 ~ 9.19
66. アンセル・アダムスの世界 10.26 ~ 12.12
67. 大江戸マルチ人物伝 - 池上太郎左衛門幸豊 - 2000.2.26 ~ 4.9

平成 12 年度

68. グラフィック・デザインのモダニズム展 - 20 世紀・機械時代のグラフィック革命 - 4.22 ~ 6.11
69. アニメ黄金時代 7.15 ~ 8.31
70. 縄文の華 9.9 ~ 10.22
71. 陰翳礼賛 フランスの現代写真 - ジャン＝クロード・ルマニーの視点 - 11.3 ~ 12.17
72. - 都市と社会の 100 年・私たちの暮らし - 新世紀元年 1901 / 2001 2001.1.27 ~ 3.25

平成 13 年度

73. 呪いと占い 4.28 ~ 6.10
74. 偶然の振れ幅 amplitude of chance - 「出来事の成り立ち」を記述する美術 - 7.20 ~ 8.26
75. 東海道宿駅制度 400 年記念 東海道 - 日本橋、そして川崎宿へ - 9.15 ~ 10.21
76. outer inter 現代写真の動向 11.3 ~ 12.24
77. 明治の版画 - 岡コレクションを中心に - 2002.2.9 ~ 3.31

平成 14 年度

78. 森村泰昌写真展 「女優家Mの物語」 ~ M式ジオラマ (25m) 付き ~ 4.27 ~ 7.7
79. 明治の面影・フランス人画家ピゴーの世界展 9.7 ~ 10.27
80. 夢幻巡礼 映画美術監督・木村威夫の世界展 11.23 ~ 2003.1.19
81. ポスターのユートピア ロシア構成主義のグラフィックデザイン 2.15 ~ 4.6

平成 15 年度

82. 古代を考える - 郡の役所と寺院 - 4.19 ~ 6.15
83. フランスコミック・アート展 7.5 ~ 8.31
84. 光の狩人 森山大道 1965 - 2003 9.13 ~ 11.3

平成 16 年度

85. 街角に咲いた芸術 ~ 世紀末フランスの華麗なポスター ~ 4.3 ~ 5.30
86. 日本の幻獣 - 未確認生物出現録 - 7.3 ~ 9.5
87. 21 世紀の本居宣長 - 学問・交流・情報 - 9.18 ~ 11.7
88. CLAMP 四 MANGA アートは時空を超える 2005.1.22 ~ 4.10

平成 17 年度

89. 時代を切り開くまなざし - 木村伊兵衛写真賞の 30 年 - 1975 - 2005 4.23 ~ 6.19
90. ロシア民族学博物館アイヌ資料展 - ロシアが見た島国の人びと - 7.2 ~ 8.28
91. アメリカ展帰国記念 川崎・砂子の里資料館所蔵 浮世絵名品展 9.17 ~ 10.16
92. 大 OH! 水木しげる展 11.19 ~ 2006.1.9
93. メイド・イン・カワサキ展
第 1 部「川崎モノづくり物語」 1.21 ~ 2.26
第 2 部「都市・川崎を創造する - メイド・イン・カワサキ現代美術賞展 - 」 3.11 ~ 4.2

平成 18 年度

94. 「弥生・古墳・飛鳥を考える - 古墳の出現とその展開 - 」 4.29 ~ 6.25
95. 名取洋之助と日本工房 1931 - 1945 7.8 ~ 9.3
96. レイモン・サヴィニャック展 9.16 ~ 11.5
97. 「横山光輝の世界展」 11.18 ~ 2007.1.8
98. みんなのドラえもん展 - 魅力のひみつ - 1.20 ~ 2.25

平成 19 年度

99. 昭和ブギウギ 1945 - 64 4.21 ~ 6.3
100. 安彦良和原画展「勇者ライディーン」から「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」へ 6.16 ~ 8.19
101. こどもの毎日 - みんなこうして大きくなった - 7.14 ~ 8.19
102. 産業都市・カワサキのあゆみ 100 年 9.1 ~ 10.14
103. 「つわもの」どもの光と影 - 稲毛三郎とその時代 - 10.27 ~ 12.9
104. みんなのデザイン - グッドデザインと私たちの生活 - 10.24 ~ 12.16
105. 斎藤寿一展 青・風・宙の版画 12.23 ~ 2008.1.27
106. 川崎が生んだ世界の人形作家 与勇輝 - 神様のすみか展 2008.1.12 ~ 2.3
107. 昔の暮らし・今の暮らし 2.9 ~ 3.30
108. 少女マンガパワー! - つよく・やさしく・うつくしく - 2.16 ~ 3.30

平成 20 年度

109. オキナワ / カワサキ - 二つの地をつなぐ人と文化 - 4.26 ~ 6.8
110. ブルーノ・ムナーリのアートとあそぼう! ~みてさわってたのしんで~ 7.12 ~ 8.31
111. 暮らしと着物展 7.19 ~ 8.31
112. 開館 20 周年記念「人間国宝 濱田庄司」展 10.4 ~ 11.30
113. 開館 20 周年記念「ともに生きる - 欲望・矛盾・創造 - 都市・自然・人・食・メディア」展 10.23 ~ 12.7
114. 広重「名所江戸百景」の世界 - 江戸の人たちの名所感覚 - 展 12.13 ~ 2009.1.12
115. 複々製に進路をとれ 粟津潔 60 年の軌跡 1.24 ~ 3.29
116. 昔の暮らし・今の暮らし 2009 1.27 ~ 4.5

| | | | |
|---|-------------------|--------------------------|------------------|
| 117. 川崎ぐるっと博物館 | 2008.5.15 ~ 12.7 | 150. 2012 川崎フロンターレ展“一体感” | 12.8 ~ 2013.1.14 |
| | | 151. 昔のくらし今のくらし 2013 | 1.26 ~ 4.1 |
| 平成 21 年度 | | 152. 第 46 回かわさき市美術展 | 2.9 ~ 2.23 |
| 118. 横浜開港 150 周年 幕末明治期の川崎とニッポン | 4.18 ~ 6.7 | 153. 与勇輝展 - 物語のなかに - | 3.2 ~ 3.24 |
| 119. 星野富弘展 - 一枝の花とはいえ - | 6.6 ~ 6.28 | | |
| 120. ハービー山口写真展 ポートレイツ・オブホープ ~ この一瞬を永遠に ~ | 6.20 ~ 8.16 | | |
| 121. サンデー・マガジンの DNA 展 | 7.18 ~ 9.13 | | |
| 122. 川崎・縄文・1 万年 - 大地に刻まれた生活と温暖化 - | 8.29 ~ 10.12 | | |
| 123. 灯りの情景展 - 灯りと人の物語 - | 10.24 ~ 2010.1.11 | | |
| 124. 2009 川崎フロンターレ | 12.12 ~ 2010.1.11 | | |
| 125. 昔のくらし今のくらし 2010 - くらしの道具のうつりかわり - 展 | 1.19 ~ 4.4 | | |
| 126. 第 43 回かわさき市美術展 | 2.5 ~ 2.27 | | |
| 127. 安田鞞彦展 - 歴史画誕生の軌跡 - | 3.13 ~ 4.18 | | |
| 平成 22 年度 | | | |
| 128. 横山裕一 ネオ漫画の全記録:「わたしは時間を描いている」 | 4.24 ~ 6.20 | | |
| 129. 絵図でめぐる川崎失われた景観をさぐる展 | 7.17 ~ 9.5 | | |
| 130. まど・みちお え てん - ある詩人の 100 年の軌跡、 童謡・抽象画・詩 - 展 | 8.21 ~ 10.3 | | |
| 131. アイヌ - 美を求める心展 AINU - In pursuit of beauty | 9.18 ~ 11.7 | | |
| 132. 木村伊兵衛写真賞 35 周年記念展 | 11.13 ~ 2011.1.10 | | |
| 133. 2010 川崎フロンターレ展 | 12.11 ~ 2011.1.10 | | |
| 134. 昔のくらし今のくらし 2011 | 1.22 ~ 4.3 | | |
| 135. 第 44 回かわさき市美術展 | 2.5 ~ 2.26 | | |
| 136. かわさきガラス WORLD2011 | 3.5 ~ 3.27 | | |
| 平成 23 年度 | | | |
| 137. 岩合光昭どうぶつ写真展 | 4.16 ~ 6.26 | | |
| 138. 実相寺昭雄展 - ウルトラマンからオペラ「魔笛」まで - | 7.16 ~ 9.4 | | |
| 139. ニヶ領用水ものがたり展 | 7.23 ~ 9.11 | | |
| 140. ユーモアのすすめ 福田繁雄大回顧展 | 9.17 ~ 11.6 | | |
| 141. 2011 川崎フロンターレ展「桃」 | 12.10 ~ 2012.1.9 | | |
| 142. 昔のくらし今くらし 2012 | 1.24 ~ 4.1 | | |
| 143. 第 45 回かわさき市美術展 | 2.18 ~ 3.3 | | |
| 144. 画の道八十年をたどる 結城天童回顧展 | 3.10 ~ 3.25 | | |
| 平成 24 年度 | | | |
| 145. 林忠彦賞 20 回記念写真展 | 6.2 ~ 6.24 | | |
| 146. 郷土・川崎を掘る 川崎考古学研究所の活動の軌跡 | 6.30 ~ 8.26 | | |
| 147. 川崎市市民ミュージアム・美術館名品展 “都市と人間のポリフォニー” | 7.28 ~ 9.9 | | |
| 148. 中村正義の《顔》展 | 9.15 ~ 10.14 | | |
| 149. さわって、ふんで、声かけて！映像神話の現在形 スタジオ・アッズー口展 - KATARIBE - | 9.22 ~ 11.4 | | |

ギャラリー展示一覧

グラフィックギャラリー(開館～平成 17 年度)

1. アール・ヌーボーとアール・デコのポスター展
1988.11.1 ~ 1990.3.18
2. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part
3.21 ~ 9.
3. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part
9.12 ~ 1991.3.17
4. ヨーゼフ・ボイス・ポスター・コレクション
- 造形空間と政治空間 - 展 3.20 ~ 6.23
5. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part
6.25 ~ 10.27
6. 色相の詩学展 11.2 ~ 12.15
7. ホックニー展 12.17 ~ 1992.4.29
8. アニメーション映画 s 原画展 5.2 ~ 5.31
9. オリンピックポスター展 6.2 ~ 8.2
10. クレス・オルデンバーク - 『手持ちのノート』 - 展
8.4. ~ 11.29
11. 色彩・共鳴展 12.1 ~ 1993.2.28
12. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part
3.2 ~ 8.8
13. 描かれた時の人 マリリン、スターリン、サラ・ベルナル、そして...
前期：8.10 ~ 10.11
後期：11.17 ~ 1994.2.6
14. 栗津 潔展 2.12 ~ 4.10
15. 田名網敬一〔版画の仕事〕1967-1994 4.15 ~ 6.19
16. 夏の思い出 - Some Views of Summer 展 6.23 ~ 9.11
17. 世紀末パリの街角展 11.3 ~ 1995.2.12
18. 旅への誘い - ポスターに見る 100 年間の旅展 2.14 ~ 4.23
19. HEAR TAND ART・ポップのまなざし
- ポップ・アートの版画展 - 4.25 ~ 7.16
20. シネマとギャラリー 戦後映画ポスター展示
7.22 ~ 9.17
21. 芸術の楽しみ - 世紀末とアール・デコ時代の展覧会
ポスターを中心に 9.22 ~ 1996.1.7
22. 詩によせる想い - 3 人の画家と文学 1.9 ~ 4.29
23. 現代版画の比較鑑賞 抑制と放縦 5.1 ~ 8.18
24. 劇場への招待 - ポスターの中のドラマ - 8.21 ~ 11.17
25. 向秀男の広告美学(前期・後期) 11.19 ~ 1997.6.8
26. 無垢なる魂 アトリエ・エレマン・ブレザンの作家たち
8.30 ~ 11.30
27. オリンピック・ポスター展 12.2 ~ 1998.3.15
28. 街は紫煙に包まれ... 世紀末の嗜好品ポスター
3.17 ~ 6.14
29. コレクション・コレクション1 現代版画名品展
6.16 ~ 9.13
30. コレクション・コレクション2 19 世紀ポスター名品展
9.15 ~ 12.20
31. コレクション・コレクション3 20 世紀ポスター名品展
12.22 ~ 1999.4.4

32. コレクション・コレクション4 現代日本のポスター展
4.6 ~ 7.4
33. アメリカ版画名品展 7.6 ~ 10.17
34. アール・ヌーヴォーの女性たち 10.19 ~ 2000.1.23
35. 時代のシンボルマーク 1.25 ~ 4.9
36. ミュージアムコレクションによる
「グラフィックデザインのモダニズム」展 4.11 ~ 7.9
37. 楽しいポスターミュージアム 7.11 ~ 10.22
38. 木村恒久原画展 10.25 ~ 12.24
39. コレクションによるホックニーの版画展 2001.1.5 ~ 4.15
40. 博覧会の時代 4.17 ~ 7.15
41. 特別企画 没後 100 年記念 ミュージアムコレクション
に見るロートレックとその時代 7.17 ~ 10.28
42. カッサンドルとサヴィニャック 10.30 ~ 2002.2.24
43. デザインの教室 現代ポスターの表現と効果 2.26 ~ 6.2
44. 折元立身 グラフィック・アート+オブジェ 6.8 ~ 9.1
45. 詩によせる想い - ベン・シャーン、コールフィールド、
ホックニーの挿絵の世界 9.3 ~ 11.17
46. 夢幻彷徨 木村威夫のイメージ画 11.23 ~ 2003.1.19
47. 革命期のロシア・ポスター 2.7 ~ 4.27
48. 色彩の魅力・版画の魅力 5.1 ~ 8.31
49. 楽しいポスター・ショッピング 9.2 ~ 12.21
50. 劇場への招待 12.23 ~ 2004.4.4
51. 街角に咲いた芸術・アメリカとヨーロッパ諸国
4.6 ~ 7.4
52. 現代日本デザイン 100 選 Japanese Design Today
7.10 ~ 8.1
53. スポーツの祭・展「オリンピックのポスター展」
8.6 ~ 2005.1.16
54. - シリーズ写真展：現代写真の母型 2005 -
サイト・グラフィックス - 風景写真の変貌 - 展
1.20 ~ 4.10
55. 川崎の美術 - 川崎を描く / 川崎で描く - 2.7 ~ 5.7
56. つたえる美術 - ポスター、写真、マンガのはじめて物語 -
7.5 ~ 11.13
57. スイス・コミック・アート展 9.16 ~ 12.25
58. 毎日国際マンガグランプリ 2005 受賞作品展
2006.1.3 ~ 2.12
59. 第 27 回読売国際 2.18 ~ 4.23
60. WRITING Line LIGHTING Line：筆跡と光跡
7.11 ~ 2006.1.29

写真ギャラリー(開館～平成 17 年度)

1. 戦後日本写真の展開(1945 - 1980)
1988.11.3 ~ 1989.5.1
2. 写真発明 150 年記念企画写真と人間 (1850 - 1930)
5.3 ~ 8.27
3. 写真発明 150 年記念企画写真と人間 (1930 - 1970)
8.30 ~ 1990.2.28
4. 都市の視点 - 写真と都市・その交感の軌跡 -
3.3 ~ 6.22

5. 風土往来 6.26 ~ 9.30
6. ヒューマン・ドキュメント - アメリカ:1930'S - 1940'S
10.2 ~ 1991.2.3
7. 濱谷浩の地平 2.6 ~ 4.21
8. 特別企画 アデュー、エルスケン展 4.24 ~ 6.30
9. かたちとイメージ - 写真における造形と表現 7.3 ~ 9.29
10. Matrix of Photography
- 現代写真の母型 Part 柴田敏雄展 10.2 ~ 11.17
11. Matrix of Photography
- 現代写真の母型 Part 安田千絵展 11.20 ~ 1992.1.12
12. Matrix of Photography
- 現代写真の母型 Part 伊奈英次・小林のりお・畠山直哉
1.15 ~ 3.1
13. Matrix of Photography
- 現代写真の母型 Part 白岡順展 3.3 ~ 4.12
14. 暮らしのフォークロア - 日々のドキュメント再訪 -
4.15 ~ 7.5
15. 子どもの情景 7.7 ~ 9.6
16. 写真を見る~より深く、より豊かに~展 9.8 ~ 1993.2.14
17. 写真展ザ・スタア~憧れと思ひで~ 2.18 ~ 4.25
18. 街と人の物語 4.28 ~ 7.18
19. 自然のイメージ 7.21 ~ 9.26
20. 都市の歴史空間 9.29 ~ 11.28
21. 同時代の視覚() 田村彰英展 1994.1.19 ~ 4.10
22. ヒューマン・リレーションズ 4.16 ~ 6.19
23. ヒューマン・ドキュメント アメリカ 1930 ~ 40年代
7.28 ~ 9.11
24. 川崎市市制 70 周年記念プロジェクト
カワサキ・モニュメント 11.3 ~ 1995.1.16
25. 濱谷浩の世界(1) 1.15 ~ 4.23
26. パリの記憶 4.26 ~ 7.16
27. シネマとギャラリー スタアの肖像展示 7.22 ~ 10.15
28. 満州・シベリア 江成常夫+新正卓 二人展
- 戦後 50 年、二人の写真家があらためて問いかける戦争と日本人の歴史 -
10.17 ~ 1996.1.15
29. 風土往来 1.24 ~ 4.21
30. 戦後女性写真の展開 4.24 ~ 7.21
31. こどもの情景 7.24 ~ 10.27
32. 写真のタイポロジー - その発現と展開 - 10.30 ~ 1997.2.11
33. 濱谷浩の世界(2) 2.19 ~ 6.8
34. 写真の楽しみ 8.27 ~ 1998.1.11
35. 写真の楽しみ 1.13 ~ 4.5
36. 現代英国写真: カラム・コルヴィン作品展
七つの大罪と四終 5.12 ~ 6.28
37. 写真の楽しみ アメリカの光と影 1930年代~1940年代
7.15 ~ 9.23
38. 川崎物語 - 昭和 30 ~ 50 年代の川崎 9.30 ~ 1999.3.14
39. 写真の楽しみ 風土再見 3.27 ~ 5.23
40. 現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 . 金村修
6.1 ~ 7.11
41. 現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 .unit2000 / 視力
7.20 ~ 8.22
42. 現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 .LIGHT /
SPACE - 朝岡あかね・安彦さちえ・ハイナー・シリング -
8.31 ~ 10.11
43. 風景写真の相貌 10.19 ~ 2000.1.16
44. 現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 .
鈴木理策 / 吉村朗 1.25 ~ 4.9
45. ミュージアムコレクションによる「グラフィック・デ
ザインのモダニズム」展 4.11 ~ 7.9
46. こどもの情景 7.12 ~ 10.1
47. 白岡順写真展「秋の日」 10.11 ~ 2001.2.4
48. デジタルプリントでよみがえる笠倉家の乾板写真
2.7 ~ 5.13
49. こどもの情景 5.23 ~ 9.30
50. PORTRAITS:北島敬三写真展 現代写真家シリーズ:
同時代のまなざし 10.23 ~ 2002.2.3
51. ヒューマン・イメージ 2.20 ~ 7.17
52. 新奇贈作品 資料展 2.20 ~ 7.17
53. こどもの情景 7.20 ~ 10.14
54. 宮本隆司写真展 AFTER1995-2002 11.1 ~ 2003.1.19
55. ロシア:1905年x1917年 2.7 ~ 5.11
56. 風土往来 5.21 ~ 8.17
57. 南仏写真記録プロジェクト ニュー・パースペクティブ -
若き 6 人の写真家による南仏風景へ向けられた新たなまなざし -
8.29 ~ 11.24
58. 川崎物語 - 昭和 20 年代から 40 年代の川崎区 -
12.4 ~ 2004.3.31
59. パリの記憶 4.13 ~ 6.13
60. 谷岡ヤスジの世界展 - 天才キャラクターだもんね!
6.15 ~ 9.26
61. 第 10 回口サンゼルス・オリンピック(1932年)の記録
9.30 ~ 2005.1.16
62. - シリーズ写真展:現代写真の母型 2005 - サイト・
グラフィックス - 風景写真の変貌 - 展 1.20 ~ 4.10

漫画ギャラリー (開館~平成 17 年度)

1. 特別展 手塚治虫の世界 1988.11.1 ~ 1989.4.23
2. 特別展 藤子不二雄の世界 4.25 ~ 9.3
3. 現代風俗をえぐった異色の漫画家 富田英三展
9.5 ~ 12.3
4. はがき漫画展 12.5 ~ 1990.1.28
5. 似顔絵漫画展 1.30 ~ 5.13
6. 团团珍聞(まるまるちんぶん)展 5.15 ~ 9.16
7. 小島功展 9.18 ~ 1991.1.20
8. - 告発の漫画家 - まるやまふみお展 1.22 ~ 5.19
9. 近藤日出造展 5.21 ~ 9.29
10. 『パンチ』に描かれた日本像展 10.1 ~ 1992.3.1
11. やなせたかしの世界展 3.3 ~ 8.30
12. 漫画集団 60 年史展 9.1 ~ 1993.3.21
13. 明治の風刺画家・田口米作展 3.23 ~ 8.15
14. 漫画に記録された関東大震災展 8.17 ~ 1994.2.27
15. 子供漫画の開拓者 新関健之助展 3.1 ~ 9.11

16. ガロ 30 (サーティー) - 伝説を創り続ける漫画雑誌の 30 年 - 9.15 ~ 10.30
17. 読売国際漫画大賞傑作選展 11.3 ~ 1995.4.23
18. 読売国際漫画大賞傑作選展パート 4.25 ~ 7.16
19. シネマとギャラリー 映画と漫画展示 7.22 ~ 9.17
20. 漫画にみる 1945 年 9.20 ~ 1996.2.18
21. 漫画にみる 1946 年 2.20 ~ 7.14
22. 漫画に記録された東京裁判展 - 清水昆の原画を中心に - 7.20 ~ 10.20
23. 読売国際漫画大賞傑作選 東アジアの漫画 ・中国編 10.22 ~ 1997.2.23
24. 第 18 回読売国際漫画大賞受賞作展覧会 2.25 ~ 3.23
25. 読売国際漫画大賞受賞作展覧会 諸国めぐり 3.25 ~ 6.8
26. 漫画作家 畑中純の挑戦 - 豊かなる大地と水と人間と - 6.14 ~ 8.24
27. 一平が育てた弟子たち 8.30 ~ 11.30
28. 漫画動物園「まったく ZOO ZOO しいやつらだ」 12.2 ~ 1998.3.29
29. 第 19 回読売国際漫画大賞展〔一般の部・大賞 - 入選の作品〕 4.3 ~ 5.31
30. 第 19 回読売国際漫画大賞展〔一般の部・佳作、ジュニアの部〕 6.5 ~ 8.2
31. 出版資料に見る少女まんが展 8.7 ~ 10.11
32. いい仕事してますねェ・・・ - ヒトコマ漫画・職人づくし - 10.13 ~ 1999.2.28
33. 第 20 回読売国際漫画大賞展〔前半〕 3.2 ~ 5.5
34. 第 20 回読売国際漫画大賞展〔後半〕 5.7 ~ 7.4
35. 太平洋戦争前夜の漫画雑誌展 7.6 ~ 10.31
36. 明治ポンチ本の世界展 11.2 ~ 2000.2.27
37. 第 21 回読売国際漫画大賞展〔前半〕 2.29 ~ 4.30
38. 第 21 回読売国際漫画大賞展〔後半〕 5.2 ~ 7.2
39. アニメになったマンガ作品 7.4 ~ 10.9
40. 『滑稽新聞』の風刺漫画 10.11 ~ 2001.2.25
41. 第 22 回読売国際漫画大賞展 2.27 ~ 5.27
42. 楠勝平・つりたくにこ / 2 人の軌跡 - 新しいマンガ表現にかけた青春 - 5.29 ~ 9.2
43. 19 世紀フランス人漫画家ロビタが描いた未来 9.4 ~ 12.2
44. アジア IN コミック - 私たちはどこへ行くのか? - 12.4 ~ 2002.2.3
45. 第 23 回読売国際漫画大賞展 2.5 ~ 8.18
46. 『ジャパン・パンチ』創刊 140 年記念 ワーグマンの描いた幕末・明治 8.20 ~ 10.27
47. 上村一夫の世界展 10.2 ~ 2003.1.26
48. 第 24 回読売国際漫画大賞展 2.7 ~ 7.13
49. 出版資料に見る日仏コミック交流史展 7.15 ~ 9.7
50. 漫画に描かれた日露戦争前夜 - 政治・外交・社会 - 9.9 ~ 2004.2.1
51. 第 25 回読売国際漫画大賞展 2.3 ~ 4.11
52. 19 世紀フランスの諷刺とユーモア 4.13 ~ 6.13
53. 谷岡ヤスジの世界展 - 天才キャラクターだもんね! 6.15 ~ 9.26

54. 漫画に見る日本のスポーツ史 9.30 ~ 12.26
55. 毎日国際マンガグランプリ 2004 受賞作品展 2005.1.5 ~ 2.6
56. 第 26 回読売国際漫画大賞受賞作品展 2.8 ~ 4.10

アートギャラリー (平成 18 年度 ~ 24 年度)

1. シリーズ・日本のグラフィックデザイナー 亀倉雄策のポスター展 2006.4.25 ~ 6.25
2. つたえる美術 2 見ることも・見られることも 2006.5.13 ~ 9.3
3. 第 1 回「名取洋之助写真賞」受賞作品展 - 清水哲朗「路上少年」・伊原美代子「海女」 7.8 ~ 9.3
4. 眩暈の装置 松本俊夫をめぐるインターメディアの鉱脈 9.16 ~ 11.26
5. 川崎フロンターレ 10 周年記念展 - challenge the future - 12.9 ~ 2007.1.8
6. individuals - 交差する 4 人 1.23 ~ 2.25
7. 第 27 回読売国際漫画大賞 受賞作品展 2.18 ~ 4.23
8. オフ・ストライプス / OFF STRIPES : 縞模様の繊細なる瞬き 4.21 ~ 7.8
9. 「星と宇宙のファンタジー」 7.21 ~ 9.24
10. 映像の現在形 2007 「映像の創出 イメージと装置」 「これはこれを撮影するカメラである」 「私が見るあなたを見るようにあなたは私を見る」 「シーイング / ヒアリング / スピーキング」 「アイ・アム・(ナット)・シーン」 10.6 ~ 12.24
11. シリーズ写真展：現代写真の母型 2008 「写真ゲーム - 11 人の新たな写真表現の可能性 - 」展 2008.1.26 ~ 3.30
12. シリーズ・日本のグラフィックデザイナー 田中一光の華展 2007.10.6 ~ 12.2
13. 川崎フロンターレ展 2007 One for goal! Goal for one! 12.8 ~ 2008.1.14
14. [シリーズ写真展：現代写真の母型 2008] 写真ゲーム - 11 人の新たな写真表現の可能性 - 2008.1.26 ~ 3.30
15. 「コレクション・ピックアップ」学芸員が選ぶ収蔵作品展 4.12 ~ 7.13
16. 「顔」 7.19 ~ 11.24
17. 川崎フロンターレ展 2008 With Supporters 12.7 ~ 2009.1.12
18. 「戦後の作家たち」 1.20 ~ 4.12
19. 幕末明治の諸相 - 岡コレクションより - 4.16 ~ 6.28
20. リトグラフと画家 - ポスターの印刷技術展 4.16 ~ 6.28
21. 「熊切圭介写真展 60 年代の光と影」 7.2 ~ 10.4
22. 「女性を撮る」 7.2 ~ 10.4
23. 「変革の渦 - Graphic Design in 60's - 70's」 7.2 ~ 10.4
24. 「メディアとアート歪んだ瞬間 - 未来派、構成主義、パウハウス、現代作品から探る - 」 10.10 ~ 2010.1.17
25. 「カメラ毎日」の時代 平成 21 年度 寄贈資料を中心に 2009.12.1 ~ 2010.4.11

26. 「岡本かの子 その母性と母性像」 2010.1.21 ~ 4.11
27. 「シリーズ・日本のグラフィックデザイナーグラフィック '55の作家たち」 2010.1.21 ~ 4.11
28. 木村伊兵衛写真賞 35周年記念展
第1期 4.17 ~ 6.27
第2期 7.3 ~ 10.3
第3期 10.9 ~ 2011.1.16
第4期 1.22 ~ 4.10
29. 「マガジнкаバーの世界展~ロートレック、ミュシャ、ピアズリー~」展 2010.4.17 ~ 6.27
30. 詩人 佐藤惣之助 2010.7.3 ~ 10.3
31. 「漫画収蔵品」展 - 漫画をコレクションし、展示するとは? - 2010.7.3 ~ 10.3
32. 「メディアとアート 明晰な幻」展 2010.10.9 ~ 2011.1.16
33. 映画美術監督 久保一雄の仕事 1.22 ~ 4.10
34. 「シリーズ・日本のグラフィックデザイナー 宇野重喜良のポスター」展 1.22 ~ 4.10
35. 岩合光昭どうぶつ写真展 関連企画「いきもの写真展」 4.16 ~ 6.26
36. 幕末明治の浮世絵 4.16 ~ 7.3
37. シリーズ・日本のグラフィックデザイナー 福田繁雄と川崎市市民ミュージアム 7.9 ~ 10.10
38. 世界初の写真技法ダグレオタイプ - 修復と表現 - 7.9 ~ 10.10
39. シリーズ・川崎の美術 川崎の7人 7.9 ~ 10.10
40. 岡本太郎生誕 100年記念 パパは漫画家 - 岡本一平とその芸術 - 10.15 ~ 2012.1.9
41. 岡本太郎生誕 100年記念 岡本家と大貫晶川~芸術一家のはじまり~ 10.15 ~ 2012.1.9
42. 中田和昭写真展 - 工都川崎と昭和の子どもたち - 10.15 ~ 2012.1.9
43. ラク描キセヨ - クリエイティヴユニット トーチカの軌跡 2.4 ~ 4.1
44. アール・デコの女性と装飾 2.4 ~ 4.1
45. 19世紀末~20世紀前半アメリカ漫画資料展 5.29 ~ 7.29
46. ブラウン管時代のビデオアート~ネット時代のビデオ 5.29 ~ 7.29
47. シリーズ川崎の美術 田中岑 91層の色彩 5.29 ~ 7.29
48. 日活創立 100年記念資料展 - 煌めきのかなたに 8.4 ~ 12.4
49. 濱谷浩写真展: 「こども風土記」「地の貌」「American America」を中心に 8.4 ~ 12.4
50. シリーズ・日本のグラフィック・デザイナー: 中村誠のポスター展 12.4 ~ 2013.3.31
51. いろいろかたちの実験: ヨーゼフ・アルパース 『フォーミュレーション: アーティキュレーション』展 12.4 ~ 2013.3.31
52. 素描とスケッチの愉しみ 12.4 ~ 2013.3.31

特別資料室展示一覧 (開館~平成 18年度)

1. 川崎のむかし展 1992.7.1 ~ 1993.8.31
2. 石に刻まれた中世 - 収蔵板碑を中心に - 1993.9.7 ~ 1994.8.31
3. 川崎の民具展 9.27 ~ 1995.8.31
4. 掘り出された川崎 9.3 ~ 1996.9.1
5. かわさき歴史探検1 - 中原区の巻 - 9.3 ~ 1997.8.31
6. かわさき歴史探検2 - 多摩区・麻生区の巻 - 9.9 ~ 1998.2.28
7. かわさき歴史探検3 - 川崎区・幸区の巻 - 3.17 ~ 8.30
8. かわさき歴史探検4 - 高津区・宮前区の巻 - 9.15 ~ 1999.2.28
9. 新収蔵資料展 3.16 ~ 8.29
10. 丘陵 - 人々とくらし - 9.14 ~ 2000.2.27
11. むかしの川崎 3.14 ~ 9.10
12. 出土品が語る川崎の歴史 9.23 ~ 2001.2.25
13. かわさきの近代 3.13 ~ 9.9
14. ヒトとモノの動き展 9.29 ~ 2002.2.24
15. 収蔵資料展 - 岡コレクション - 3.9 ~ 5.12
16. 特別公開 川崎市重要歴史記念物指定 古筆手鑑と指定文化財 4.6 ~ 5.12
17. むかしの暮らし モノのうつりかわり 5.28 ~ 9.1
18. 中原街道と中原区の文化財 9.14 ~ 12.15
19. ペリー来航 150年黒船がやって来た!! 2003.1.5 ~ 4.6
20. 大むかしの川崎 4.27 ~ 8.31
21. なりわい - 生産と道具 - 9.13 ~ 11.30
22. 昔のくらし今のくらし 12.13 ~ 2004.4.11
23. 川崎の歴史 「先人の社会と文化」 4.27 ~ 6.6
24. 川崎の歴史 「都市川崎の形成と発展」 6.22 ~ 9.20
25. 近世出版文化と在村の知識人 10.2 ~ 12.5
26. あかりの情景展 2005.3.26 ~ 9.25
27. 資料が語る川崎の歴史 10.8 ~ 2006.1.29
28. 新収蔵考古資料展 2.11 ~ 7.2
29. くらしをはかる - いろいろな単位 - 7.22 ~ 10.22
30. 昔のくらし、今のくらし - 道具に見るくらしのうつり変わり 11.23 ~ 2007.2.18

企画上映一覧 (映画)

昭和 63 年度

1. 映画における川崎の情景 1988.11.1・2
2. 人間賛歌～ミュージアム・フィルムコレクションから
11.3～11.13
3. ルネ・クレール巴里好日 11.19・20
4. 美空ひばりと歌謡スターたちの系譜 12.3～12.18
5. サイレント映画大全 1989.1.7～2.26
6. 幻想の魔術師 イジィ・トルンカアニメーションフェア
3.25～4.5

平成元年度

7. イジィ・バルタの映像世界 5.13・14
8. 笑いのフィルモロジー：日本映画に見るコメディの系譜
6.17～8.6
9. アニメあ・ら・かると公開イベント 10.22
10. 独立プロダクションの系譜 9.15～9.24
11. 企画展「TREND'89」併催企画「ロバート・フランク作品上映」
12. ドラマの中の昭和 ミュージアム・フィルムコレクションから
1990.2.3～2.18
13. ディレクターズ・カンパニーの監督たち 3.24～4.5

平成 2 年度

14. 映画における女性のまなざし 4.14～4.29
15. 監督による告白的女優論 7.7～7.29
16. ヤン・ペシェックとポーランド芸術の冒険 9.1
17. 8ミリ映画の黄金時代 9.7～9.19、1991.3.15～3.17
18. ヤン・シュワンクマイエル映画祭 1990.10.2～10.14
19. 日本映画のお婆ちゃん / 北林谷栄 1991.1.19～1.27

平成 3 年度

20. 御隠居日記 / 東野英治郎の歩み 6.22～6.30
21. ATG 映画の 30 年 6.7～6.23
22. プロデューサー三浦朗の軌跡 10.10～10.13
23. オーストリア映画 1991 / マンスール・マダヴィ特集
11.3～11.24
24. ノン・フィクションの物語論 1992.1.25～2.11

平成 4 年度

25. 近代映画協会の 40 年 4.4～4.26
26. ドイツの新しいアニメーション 5.2～5.31
27. レンフィルム祭 7.4～8.2
28. もう一つの東宝映画 / 新東宝の世界 11.21～11.29
29. 監督・中村登 / 大船調の冒険 1993.3.6～3.28

平成 5 年度

30. サタジット・レイ映画祭 6.12～7.4
31. 妖怪映画特集 8.7・8
32. マノエル・デ・オリヴェイラとポルトガル映画の諸相
11.6～11.28

33. 狂った太陽の季節 / 日活ルネサンス 1956 - 1971
1994.3.2～3.30

平成 6 年度

34. 英国アニメーション 4.23・24
35. 田名網敬一 / 記憶のイメージ 6.4・5
36. ハリウッド・ニンフェット / メアリー・ピッグフォード
とその時代 7.16～7.31
37. 叙情とシュール / ガロ 30 [映画篇] 9.23・24
38. まなざしの力 / ケン・ローチ回顧展 11.12～12.4

平成 7 年度

39. 映画生誕 100 年記念・映画対談シリーズ 5.14～9.10
40. デコールの前衛とリアリズム / 美術監督・久保一雄
7.22～9.9
41. 戦後ポーランド映画の系譜 10.21～11.1
42. 残雪プレミア上映 11.23
43. 神代辰巳 1 周忌・エレジー / 虚無とざわめき
1996.2.24・25

平成 8 年度

44. 岩波映画出身者の監督たち 7.6～8.4
45. 韓国映画祭～知られざる映画大国～ 第一期戦後の黄金期
10.19～11.7
46. 青春映画と 70 年代 1997.2.8～3.16

平成 9 年度

47. 中村正義展記念上映
48. 韓国映画祭～知られざる映画大国～ 第二期 新しい波
6.1～7.5
49. 韓国映画の現在形 7.6～7.12
50. 怪獣映画祭 7.21～8.10
51. レトロスペクティブ / ジョルジュ・ド・ポールガール
10.18～11.16
52. メガホンを持った俳優たち 1998.3.7～3.22

平成 10 年度

53. 10 周年コレクション上映 自由という地平 1
戦後独立プロの多面性 7.4～7.20
54. 自由という地平 2 「日本ニュース」とその時代
8.1～8.16
55. 自由という地平 3 撮影監督・宮島義勇と独立プロ運動
8.29～9.13
56. 自由という地平 4 まなざしの力 / ケン・ローチ・レ
トロスペクティブ 9.19～10.11
57. かながわ・ゆめ国体公開競技スポーツ芸術スポーツ
映画フェスティバル 10.20～10.29
58. 自由という地平 5 撮る者と撮られる者の対話
11.7～11.22
59. 自由という地平 6 アラヴィンタン映画展
11.28～12.20
60. キリスト教伝来と日本人 1999.1.15～2.28

61. マノエル・デ・オリヴェイラ映画祭 2.11 ~ 2.20
 62. チェコ・アニメーションの世界 3.6 ~ 3.21

平成 11 年度

63. 「自由」への旅 - 1970 年代以降のレンフィルム 5.15 ~ 6.20
 64. 映画における 沖縄 8.7 ~ 9.5
 65. 1970 年代の ATG 映画 11.6 ~ 12.12
 66. 具流八郎の世界 2.5 ~ 2.27

平成 12 年度

67. 「今井正」の軌跡 - 映画の中の日本 6.3 ~ 7.16
 68. 戦後日本のセル・アニメーション 7.22 ~ 8.20
 69. 記録映画の作劇術 11.18 ~ 12.10
 70. 1980 年代の ATG 映画 2.10 ~ 3.20

平成 13 年度

71. 映画 を聴く 真鍋理一郎の映画音楽 7.7 ~ 8.12
 72. インド芸術映画の巨匠 ゴーヴィンダン・アラヴィン
 ダン映画展 10.13・14
 73. アルゴプロジェクトの挑戦 2002.2.2 ~ 3.21

平成 14 年度

74. 脚本家・井手雅人の仕事 6.22 ~ 8.11
 75. 夢幻礼賛 映画美術監督 木村威夫の世界 11.23 ~ 2003.1.19

平成 15 年度

76. 映画ドラえもん大集合 6.21 ~ 7.27
 77. 開館 15 周年記念「映画の中の子供たち」 11.1 ~ 11.3
 78. 銀幕を彩る女優たち 11.15 ~ 12.14
 79. アルゴ 2 ニュー・エンタテインメントのゆくえ 2004.2.7 ~ 2.22

平成 16 年度

80. 独立プロダクションの映画作家たち ・
 今井正・山本薩夫 4.17 ~ 2005.3.6
 81. 「街角に咲いた芸術」展関連上映パリ、世紀末。 5.1・2
 82. 嵐を呼ぶ! 映画クレヨンしんちゃん祭り 6.26 ~ 7.11
 83. 独立プロダクションの映画作家たち ・
 勅使河原宏・家城巳代治 9.18 ~ 11.21
 84. 日本のネオ・ホラーフィルム 7.24 ~ 8.8
 85. 「谷岡ヤスジの世界展」関連上映
 幻のアニメ「やっちまえ!! Doit!」復活上映 9.20
 86. 映画を聴く vol.2 録音技師・久保田幸雄ドキュメンタ
 リーの音、劇映画の音 10.9 ~ 10.31
 87. 新潟中越地震 山古志災害復興支援上映会「掘るまいか」 11.27・28
 88. 独立プロダクションの映画作家たち ・
 新藤兼人・吉村公三郎 12.18 ~ 2005.1.16
 89. CLAMP 映画祭 1.29 ~ 3.12

90. 独立プロダクションの映画作家たち ・
 大島渚・吉田喜重 2.26 ~ 3.6

平成 17 年度 (毎週土日および祝祭日に定期上映)

91. CLAMP 映画祭再上映 4.10
 92. シリーズ「魅惑の韓国映画」
 韓国映画のスターたち カン・スヨン 4.16・17
 93. シネマテーク・コレクション 演じることと演出すること 4.23・24
 94. 「小川美潮ライブ」関連上映 初期の市川準 4.29 ~ 5.1
 95. シネマテーク・コレクション ニューヴェル・ヴァー
 グの先導者岡本喜八と増村保造 5.3 ~ 5.5
 96. シネマテーク・コレクション ゴーヴィンダン・ア
 ラヴィンダン特集 5.7・8
 97. シネマテーク・コレクション ドキュメントとフィ
 クションの狭間で 5.14・15
 98. シリーズ「魅惑の韓国映画」
 韓国映画のスターたち アン・ソング 5.21・22
 99. 市川雷蔵の「若親分」 5.28 ~ 6.5
 100. シネマテーク・コレクション東宝争議の主役たち 1 6.11・12
 101. シリーズ「魅惑の韓国映画」 6・25 動乱(朝鮮戦争)を考える 6.18・19
 102. デジモン、犬夜叉、名探偵コナン
 人気アニメーション大集合 6.25 ~ 7.17
 103. 「ロシア民族学博物館アイヌ資料展」関連上映
 アイヌと記録映画作家・姫田忠義 7.18 ~ 8.21
 104. われらサラリーマン - 東宝のサラリーマン映画 7.18 ~ 9.4
 105. 戦後 60 年特別上映「平和記念都市ひろしま」 8.6 ~ 8.14
 106. 今村昌平の世界 9.10 ~ 10.2
 107. 牛山純一と日本映像カルチャーセンター 10.8 ~ 10.10
 108. シリーズ「魅惑の韓国映画」 韓国映画のスター
 たち イ・ボヒとハ・ミョンジュン 10.15・16
 109. 江利チエミの「サザエさん」 10.22 ~ 11.3
 110. レンフィルムの監督たち 11.5 ~ 11.13
 111. シリーズ「魅惑の韓国映画」 韓国映画の監督たち
 ヴェテランたちの活躍 11.19・20
 112. 「大水木しげる」展関連上映 映妖怪たちがやってくる!! 11.26・27
 113. シネマテーク・コレクション ジュルジュ・ド・ボー
 ルガール:ニューヴェル・ヴァーグのプロデューサー 12.3 ~ 12.11
 114. シリーズ「魅惑の韓国映画」 韓国映画の監督たち
 キム・ウンチョン 12.17・18
 115. シネマテーク・コレクション 今井正の魅力 12.23 ~ 12.25
 116. シネマテーク・コレクション
 東宝争議の主役たち 2 山本薩夫 2006.1.7 ~ 1.9
 117. シリーズ「魅惑の韓国映画」 自由と独立を求めて 1.14・15

- 118. 「伴淳三郎」物語 1.21 ~ 1.29
- 119. 関川秀雄の世界 2.4 ~ 2.12
- 120. シリーズ「魅惑の韓国映画」 韓国映画の監督たち
イム・グォンテクとペ・チャンホ 2.18・19
- 121. シネマテーク・コレクション 独立プロダクションの映画
作家たち 舞台演出家、脚本家の視線 2.25・26
- 122. シネマテーク・コレクション にっぽん風土記 3.4 ~ 3.12
- 123. シリーズ「魅惑の韓国映画」 韓国映画の監督たち
21世紀への胎動 3.18・19
- 124. シネマテーク・コレクション 東宝争議の主役たち3
撮影監督・宮島義勇 3.21 ~ 3.26

平成 18 年度

- 125. 藤純子 - 任侠の華
- 126. シリーズ「魅惑の韓国映画」 王朝時代の女性たち
- 127. 高林陽一の京都
- 128. 赤木圭一郎刹那の輝き、永遠の伝説。
- 129. 土本典昭の水俣
- 130. シリーズ「魅惑の韓国映画」 結婚の行方
- 131. 寺山修司非日常のすすめ
- 132. 「弥生・古墳・飛鳥を考える」展関連上映
- 133. 熊井啓黒い霧の正体に迫る
- 134. シリーズ「魅惑の韓国映画」 現代家族考
- 135. 仮面ライダーとスーパー戦隊シリーズ
- 136. 円谷英二と空想科学映画の世界
- 137. シネマテーク・コレクション 戦争がもたらしたものは何か
- 138. シネマテーク・コレクション 小川紳介、三里塚から牧野村へ。
- 139. 昼下りのメロドラマ
- 140. シネマテーク・コレクション 松本俊夫：「映像」の変革
- 141. シンポジウム「50 - 60 年代の芸術状況と松本俊夫」
松本俊夫 + 湯浅譲二（音楽家）
- 142. 対談「松本俊夫の実験映画を巡って」松本俊夫 +
西村智弘（美術評論家・映像作家）
- 143. 対談「アヴァンギャルディスムの未来」松本俊夫 +
西嶋憲生（映像研究者）
- 144. 現代ドキュメンタリー映画の潮流
- 145. シリーズ「魅惑の韓国映画」 現代社会考男の
場合、女の場合
- 146. 「横山光輝の世界」展関連上映
- 147. インディペンデント映画の挑戦
- 148. かわさきデジタルショートフィルムフェスティバル
- 149. シリーズ「魅惑の韓国映画」 1970年代セレクション
- 150. シネマテーク・コレクション 独立プロダクション
の映画作家たち
- 151. シネマテーク・コレクション 柳町光男と橋浦方人
- 152. オムニバス映画の魅力
- 153. フランキー堺の『与太郎戦記』
- 154. 東南アジアの風 福岡市総合図書館フィルム・アー
カイヴ・コレクションから
- 155. シリーズ「魅惑の韓国映画」 1990年代セレクション
- 156. 加東大介の『大番』
- 157. シネマテーク・コレクション 山本薩夫の仕事

平成 19 年度

- 158. シネマテーク・コレクション 勅使河原宏の仕事
- 159. シネマテーク・コレクション レンフィルム・コレクション
- 160. 大森一樹と“アイドル”映画
- 161. ハナ肇と山田洋次
- 162. 「昭和ブギウギ 1945 - 64」展関連上映スターの時代
- 163. シネマテーク・コレクション 小川紳介、三里塚への道。
- 164. 梶芽衣子の「さそり」
- 165. 人情派バンザイ！ 映画監督・久松静児
- 166. 没後 10 年・勝新太郎と「兵隊やくざ」の世界
- 167. 「OFF STRIPES 縞模様の繊細なる瞬き」展関連上映
しましまえいが
- 168. シネマテーク・コレクション 記録映画作家・姫田忠義
- 169. 小林旭の銀座旋風児
- 170. 「安彦良和原画展」展関連上映 伝説の勇者たち綺羅星のごとく
- 171. シネマテーク・コレクション インディペンデント
というスタイル
- 172. 大映京都の怪談
- 173. 川崎ゆかりの映画人たち・坂本九の巻
- 174. 「星と宇宙のファンタジー」展関連上映
- 175. キャメラマンは国境を越える永田鉄男と栗田豊通
- 176. 国際合作の可能性
- 177. 今東光のと“河内”の世界
- 178. シネマテーク・コレクション 独立プロダクション
の映画作家たち
- 179. シネマテーク・コレクション これが女の生きる道！
- A T G の軌跡 -
- 180. 「産業都市・カワサキのあゆみ 100 年 - 進化しつづける
モノづくりの街 -」展関連上映
- 181. シネマテーク・コレクション 今井正と家城巳代治
- 182. 映像の現在形 2007「映像の創出イメージと装置」展
関連上映 飯村隆彦の世界
- 183. 田宮次郎のアクション映画
- 184. “一番星”と“やもめのジョナサン”『トラック野郎』の世界
- 185. シネマテーク・コレクション 記録映画選集
- 186. “必殺”の世界
- 187. 五味川純平と「人間の條件」
- 188. 高橋英樹剣客と侠客
- 189. シネマテーク・コレクション ジョルジュ・ド・ポー
ル・ガール：ヌーヴェル・ヴァーグとプロデューサー
- 190. 映画監督谷口千吉
- 191. 亀井文夫の戦後
- 192. 「少女マンガパワー！」展関連上映
- 193. 春休みはポケモン！

平成 20 年度

- 194. シネマテーク・コレクション 小説の快楽、映画の愉楽
- 195. 艶姿七変化特集・長谷川一夫
- 196. 「オキナワ/カワサキ」展関連上映 太陽の国オキナワ
- 197. シネマテーク・コレクション アンチ・ヒロイズム
- 敗者の美学 -
- 198. 特集石原裕次郎

- 199. 幼子の祈り - かつて子供だったおとなたちのために
- 200. 一投一打のドラマ野球映画特集
- 201. 「くらしと着物」展関連上映 所作ごと麗し、きもの粋
- 202. メタモルフォーゼ変身する人間
- 203. ふるさとのくらし記録映画
- 204. 記憶と祈り映画のなかの " 公害 "
- 205. 「ジャパン ブラジルクリエイティブアートセッション」関連上映 ブラジル映画特集
- 206. Lupin the Movie カワサキより愛をこめて
- 207. ロシア映画特集 アラノヴィッチとソクーロフ
- 208. 「ともに生きる」展関連上映
- 209. 特集・新藤兼人
- 210. 脚本家荒井晴彦
- 211. 風刺と諧謔コメディの地平
- 212. 「てなもんや」シリーズと「沓掛時次郎」
- 213. 粟津潔展関連上映「知りすぎていた男粟津潔」
- 214. 戦後の作家展関連上映映画監督・大島渚
- 215. SLC ファクトリーアニメーション・ワークショップ
- 216. 無垢なる詩人 G. アラヴィンダン
- 217. 生誕百年記念松本清張第一弾
- 218. 「昔のくらし今のくらし」展関連上映

平成 21 年度

- 219. 特集上映今井正
- 220. 「幕末・明治期の川崎とニッポン」展関連上映
- 221. 生誕 100 年記念松本清張第 2 弾
- 222. 特集上映オータル・イオセリアーニ
- 223. 生誕 100 年記念松本清張特集第 3 弾
- 224. 郷土を知る - 川崎の伝統と行事 -
- 225. 元祖・クールビューティ！江波杏子の「女賭博師」
- 226. 「サンデー・マガジンの DNA」展関連上映
タイムスリップ僕らの時代
- 227. 山本薩夫監督特集演出のダイナミズム
- 228. シネマテーク・コレクション 家族へのまなざし
- 229. わが街・昭和の風景
- 230. シネマテーク・コレクション 映画監督・神山征二郎
- 231. ドキュメンタリー選集
- 232. 川崎ゆかりの映画人たち 実相寺昭雄の巻大回顧展
プレ・イベント
- 233. シネマテーク・コレクション アルゴプロジェクト
20 年目の傑作選
- 234. 特別上映長篇記録映画『セレベス』
- 235. 映画監督・岡本喜八、戦争を " 嗤う "
- 236. 第 64 回毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念
ドキュメンタリー映画賞特集
- 237. シネマテーク・コレクション レンフィルムへの誘い
- 238. インディペンデントというカタチ
- 239. 映画監督・家城巳代治の流儀
- 240. スピンオフ映画のプロトタイプ熊虎親分とピラニア軍団

平成 22 年度

- 241. シネマテーク・コレクション アラヴィンダン悲哀

とユーモアのなかで

- 242. シネマテーク・コレクション 勅使河原宏リアルに向こう側
- 243. 吉村公三郎 名匠が捉えた男の魅力
- 244. 超・サラリーマン東映編
- 245. シネマテーク・コレクション 54 年目の水俣病事件
- 246. 映画監督・熊井啓の視座
- 247. シネマテーク・コレクション 三島由紀夫と立松和平
- 248. シネマテーク・コレクション 記録を超えて
- 249. 泉鏡花悲恋の系図
- 250. 川崎ゆかりの映画人たち 女優・川崎弘子
- 251. シネマテーク・コレクション 自主制作のシルエット
- 252. シネマテーク・ドキュメンタリー・セレクション 4 つの視線
- 253. シネマテーク・コレクション 思想の自由を求めて
今井正と中尾駿一郎
- 254. ザッツ・ジャパニーズ・ホラー 山本迪夫監督作品から
- 255. シネマテーク・コレクション 思想の自由を求めて
新藤兼人と黒田清己
- 256. アンコール上映長篇記録映画「セレベス」
- 257. シネマテーク・コレクション 1980 年代の息吹
- 258. 「詩人佐藤惣之助」展関連上映 昭和歌謡のヒット・
メーカー佐藤惣之助
- 259. 蘇る登戸研究所
- 260. シネマテーク・コレクション
記録映画作家・姫田忠義「日本文化のふるさと」
- 261. シネマテーク・コレクション 山内久の " 若者たち "
- 262. 生誕 100 年映画監督・山本薩夫
- 263. 1980 年代のレンフィルム
- 264. 「アイヌー美を求める心」展関連上映 記録映画作家・
姫田忠義「アイヌのくらし」
- 265. シネマテーク・コレクション 映画音楽 武満徹
- 266. 有吉佐和子百花繚乱
- 267. クロード・シャブロール追悼 プロデューサー
ジョルジュ・ド・ポールガール
- 268. 追悼上映 人形アニメーション作家 川本喜八郎
- 269. シネマテーク・コレクション ATG 特集
第 1 弾 - ニッポンの最も熱い日々 -
- 270. 特集上映 脚本家馬場当
- 271. 新春特集向田邦子と久世光彦
- 272. シネマテーク・コレクション ATG 特集
第 2 弾「変貌の時代」
- 273. 「映画美術監督久保一雄の仕事」展関連上映
- 274. 毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念 過去受賞
作品アンコール上映「歴代受賞作品特集(1970 年代)」
- 275. シネマテーク・コレクション 映画監督中川信男
- 276. シネマテーク・コレクション パペット・アニメーション！
- 277. 日本映画大学設立記念 日本映画学校卒業生作品選

平成 23 年度

- 278. シネマテーク・コレクション青春の物語
- 279. インドの映像詩人 G・アラヴィンダン
- 280. 司馬遼太郎 vs 吉川英治
- 281. アニメーション 特集東映動画

- 282. シネマテーク・コレクション 石井隆特集
- 283. シネマテーク・コレクション ドキュメンタリー傑作選 vol.1
- 284. 映像の魔術師フェデリコ・フェリーニ
- 285. シネマテーク・コレクション レン・フィルムの輝き
- 286. シネマテーク・コレクション カメラの前と後ろで
- 287. 太郎の愛した映画たち
- 288. 特集上映 奇才・実相寺昭雄
- 289. 日活創立 100 年記念イベント
特集・日活サスペンス&「事件記者」
- 290. 川崎の祭りと日本の伝統文化
- 291. シネマテーク・コレクション ATG の挑戦
- 292. 親子上映会 第 1 部 シネマテーク・コレクション
- 293. 親子上映会 第 2 部 CON - CAN MOVIE FESTIVAL 提供
ショートムービー傑作選
- 294. 育児とクリエイティビティ
- 295. 坂本九生誕 70 年記念 映画の中の九ちゃん
- 296. 川崎の物語
- 297. 川崎ゆかりの映画人 今村昌平
- 298. 新春特集 お正月映画
- 299. 「昔の暮らし 今の暮らし」展関連上映 日本のおばあちゃん
- 300. ロシア映画特集 カネフスキー 3 部作 + レンフィルム
- 301. 毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念 過去受賞
作品アンコール上映「歴代受賞作品特集」
- 302. 「キカイ デミルコト - 日本のビデオアートの先駆者たち - 」
- 303. シネマテーク・プロジェクト
第 4 弾 フレデリック・ワイズマン選集
- 304. 活動弁士の語りによる無声映画鑑賞会

平成 24 年度

- 305. 生誕 100 年・新藤兼人
- 306. いのちということ
- 307. シネマテーク・コレクション G. アラヴィンダン特集
- 308. 「郷土・川崎を掘る」展関連イベント 16 ミリ上映会
- 309. アニメーション特集 川崎市市民ミュージアム × CALF
- 310. 美術館名品展 関連上映
- 311. プロモーション特別上映「父をめぐる旅 - 異才の日
本画家 中村正義の生涯」
- 312. 日活 100 周年記念上映 日活アクションの世界
- 313. 脚本家・田村孟
- 314. 『ベイビーズ』上映会
- 315. サッカー映画上映会
- 316. 坂本九顕彰事業 九ちゃんの夢
- 317. 毎日映画コンクール表彰式開催記念 過去受賞作品
アンコール上映「歴代受賞作品特集」
- 318. 「与勇輝展 - 物語のなかに - 」 関連上映
- 319. 「昔の暮らし今の暮らし 2013」 関連上映
- 320. ポルトガル映画界の新鋭

平成 25 年度 市民ミュージアム 利用者統計表

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|------------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 常設展・企画展 | | 8,210 | 12,129 | 9,540 | 11,768 | 12,849 | 17,460 | 15,716 | 18,233 | 12,009 | 14,373 | 9,711 | 11,174 | 153,171 |
| 映像ホール | 有料 | 520 | 588 | 671 | 599 | 393 | 651 | 554 | 481 | 628 | 797 | 537 | 645 | 7,064 |
| | 大人 | 1 | 0 | 0 | 13 | 96 | 48 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 158 |
| | 小人 | 285 | 2,554 | 423 | 346 | 447 | 443 | 565 | 378 | 666 | 499 | 285 | 573 | 7,464 |
| 無料 | | 285 | 2,554 | 423 | 346 | 447 | 443 | 565 | 378 | 666 | 499 | 285 | 573 | 7,464 |
| ミニホール | | 140 | 129 | 129 | 221 | 312 | 25 | 144 | 66 | 11 | 95 | 66 | 70 | 1,408 |
| 館内イベント・講座等 | | 15 | 159 | 231 | 272 | 128 | 0 | 534 | 617 | 433 | 514 | 218 | 200 | 3,321 |
| ミュージアムライブラリー（映像） | | 285 | 295 | 224 | 286 | 371 | 323 | 278 | 269 | 201 | 203 | 216 | 260 | 3,211 |
| ミュージアムライブラリー（図書） | | 628 | 665 | 695 | 833 | 1,087 | 891 | 699 | 588 | 555 | 556 | 463 | 571 | 8,231 |
| 研修室等利用者 | | 119 | 289 | 179 | 171 | 347 | 237 | 100 | 264 | 140 | 174 | 275 | 222 | 2,517 |
| ミュージアムギャラリー1 | | 0 | 0 | 0 | 31 | 212 | 1,108 | 0 | 643 | 278 | 498 | 245 | 227 | 3,242 |
| ミュージアムギャラリー2 | | | | | | | | | | | | | | |
| 館外展示入館・出張プログラム等 | | 310 | 325 | 43 | 135 | 3 | 27 | 128 | 37 | 315 | 81 | 141 | 382 | 1,927 |
| 合計 | | 10,513 | 17,133 | 12,135 | 14,675 | 16,245 | 21,213 | 18,718 | 21,576 | 15,236 | 17,790 | 12,157 | 14,324 | 191,714 |
| 利用者累計 | | | 27,646 | 39,781 | 54,456 | 70,700 | 91,914 | 110,632 | 132,208 | 147,444 | 165,234 | 177,391 | 191,714 | |
| 開館日数 | | 25 | 27 | 26 | 26 | 27 | 25 | 27 | 26 | 24 | 24 | 23 | 26 | 306 |
| 1日平均利用者数 | | 421 | 635 | 467 | 564 | 602 | 849 | 693 | 830 | 635 | 741 | 529 | 551 | 627 |

展示室別内訳

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----------------|----------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 映像ホール | 有料 | 521 | 588 | 671 | 612 | 489 | 699 | 554 | 481 | 628 | 797 | 537 | 645 | 7,222 |
| | 一般 | 139 | 199 | 247 | 448 | 257 | 385 | 233 | 168 | 175 | 204 | 175 | 266 | 2,896 |
| | 優待割引 | 2 | 3 | 8 | 1 | 3 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 23 |
| | 学生 | 3 | 16 | 57 | 26 | 53 | 51 | 41 | 5 | 18 | 4 | 18 | 18 | 310 |
| | シニア | 235 | 274 | 211 | 55 | 42 | 88 | 143 | 191 | 169 | 350 | 220 | 204 | 2,182 |
| | 小中学生 | 1 | 0 | 0 | 14 | 96 | 48 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 164 |
| | 友の会 | 18 | 22 | 14 | 5 | 4 | 14 | 7 | 10 | 21 | 20 | 14 | 11 | 160 |
| | スカラチケット | 123 | 74 | 134 | 63 | 34 | 107 | 130 | 107 | 245 | 219 | 110 | 141 | 1,487 |
| | 無料 | 285 | 2,554 | 423 | 346 | 447 | 443 | 565 | 378 | 666 | 499 | 285 | 573 | 7,464 |
| | 招待券 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 12 |
| | 障害者 | 185 | 173 | 208 | 165 | 159 | 199 | 165 | 139 | 189 | 228 | 112 | 221 | 2,143 |
| | 幼児 | 0 | 0 | 0 | 71 | 117 | 20 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | 213 |
| | モニター | 100 | 2,381 | 214 | 110 | 168 | 224 | 394 | 238 | 477 | 271 | 173 | 346 | 5,096 |
| 企画展1 | 有料 | 122 | 559 | 60 | 204 | 581 | 701 | 180 | 355 | 186 | 0 | 0 | 0 | 2,948 |
| | 一般 | 66 | 253 | 29 | 156 | 428 | 503 | 98 | 176 | 141 | 0 | 0 | 0 | 1,850 |
| | シニア | 52 | 273 | 25 | 12 | 22 | 12 | 34 | 53 | 23 | 0 | 0 | 0 | 506 |
| | 高・大生 | 4 | 13 | 1 | 15 | 78 | 93 | 5 | 20 | 11 | 0 | 0 | 0 | 240 |
| | 小人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般（団体） | 0 | 9 | 5 | 21 | 39 | 89 | 14 | 24 | 11 | 0 | 0 | 0 | 212 |
| | シニア（団体） | 0 | 10 | 0 | 0 | 9 | 0 | 29 | 82 | 0 | 0 | 0 | 0 | 130 |
| | 高・大生（団体） | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| | その他（団体） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無料 | 141 | 775 | 127 | 926 | 1,778 | 2,336 | 809 | 1,559 | 986 | 1,040 | 1,237 | 0 | 11,714 |
| | 招待券 | 53 | 394 | 102 | 168 | 286 | 541 | 80 | 162 | 164 | 0 | 0 | 0 | 1,950 |
| | 障害者等 | 36 | 126 | 9 | 30 | 80 | 72 | 36 | 42 | 15 | 0 | 0 | 0 | 446 |
| 友の会 | 6 | 15 | 2 | 6 | 8 | 5 | 14 | 8 | 5 | 0 | 0 | 0 | 69 | |
| 小・幼 | 25 | 38 | 12 | 446 | 931 | 1,145 | 660 | 1,284 | 784 | 356 | 0 | 0 | 5,681 | |
| 取材 | 1 | 4 | 0 | 1 | 18 | 60 | 0 | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 | 92 | |
| その他（パッチ・家族でGO） | 20 | 198 | 2 | 275 | 455 | 513 | 19 | 59 | 14 | 684 | 1,237 | 0 | 3,476 | |
| 企画展2 | 有料 | 25 | 107 | 9 | 0 | 0 | 2,166 | 1,678 | 1,295 | 284 | 510 | 0 | 0 | 6,074 |
| | 一般 | 13 | 65 | 9 | 0 | 0 | 1,881 | 1,439 | 1,063 | 231 | 429 | 0 | 0 | 5,130 |
| | シニア | 6 | 33 | 0 | 0 | 0 | 48 | 22 | 21 | 17 | 20 | 0 | 0 | 167 |
| | 高・大生 | 6 | 7 | 0 | 0 | 0 | 166 | 107 | 119 | 33 | 53 | 0 | 0 | 491 |
| | 小人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般（団体） | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 70 | 101 | 85 | 2 | 8 | 0 | 0 | 268 |
| | シニア（団体） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| | 高・大生（団体） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| | その他（団体） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 無料 | 56 | 143 | 22 | 2,056 | 3,253 | 1,950 | 2,895 | 4,348 | 3,933 | 4,787 | 3,212 | 2,981 | 29,636 |
| | 招待券 | 9 | 51 | 8 | 0 | 0 | 239 | 312 | 295 | 1,695 | 2,752 | 0 | 0 | 5,361 |
| | 障害者等 | 20 | 37 | 4 | 0 | 0 | 195 | 145 | 64 | 42 | 40 | 0 | 0 | 547 |
| 友の会 | 1 | 2 | 0 | 2 | 0 | 102 | 5 | 4 | 9 | 2 | 0 | 0 | 127 | |
| 小・幼 | 8 | 38 | 9 | 759 | 1,190 | 1,298 | 2,403 | 2,114 | 1,318 | 1,449 | 1,758 | 986 | 13,330 | |
| 取材 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 85 | 9 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 97 | |
| その他（パッチ・家族でGO） | 18 | 13 | 1 | 1,295 | 2,063 | 31 | 21 | 1,871 | 869 | 543 | 1,454 | 1,995 | 10,174 | |

平成 25 年度歳出予算

単位：千円

| 事業名等 | 予算 | 備考 |
|------------------|-----------|------------------|
| 市民ミュージアム予算合計 | 686,079 | |
| 市民ミュージアム運営管理事業費 | 421,465 | |
| 市民ミュージアム非常勤職員経費 | 26,247 | |
| 01 報酬 | 20,813 | 非常勤職員報酬 |
| 04 共済費 | 5,394 | 非常勤職員共済費 |
| 09 旅費 | 40 | |
| 市民ミュージアム運営管理事業費 | 352,160 | |
| 04 共済費 | 395 | |
| 07 賃金 | 3,674 | 臨時職員賃金 |
| 08 報償費 | 480 | 収集委員・評価委員等謝礼 |
| 11 需用費 | 41,792 | 光熱水費・消耗品・印刷製本費等 |
| | (38,178) | 電気料・水道料 |
| 12 役務費 | 1,333 | 電話料・郵便料等 |
| 13 委託料 | 294,986 | 総合管理委託・学芸業務委託等 |
| | (169,059) | 学芸業務委託 |
| | (112,708) | 総合管理委託 |
| 14 使用料及び賃借料 | 1,519 | 事務機器・フィルム保管庫賃借料等 |
| 16 原材料費 | 39 | 塗料等 |
| 18 備品購入費 | 7,817 | 資料作品購入・研究用図書購入等 |
| | (7,000) | 資料作品購入 |
| 19 負担金補助及び交付金 | 125 | 博物館協会会費等 |
| 市民ミュージアム企画広報事業費 | 27,592 | |
| 08 報償費 | 490 | |
| 11 需用費 | 3,575 | |
| 12 役務費 | 2,460 | |
| 13 委託料 | 20,897 | 広報物作成等 |
| 14 使用料及び賃借料 | 170 | |
| 市民ミュージアム教育普及事業費 | 15,466 | |
| 08 報償費 | 1,570 | |
| 11 需用費 | 815 | |
| 12 役務費 | 59 | |
| 13 委託料 | 13,012 | |
| | (10,152) | 社会科教育推進事業費 |
| 14 使用料及び賃借料 | 10 | |
| 18 備品購入費 | 0 | |
| 市民ミュージアム運営協議会経費 | 242 | |
| 市民ミュージアム運営協議会経費 | 242 | |
| 01 報酬 | 242 | 委員報酬 |
| 市民ミュージアム施設整備事業費 | 226,869 | |
| 市民ミュージアム施設整備事業費 | 226,869 | |
| 13 委託料 | 6,911 | |
| 15 工事請負費 | 219,958 | |
| 市民ミュージアム25周年記念事業 | 37,503 | |
| 市民ミュージアム25周年記念事業 | 37,503 | |
| 08 報償費 | 100 | |
| 09 旅費 | 246 | |
| 11 需用費 | 30 | ワークショップ消耗品 |
| 12 役務費 | 2,808 | 電車・駅構内広告掲出 |
| 13 委託料 | 34,169 | 学芸業務委託・広告業務委託等 |
| 14 使用料及び賃借料 | 150 | 機材レンタル |

()は内数

川崎市市民ミュージアム協議会

1. 設置主旨

川崎市市民ミュージアムの円滑な運営を図るため、専門家や学校教育・社会教育機関の代表、公募による一般市民が委員になり、館長の諮問に応じ、運営に関する意見を述べる。

根拠条例 川崎市市民ミュージアム条例第 21 条

2. 委員構成

学校教育関係 2名
社会教育関係 1名
市民 2名
学識経験者 4名

3. 開催経過

第 1 回川崎市市民ミュージアム協議会

日 時 7 月 24 日
場 所 川崎市市民ミュージアム会議室
議 事 平成 24 年度評価結果について
平成 25 年度事業計画について
評価対象事業について

第 2 回川崎市市民ミュージアム協議会

日 時 12 月 5 日
場 所 川崎市市民ミュージアム会議室
議 事 平成 25 年度実施済み事業について
市民ミュージアム評価について
評価対象事業について

第 3 回川崎市市民ミュージアム協議会

日 時 平成 26 年 3 月 4 日
場 所 川崎市市民ミュージアム会議室
議 事 平成 25 年度第 2 回以降の事業実施報告について
市民ミュージアム評価について
平成 26 年度事業について

川崎市市民ミュージアム資料等収集委員会

1. 設置趣旨

川崎市市民ミュージアムにおいて資料及び作品の適正かつ公正な収集を図るため、学識経験者をもって審議する。

2. 委員構成（平成 25 年 8 月まで）

| | |
|-----------|-----|
| 学識経験者（考古） | 1 名 |
| （歴史） | 1 名 |
| （民俗） | 1 名 |
| （美術文芸） | 1 名 |
| （グラフィック） | 1 名 |
| （写真） | 1 名 |
| （漫画） | 1 名 |
| （映画） | 1 名 |
| （ビデオ） | 1 名 |

平成 25 年 9 月より、開催の都度、審議が必要な収集予定資料に応じた専門的知識を有する人材を複数人委員として委嘱することで、複数の専門家の意見を踏まえた収集資料の審議を行う。

3. 開催経過

平成 25 年度は開催せず。

川崎市市民ミュージアム資料等評価委員

1. 設置趣旨

川崎市市民ミュージアムが収集し、及び寄贈又は寄託を受けようとする資料及び作品の適正かつ公正な収集を図るため、収集を予定している資料等の真贋の鑑定及び購入価格の評価等を行う。

2. 開催

日 時 12月18日

委 員 2名

評価資料 上丸子古墳出土埴輪(人物埴輪)3体(頭部2、上半身部1)

かわさき市美術展運営委員会

1. 設置趣旨

かわさき市美術展の開催にあたり、専門的な知識や視点に基づき、市民ミュージアムの文化芸術の向上及び円滑な事業の運営を目的に設置する。

2. 委員構成

美術作家または美術評論家 (2名)

学識経験者 (3名)

川崎市文化団体関係者 (1名)

3. 開催

第47回かわさき市美術展第1回運営委員会

日 時: 5月30日

会 場: 川崎市市民ミュージアム研修室3

議 題: 第47回かわさき市美術展募集内容について
審査委員について

第47回かわさき市美術展第2回運営委員会

日 時: 平成26年2月22日

会 場: 川崎市市民ミュージアム研修室3

議 題: 第47回かわさき市美術展審査結果報告について
表彰式について

第47回かわさき市美術展第3回運営委員会

日 時: 平成26年3月19日

会 場: 川崎市市民ミュージアム研修室3

議 題: 第47回かわさき市美術展実施報告について
第48回かわさき市美術展にむけて

施設概要

| | |
|-----------------|-------------------|
| 敷地面積 | 25,358㎡ |
| 建築面積 | 8,386㎡ |
| 延床面積 | 19,542㎡ |
| 常設展示室 | 2,551㎡ |
| 博物館展示室 | 1,491㎡ |
| アートギャラリー | 1,060㎡ |
| 企画展示室 | 1,334㎡ |
| 企画展示室 1 | 597㎡ |
| 企画展示室 2 | 590㎡ |
| ミュージアムギャラリー 1・2 | 147㎡(82㎡ + 65㎡) |
| 逍遥展示空間 | 747㎡ |
| 映像ホール | 342㎡ 266 席 |
| ミニホール | 57㎡ 40 名 |
| (椅子席・ビデオのみ) | |
| 研修室 1 | 70㎡ 24 名 |
| (机・椅子固定) | |
| 研修室 2 | 60㎡ 30 名 |
| 研修室 3 | 56㎡ 36 名 |
| 収蔵庫 | 2,433㎡(9 室、前室を含む) |
| その他 | 12,083㎡ |
| ミュージアムショップ | 40㎡ |
| ミュージアムレストラン | 62 席 |
| 身障者設備 | |
| トイレ | 5ヶ所 |
| 車いす | 4 台 |
| 乳幼児設備 | |
| ベビーベッド | 2 台 |
| 授乳室 | 1 室 |
| ベビーカー | 3 台 |

設計

建築設計者 (株)計画連合 (担当 菊竹 清訓)
 展示設計者 (株)トータルメディア開発研究所

当時の総工費

建築工事費 88 億円
 展示工事 23 億円
 資料収集 21 億円
 運営費 10 億円
 合計で約 150 億円

収蔵品

平成 25 年度分
 購入作品・資料 100 点

寄 贈 768 点
 寄 託 62 点 (継続を含む)

総点数 約 212,650 点 (平成 26 年 3 月 31 日)

考 古 約 72,000 点
 歴 史 約 29,200 点
 民 俗 約 12,400 点
 美術文芸 約 10,050 点
 グラフィック 約 8,600 点
 写 真 約 20,200 点
 漫 画 約 36,000 点
 映 画 約 12,200 点
 ビ デ オ 約 12,000 点

指定文化財

神奈川県指定 1 件
 鱧口 1 口
 川崎市指定 21 件
 紙本墨画淡彩仙女図 2 幅
 青銅製鱧口 1 口
 古筆手鑑「披香殿」1 帖
 後北条氏の虎の印判状 (永禄元年) 1 通
 後北条氏の虎の印判状 (天正 7 年) 1 通
 後北条氏の虎の印判状 (天正 15 年) 1 通
 関東下知状 附 極札 1 枚 1 通
 板碑 1 基
 有馬古墓群後谷戸グループ古墓出土火葬骨蔵器
 附 坏 19 箇 3 組 3 箇
 有馬古墓群台坂上グループ古墓出土火葬骨蔵器
 附 簪状骨製品 1 本 3 組 7 箇
 生田古墓群生田 8601 番地古墓出土火葬骨蔵器
 附 鹿角製刀子柄 1 本 2 組 4 箇
 生田古墓群鴛鴦沼古墓出土火葬骨蔵器
 附 鉄板状製品 1 枚 1 組 2 箇
 菅生古墓群長沢 1822 番地古墓出土火葬骨蔵器 2 組 4 箇
 野川古墓群野川南耕地 A 地点古墓出土火葬骨蔵器
 附 鉄板状製品 1 枚 鉄釘 13 本 1 組 2 箇
 稗原古墓群 A 地点古墓出土火葬骨蔵器
 附 和銅開寶 1 枚 1 組 2 箇
 无射志国荏原評銘文字瓦 1 点
 万福寺遺跡群縄文時代草創期出土品 一括
 宿河原縄文時代低地遺跡出土品 一括
 下原遺跡縄文時代後・晩期出土品 一括
 獅子頭 3 頭
 大師河原の漁撈具 一括

職 員

(平成25年4月から平成26年3月まで)

川崎市市民・子ども局

川崎市市民ミュージアム

| | |
|------|-----------------|
| 館 長 | 原 隆 |
| 副館長 | 大野 秀人 |
| 担当課長 | 石澤 志津 |
| 担当課長 | 柿崎 祐一 |
| 課長補佐 | 小松 史尚 |
| 課長補佐 | 井上 強 |
| 担当係長 | 堅月 基 |
| 担当係長 | 星野 美代子 |
| 職 員 | 穴戸 望 |
| 職 員 | 岩村 史紀 |
| | 内海 美佳(嘱託) |
| | 片柳 圭輔(嘱託) |
| | 河合 洋介(嘱託) |
| | 近藤 春香(嘱託) |
| | 後藤 愛美(嘱託) |
| | 澤口 恭子(嘱託) |
| | 鈴木 恵梨子(嘱託・8月から) |
| | 武田 智子(嘱託) |
| | 門馬 英美(嘱託・7月まで) |

アドバイザー 志賀 健二郎(嘱託)

公益財団法人川崎市生涯学習財団

| | |
|--------|----------------|
| 学芸室長 | 石原 敏明 |
| 学芸総務課長 | 中田 秀逸 |
| 課長補佐 | 望月 一樹 |
| 課長補佐 | 深川 雅文 |
| 主 査 | 高橋 典子 |
| 主 査 | 濱崎 好治 |
| 主 任 | 林 司 |
| | 新井 悟 |
| | 岩槻 歩 |
| | 金澤 韻(7月まで) |
| | 飛田 美香 |
| | 平井 直子 |
| | 阿部 久瑠美(嘱託) |
| | 大西 舞(嘱託) |
| | 喜安 嶺(嘱託) |
| | 佐藤 美子(嘱託) |
| | 高田 賢治(嘱託) |
| | 戸田 康太(嘱託・8月から) |
| | 平林 悠紀子(嘱託) |
| | 加藤 晴美(嘱託) |

平成 25 年度
川崎市市民ミュージアム年報
2013 年 4 月～2014 年 3 月

平成 26 年 5 月発行
編集・発行／川崎市市民ミュージアム
川崎市中原区等々力 1-2
電話 044-754-4500
印刷／日本プロセス株式会社



KAWASAKI
CITY
MUSEUM